

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第12巻

奥の坊遺跡群XII
(奥の坊遺跡 III区 遺物編)

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第12巻

奥の坊遺跡群XII (奥の坊遺跡 III区 遺物編)

二〇一四年三月

高松市教育委員会

2014年3月

高松市教育委員会

例　言

1 本報告書は、高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第12冊で、高松市高松町に所在する奥の坊遺跡Ⅲ区（おくのぼういせきさんく）の遺物の報告を収録した。

2 発掘調査地ならびに調査・整理期間は次のとおりである。なお、整理期間は、本書の刊行に係る整理期間を記載した。

調査地：高松市高松町奥ノ坊

発掘調査：平成10年10月6日～平成11年2月16日

整理作業：平成21年1月5日～平成25年12月27日

3 発掘調査から報告書の編集まで高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部文化財課（平成19年度までは文化部文化振興課、平成23年度までは教育部文化財課、平成24年度は教育局文化財課）が行った。発掘調査は文化財専門員 大島和則が担当し、本書の編集を大島と協議のうえ、文化財専門員 波多野篤が行った。なお、石器の整理作業を文化財専門員 舟築紀子、鉄製品の整理作業を文化財専門員 高上拓、土器・土製品の整理作業を波多野が担当した。

4 原稿執筆の分担は以下のとおりである。

第5章第1節（2） 舟築

第5章第1節（3） 高上

上記以外　波多野

5 発掘調査から整理作業、報告書執筆を実施するにあたって、下記の方々および関係諸機関から御指示を得た。記して厚く謝意を表する（五十音順、敬称略）。

香川県教育委員会、片岡宏二、川部浩司、（公財）益富地学会館、地元自治会、地元水利組合、丹羽佑一、古高松土地改良区、山下雅弘

6 現地での発掘調査や整理作業にあたっては、下記の方々の御協力を得た。記して厚く謝意を表する（敬称略）。

大野宏和・川部浩司・信吉純恵・増田ゆず・山内康郎（当時 徳島文理大学大学院）、四方大輔・高瀬智充・高崎誠・水田貴士・林田真典（当時 徳島文理大学）、末光甲正（当時 讀岐文化遺産研究会）

7 本調査に関連して、以下の業務を委託発注により実施した。

航空写真測量　　アジア航測 株式会社

遺物写真撮影　　西大寺フォト（成果品については本書に掲載）

8 本調査に関連して、鉄製品のX線写真的撮影を香川県産業技術センターに依頼して実施した。その成果品は、JPGデータで高松市教育委員会が保管している。

9 挿図として、国土地理院発行1/25,000地形図「高松北部」「高松南部」「五剣山」「志度」を一部改変して使用した。

10 本報告の高度値はT.P.を基準とし、座標は国土座標第IV系（日本測地系）にしたがった。また、方位は座標北を示す。

11 発掘調査で得られたすべての資料は高松市教育委員会で保管している。

本文目次

第1章 調査の経過

第1節 事業の概要と発掘調査の経過.....	1
第2節 整理等作業の経過.....	3

第2章 地理的・歴史的環境

第1節 地理的環境.....	4
第2節 歴史的環境.....	4

第3章 Ⅲ区の発掘調査成果

第1節 基本層序と地形.....	7
第2節 検出遺構の概要.....	7

第4章 Ⅲ区の出土遺物

第1節 遺物の概要.....	11
第2節 遺物の掲載方法.....	11
第3節 出土遺物.....	11

第5章 総括

第1節 Ⅲ区の出土遺物について.....	83
第2節 奥の坊遺跡群の地形と遺跡分布について.....	85
第3節 奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落について.....	89
第4節 事業の終了にあたって.....	92

挿図目次

図1 奥の坊遺跡の位置とおもな河川	1	図43 出土土器・土製品実測図37 (1/2・1/4)	48
図2 高松市東部運動公園整備事業発掘調査地 (1/3,000)	2	図44 出土土器・土製品実測図38 (1/4)	49
図3 周辺遺跡分布図 (1/40,000)	5	図45 出土土器・土製品実測図39 (1/4)	50
図4 グリッド配置図 (1/1000)	7	図46 出土土器・土製品実測図40 (1/4)	51
図5 調査区南壁土層断面 (1/80)	8	図47 出土土器・土製品実測図41 (1/4)	52
図6 調査区平面図 (1/200)	9・10	図48 出土土器・土製品実測図42 (1/4)	53
図7 出土土器・土製品実測図1 (1/4)	12	図49 SH32001出土石器実測図1 (1/2)	54
図8 出土土器・土製品実測図2 (1/4)	13	図50 SH32001出土石器実測図2 (1/3)	55
図9 出土土器・土製品実測図3 (1/2・1/4)	14	図51 SH32004出土石器実測図 (1/2・1/3)	55
図10 出土土器・土製品実測図4 (1/4)	15	図52 SH32005出土石器実測図 (1/2・1/3)	56
図11 出土土器・土製品実測図5 (1/4)	16	図53 SH32002出土石器実測図 (1/2)	56
図12 出土土器・土製品実測図6 (1/4)	17	図54 SH32003出土石器実測図 (1/2)	57
図13 出土土器・土製品実測図7 (1/4)	18	図55 SP出土石器実測図 (1/2)	57
図14 出土土器・土製品実測図8 (1/2・1/4)	19	図56 SX32214出土石器実測図 (1/2・1/3)	58
図15 出土土器・土製品実測図9 (1/4)	20	図57 SX32146出土石器実測図 (1/2・1/3)	58
図16 出土土器・土製品実測図10 (1/4)	21	図58 SX出土石器実測図 (1/2)	59
図17 出土土器・土製品実測図11 (1/4)	22	図59 SK32019出土石器実測図 (1/2・1/3)	59
図18 出土土器・土製品実測図12 (1/2・1/4)	23	図60 SK32232出土石器実測図 (1/2)	60
図19 出土土器・土製品実測図13 (1/2・1/4)	24	図61 SK出土石器実測図1 (1/2)	60
図20 出土土器・土製品実測図14 (1/2・1/4)	25	図62 SK出土石器実測図2 (1/2)	61
図21 出土土器・土製品実測図15 (1/4)	26	図63 SK出土石器実測図3 (1/2・1/3)	62
図22 出土土器・土製品実測図16 (1/4)	27	図64 SD出土石器実測図 (1/2・1/3)	63
図23 出土土器・土製品実測図17 (1/4)	28	図65 B4区 III層上層出土石器実測図 (1/2)	64
図24 出土土器・土製品実測図18 (1/2・1/4)	29	図66 B4区 III層中層出土石器実測図1 (1/2)	65
図25 出土土器・土製品実測図19 (1/2・1/4)	30	図67 B4区 III層中層出土石器実測図2 (1/2)	66
図26 出土土器・土製品実測図20 (1/4)	31	図68 B4区 III層中層出土石器実測図3 (1/2)	67
図27 出土土器・土製品実測図21 (1/4)	32	図69 B4区 III層中層出土石器実測図4 (1/3)	68
図28 出土土器・土製品実測図22 (1/4)	33	図70 B4区 III層下層出土石器実測図 (1/2)	68
図29 出土土器・土製品実測図23 (1/4)	34	図71 B5区 III層上層出土石器実測図 (1/2・1/3)	69
図30 出土土器・土製品実測図24 (1/4)	35	図72 B5区 III層下層出土石器実測図1 (1/3)	69
図31 出土土器・土製品実測図25 (1/4)	36	図73 B5区 III層下層出土石器実測図2 (1/2)	70
図32 出土土器・土製品実測図26 (1/4)	37	図74 C3区 III層上層出土石器実測図 (1/2)	71
図33 出土土器・土製品実測図27 (1/4)	38	図75 C3区 III層中層出土石器実測図 (1/2)	71
図34 出土土器・土製品実測図28 (1/4)	39	図76 C3区 III層下層出土石器実測図1 (1/2)	71
図35 出土土器・土製品実測図29 (1/4)	40	図77 C3区 III層下層出土石器実測図2 (1/3)	72
図36 出土土器・土製品実測図30 (1/2・1/4)	41	図78 C4区 III層上層出土石器実測図 (1/2・1/3)	72
図37 出土土器・土製品実測図31 (1/2・1/4)	42	図79 C4区 III層中層出土石器実測図 (1/2・1/3)	73
図38 出土土器・土製品実測図32 (1/4)	43	図80 C4区 III層下層出土石器実測図 (1/2・1/3)	74
図39 出土土器・土製品実測図33 (1/4)	44	図81 C5区 III層上層出土石器実測図 (1/2・1/3)	75
図40 出土土器・土製品実測図34 (1/2・1/4)	45	図82 C5区 III層中層出土石器実測図 (1/2)	75
図41 出土土器・土製品実測図35 (1/2・1/4)	46	図83 C5区 III層下層出土石器実測図 (1/2)	76
図42 出土土器・土製品実測図36 (1/4)	47	図84 C6区 III層上層出土石器実測図 (1/2・1/3)	77

図85 C6区 Ⅲ層中層出土石器実測図 (1/2)	77	図96 D6区 Ⅲ層上層出土石器実測図 (1/2)	81
図86 D2区 Ⅲ層出土石器実測図 (1/2)	77	図97 E3区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	81
図87 D3区 Ⅲ層上層出土石器実測図 (1/2)	78	図98 E5区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	81
図88 D3区 Ⅲ層中層出土石器実測図 (1/2)	78	図99 E6区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	81
図89 D3区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	79	図100 A5区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	82
図90 D4区 Ⅲ層中層出土石器実測図 (1/2)	79	図101 B3区 Ⅲ層上層出土石器実測図 (1/2)	82
図91 D4区 Ⅲ層下層出土石器実測図1 (1/2)	79	図102 B3区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	82
図92 D4区 Ⅲ層下層出土石器実測図2 (1/2)	80	図103 B6区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	82
図93 D5区 Ⅲ層上層出土石器実測図 (1/2)	80	図104 出土鉄製品実測図 (1/2)	82
図94 D5区 Ⅲ層中層出土石器実測図 (1/2)	80	図105 事業地周辺の既往の調査成果 (1/1,500)	87・88
図95 D5区 Ⅲ層下層出土石器実測図 (1/2)	81		

表 目 次

表1 東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過.....	2	表4 石器観察表 (1) ~ (13).....	116
表2 調査地周辺の遺跡.....	4	表5 鉄器観察表 (1).....	128
表3 土器・土製品観察表 (1) ~ (21).....	95		

写真図版目次

図版1 出土土器①		図版9 出土土器⑨	
図版2 出土土器②		図版10 出土土器⑩	
図版3 出土土器③		図版11 出土土器⑪	
図版4 出土土器④		図版12 出土土製品・鉄製品	
図版5 出土土器⑤		図版13 出土石器①	
図版6 出土土器⑥		図版14 出土石器②	
図版7 出土土器⑦		図版15 出土石器③	
図版8 出土土器⑧		図版16 出土石器④	

第1章 調査の経過

第1節 事業の概要と発掘調査の経過

(1) 事業の概要

当該事業に係る発掘調査報告書の刊行が本年度をもって完了することから、ここで事業の概要について簡単に触れておく。

高松市の東部では、これまで市民のスポーツの活動拠点となりうる施設が整備されておらず、高松市の政策課題のひとつとなっていた。そのため、本市東部の丘陵地で総合的かつ全市民に求められる運動公園の整備を行うことを目的に「高松市東部運動公園（仮称）基本構想・基本計画」が平成5年に作成された。

運動公園整備予定地となったのが、高松市東端に位置する奥ノ坊・大空・金川瀬の地区で、総事業面積は47.2haにおよぶ広大な範囲が対称とされた。当該事業に係る工事は、平成10年12月より南側調整池での基盤整備から着手され、以後、一部計画が変更されたものの、平成25年度の完成に向けて整備事業が進められてきた。その間、平成25年度までに完成した施設は順次、供用が開始されている。東部運動公園整備事業は、以上の経過で本年度をもって事業の完了が予定されている。

(2) 発掘調査の経過

当該事業の予定地には、大空遺跡をはじめ複数の周知の埋蔵文化財包蔵地が所在しており、なおかつ広大な事業予定地であるため周知されていない埋蔵文化財も存在することが予想された。このため、高松市教育委員会では、当該地の埋蔵文化財の分布状況の把握と埋蔵文化財包蔵地の範囲を確定するため試掘調査を実施した。試掘調査は平成7年8月4日に着手し、実働70日をして平成9年10月8日に完了した。試掘調査は、事業予定地に合計203本のトレンチを設定し、約2,997m²を調査した。試掘調査の結果、遺構・遺物の認められた範囲を中心として本調査を実施する範囲を確定し、一部、試掘調査と併行して本調査を実施することとなった。

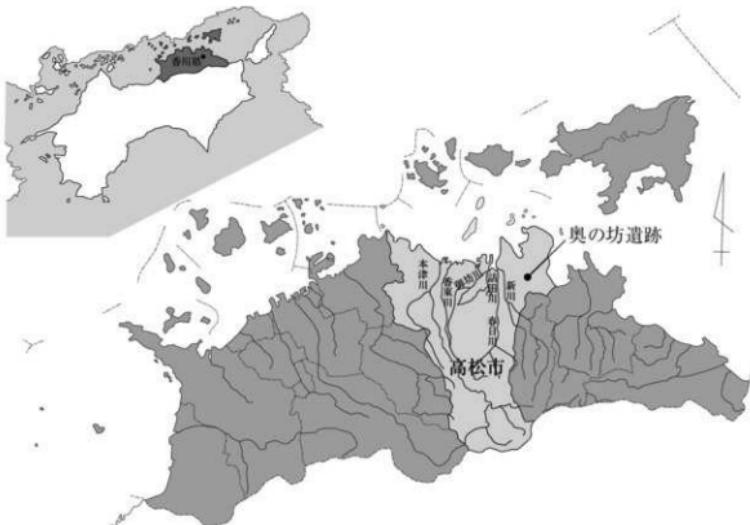


図1 奥の坊遺跡の位置とおもな河川

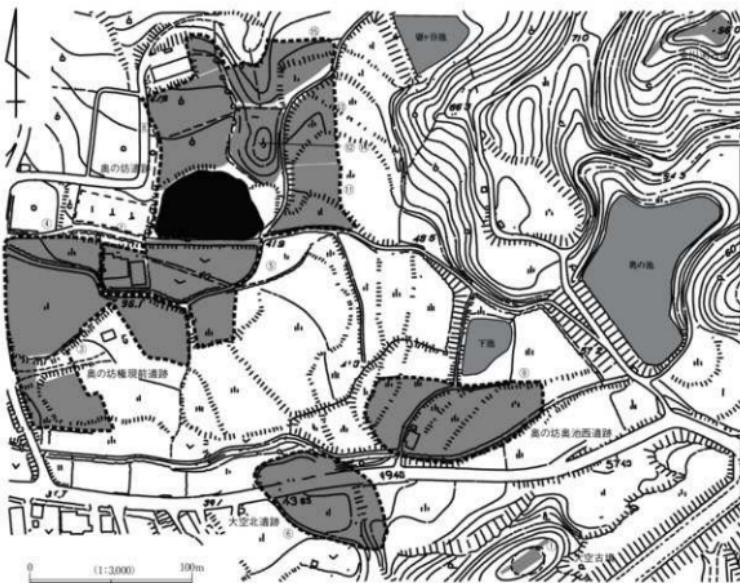


図2 高松市東部運動公園整備事業発掘調査地 (1/3,000)

表1 東部運動公園整備事業に伴う発掘調査経過

番号	遺跡名	調査区名	調査期間	調査面積 (m ²)	調査方法	報告書シリーズ名 (刊行年月)
-	試掘調査	全域	1995.8.4 ~ 1997.10.8	2,997	直営	
①	大空古墳	全域	1996.2.14 ~ 1996.2.23	150	直営	奥の坊遺跡群 I (1999.3)
②	金川潤古墳	全域	1996.2.23 ~ 1996.3.8	300	直営	
③	奥の坊現前遺跡	I ~ III	1997.2.10 ~ 1997.3.24	1,560	委託	奥の坊遺跡群 II (2004.3)
④	奥の坊現前遺跡	IV ~ VI	1997.10.7 ~ 1998.3.13	5,200	委託	
⑤	奥の坊遺跡	I ~ II				奥の坊遺跡群 V (2006.12)
		III	1998.9.14 ~ 1999.2.19	4,900	委託	(遺構編) 奥の坊遺跡群 VI (2013.3) 本書
⑥	大空北遺跡	全域	1999.4.16 ~ 1999.6.4	2,200	直営	奥の坊遺跡群 III (2004.12)
⑦	奥の坊遺跡	V	1999.5.28 ~ 1999.7.13	700	直営	奥の坊遺跡群 VI (2007.12)
⑧	奥の坊遺跡	VI	1999.11.10 ~ 2000.3.3	2,300	委託	(遺構・遺構出土遺物編) 奥の坊遺跡群 IX (2011.3)
					委託	(遺物包含層出土遺物編) 奥の坊遺跡群 X (2012.3)
		VII			委託	奥の坊遺跡群 VII (2010.3)
⑨	奥の坊古池西遺跡	全域	2000.4.17 ~ 2000.7.25	3,600	直営	奥の坊遺跡群 III (2004.12)
⑩	奥の坊遺跡	VIII	2000.10.2 ~ 2000.12.28	300	直営	奥の坊遺跡群 VII (2009.3)
⑪	奥の坊遺跡	IX	2000.10.5 ~ 2001.1.12	1,180	委託	奥の坊遺跡群 VIII (2009.3)
⑫	奥ノ坊古墳群 (測量)	全域	2001.6.5 ~ 2001.6.27	-	直営	奥の坊遺跡群 IV (2006.3)
⑬	奥の坊遺跡	X	2001.8.27 ~ 2002.1.18	1,320	委託	奥の坊遺跡群 VII (2009.3)
⑭	奥ノ坊古墳群	全域	2001.9.4 ~ 2001.11.28	1,020	直営	奥の坊遺跡群 IV (2006.3)
⑮	奥の坊遺跡	XI	2002.4.2 ~ 2002.7.5	1,180	直営	奥の坊遺跡群 VII (2009.3)
-	久米池遺跡	全域	2003.1.8 ~ 2003.1.21	200	立会	奥の坊遺跡群 IV (2006.3)

番号は、図2の番号に対応する。

本調査は、平成8年2月14日の大空古墳から着手し、平成15年1月21日の久米池遺跡の本調査が完了するまでの約8年にわたって実施した。本調査の調査面積はおよそ26,000m²だが、調査区によっては遺構面が二面存在する地区もあったため、実際に調査した面積は前述の数値を上回るものであった。本調査によって奥の坊遺跡・奥の坊現前遺跡・奥の坊奥池西遺跡・大空北遺跡・大空古墳・金川淵古墳・久米池遺跡など多数の遺跡を確認・調査することとなり、当地における縄文時代～近世までの多くの考古学的情報が明らかとなった。

以上のように、当該事業では長期間にわたり発掘調査を実施した結果、複数の遺跡を確認するとともに多数の遺物も出土したことから、調査後10年近い年月を費やして整理作業を継続することとなった。

第2節 整理等作業の経過

(1) 当該事業に伴う整理作業の概要

当該事業に伴う整理作業は、調査前から膨大な作業量になることが予想されたため、本調査と併行して平成9年1月より開始した。整理作業の内容は、現場で作成した図面や現場で撮影した写真の基礎整理、出土した遺物の洗浄・実測、遺構・遺物実測図のレイアウト・トレース、報告書の原稿執筆・編集が中心を占める。これらの作業を経て、平成11年3月に当該事業に伴う初めての発掘調査報告書である『奥の坊遺跡群I』を刊行することとなった。以後、当該事業の本調査が終了した翌年度にあたる平成15年度より、同シリーズの報告書を順次刊行してゆくこととなった。基本的には1年1冊のペースで報告書を刊行しており、平成25年度の本書『奥の坊遺跡群III』をもって当該事業に伴う全ての報告書の刊行が完了する。

(2) 本年度の整理作業について

昨年度に刊行した『奥の坊遺跡群II』は、Ⅲ区で検出した遺構のみを報告した遺構編であったが、本書は昨年度に報告できなかったⅢ区の出土遺物を報告するものである。

Ⅲ区の出土遺物は、平成21年1月～平成22年3月に実測を行い、平成24年4月から実測図のチェック・修正を行った。この作業をもとに、平成25年4～11月に挿図のレイアウトとトレース、平成25年6～12月に原稿の執筆・編集を行った。

第2章 地理的・歴史的環境

第1節 地理的環境

高松市は香川県のはば中央に位置する県都で、平成17年9月および平成18年1月に近隣6町と合併し、人口約42万人、面積約375km²の新たな高松市が誕生した（図1）。市域の大部分を占めるのが高松平野と呼ばれる平野部で、讃岐山脈に端を発する中小河川によって形成された沖積地にあたる。高松平野には、西から本津川、香東川、御坊川、詰田川、春日川、新川の6河川が瀬戸内海に向けて流れ込んでいる。とりわけ、現在の春日川以西の沖積地を形成したのが香東川と考えられている。一方、調査地の位置する古高松（高松町・新田町・春日町）地区は春日川と新川に近い地域で、両河川は水量が少なく、平野中央部を流れる香東川のように大規模な扇状地は形成されていない。また、古高松地区的北部は、江戸時代初期の干拓により陸地化されたものであり、寛永10（1633）年の『讃岐国絵図』によると、その頃の海岸線はかなり内陸に入り込んでおり、古高松地区の北に位置する屋島は島として描かれている。北を屋島に面した海岸（旧地形による）、東を立石山山塊、南を久米山丘陵、西を春日川によって限られた高松平野北東部の一角は、古代・中世を通じて「高松」（讃岐国山田郡高松郷）と呼ばれたが、天正16（1588）年の生駒親正による高松城築造以後は、城下町の高松に対して「古高松」と呼称されてきた。江戸時代以前の古高松の地形を推定できる史料として、古老の話を元に香西成資が享保4（1719）年に編纂した『南海通記』がある。その中に天正10（1582）年の頃として「…春日ノ里ニ至ル、此所ハ屋島山、石清尾山兩受ノ間、入海ニテ山田郡小山ノ下マデ潮サシ来ル、遠干渴ナ春日里ト木太郷ノ間、海ノ中道アツテ通用ス。…」との記述がある。ここで言う小山とは、現在の高松市新田町小山にあたると考えられ、この小山近くまで海岸線あるいは河口が湾状に入り込んでいたと想定される。

東部運動公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査事業として調査を行った「奥ノ坊」は高松町の北東端にあたり、地形的には旧高松市と旧牟礼町（現、高松市牟礼町）にまたがる標高100～200mの山塊の西側低丘陵地の尾根および谷部に位置する。現在、当地は内陸部としての景観をなすが、上記の推定海岸線を考慮すると海岸から800mと非常に近い場所に位置するものと考えられる。

第2節 歴史的環境

調査地周辺では、おもに発掘調査によって旧石器時代から近世にかけての遺構・遺物が検出されている（図3）。各時代のおもな遺跡と概要については表2に整理したが、ここでは奥の坊遺跡の集落が最も盛行した弥生時代に限定して、周辺の遺跡を概観する。

奥の坊遺跡の南西側約100mの地点には、奥の坊現前遺跡〔4〕が位置する。遺跡の中心は後期前半

表2 調査地周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	概要	文献
1	石器・鉄器			
40	久米山池田遺跡	新田町	ナイフ型石器が出土。	1
27	小山・南行遺跡	新田町	落とし穴状の坑を14基検出。	2
5	熊の庄高森西遺跡	高松町	落とし穴と考えられる遺構を複数。	3
2	生駒時代			
42	高山寺社遺跡	高田町	前頭部半円の壇面と考えられる遺跡を複数。	4
41	田代遺跡	半田町	網撚施設が出土。	5
40	久米山池田遺跡	新田町	中頭部半円の壇面性施設。網撚施設や瓦井が出土。	1
10	大空遺跡	高松町	後頭部半円の壇面となる土器が出土。	6
4	奥の坊堆塁環状遺跡	高松町	網撚土器が出土。	7
11	大空赤堀跡	高松町	張土器が出土。	8
27	南行遺跡	高田町	網撚土器が出土。	9
22	小山・南行遺跡	新田町	網撚土器が出土。	2
8	原遺跡	半田町	後頭部半円の壇面となる土器が出土。	10
6	原の村遺跡	牟礼町	かき付着した土器が大量に出土。	11
古墳時代				
6	諏訪神社遺跡	西条町	堅穴式石室を複数。	4
45	高松市街山古墳	高松市	全長55mの前方後円形、堅穴式石室を2基検出。	12
12	長谷山古墳	阿蘇町	阿蘇山麓の堅穴式石室が出土。	13
21	小山古墳	新田町	堅穴式石室を2基検出の古墳。	9
番号	遺跡名	所在地	概要	文献
32	山下古墳	新田町	巨大な丸井石で石室を構築した古墳。	14
43	諏訪神社古墳	西条町	丁字型の古墳。	15
38	八人古墳	新田町	石室を有し、裏室内の龜甲形陶器を設置。	16
26	良吉古墳群	高松町	墳頂は円墳で、横穴式石室。	9
35	岡山古墳群	新田町	前後方円墳と円墳からなる古墳群。	9
34	岡山古墳群	新田町	円墳1基からなる古墳群。	9・23
36	丹竹古墳群	新田町	円墳3基からなる古墳群。	17
2	2・3 奥の坊古墳群	高松町	円墳からなる古墳群。	18
6	大空古墳	高松町	直径11mの円墳。	6
7	金屋古墳	高松町	直径10mの円墳。	6
14	尾高城	対馬島・東郷	城門遺構や石垣のみを残存。	13
28	山田本村遺跡	新田町	平行多室施設を複数。	19
27	小山・南行遺跡	新田町	平行多室施設を複数。	2
4	奥の坊周縁環状遺跡	高松町	平行多室施設を複数。	2
33	山下鬼塚	対馬島	古代の瓦を複数。	20
13	十郎塚	対馬島町	堅穴式石室などを複数。	13
29	春日・西遺跡	春日町	16～17世紀のもので区画された居敷地を複数。	21
5	4・5 勝野古墳群	高松市	勝野里地盤を複数。	2
29	春日・鬼塚	春日町	近世の屋敷地を複数。	22

※番号は図3の番号に対応する。なお、表2は時代ごとに遺跡を整理したため、複数遺跡の場合には複数回記載する場合がある。

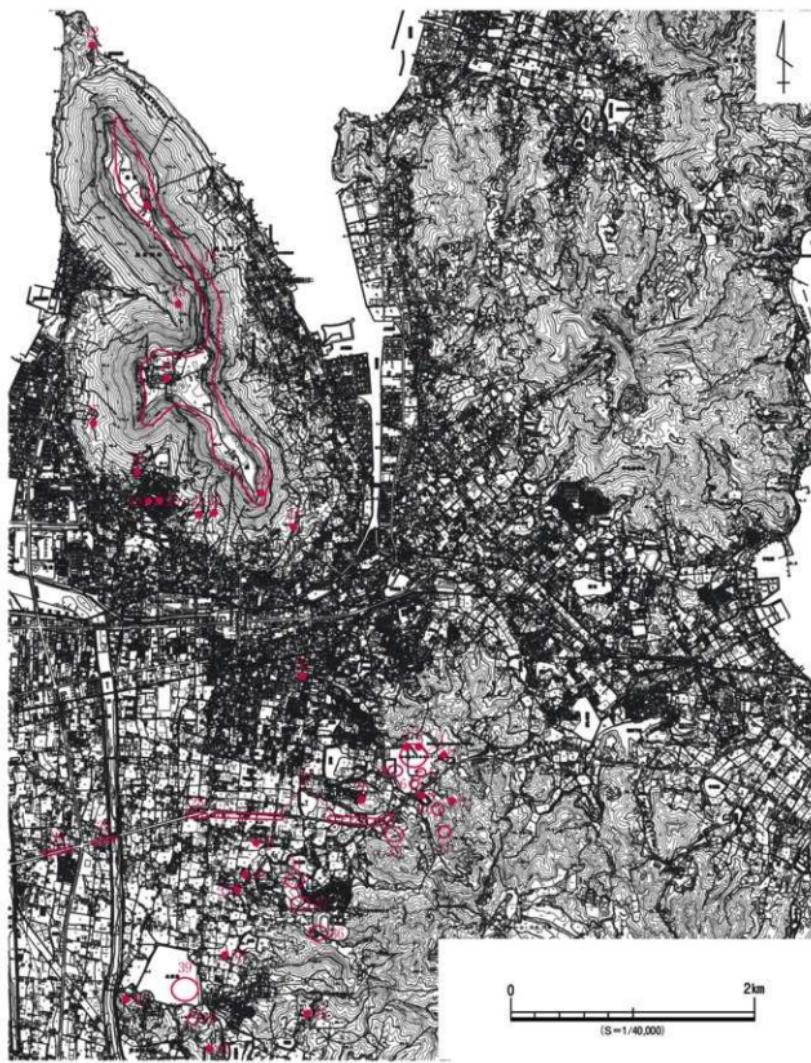


図3 周辺遺跡分布図 (1/40,000)

1 奥ノ坊遺跡	2 奥ノ坊1号墳	3 奥ノ坊2~4号墳	4 奥の坊奥池西遺跡	5 奥の坊奥池東遺跡	6 大空北道路
7 金川瀬古墳	8 大空古墳	9 スベリ山古墳	10 大空道路	11 大空南道路	12 長崎畠古墳
13 千間塗跡	14 屋鳴城	15 浦生古墳	16 星鳥寺	17 北浜1~3号墳	18 中路畠古墳
19 星島中央古墳	20 屋島中央東古墳	21 金刀比羅宮社域古墳	22 東山地古墳	23 星島經塚	24 湯ノ谷1~3号墳
25 高松(喜岡)城跡	26 長尾1~3号墳	27 小山・南谷道路	28 新田本村道路	29 川南・東道路	30 川南・西道路
31 小山古墳	32 山下古墳	33 山下庵寺	34 国山小古墳群	35 国山古墳群	36 律谷古墳群
37 南谷道路	38 久木古墳	39 久米池道路	40 久米池南道路	41 高松市茶臼山古墳	42 諏訪神社道路
43 羽門神社古墳	44 羽門道路	45 原中村道路	46 原道路		

であるが、調査では中期前半の堅穴住居跡もわずかに検出されており、奥の坊遺跡の集落との密接な関連が想定される。また、奥の坊遺跡から南東へ約450mの地点には、香川県の後期前半の標式となる土器が出土した天空遺跡〔10〕が所在する。

次に調査地の西側を概観すると、調査地の南西約3kmの地点には諏訪神社遺跡〔42〕があり、前期後半頃の環濠と考えられる溝が検出されている。諏訪神社遺跡は標高25~28mの丘陵尾根先端部に営まれた遺跡で、溝はその丘陵を囲むように配置されている。溝の内側には同時期の遺構・遺物はほとんど認められず、一般的な環濠集落とは様相を異にする点が注目される。諏訪神社遺跡では中期前半の溝も確認されているが、中期後半には木棺墓3基を造墓し、遺跡の性格が変化している点にも留意すべきである。諏訪神社遺跡から南東へ600mの位置には、中期後半の高地性集落である久米池南遺跡〔40〕がある。久米池南遺跡では、掘立柱建物跡を囲んで堅穴建物跡が構築されており、集落の外縁部には土墳墓が造墓されている。さらに、久米池南遺跡からは鉄斧や絵画土器が出土した点は注目される。一方、調査地から丘陵を隔て東へ約3kmの地点には、後期から終末期を中心に営まれた原中村遺跡〔45〕が位置し、堅穴建物跡などで構成される集落を形成している。また、奥の坊遺跡から東へ約1.5kmの地点には、明治14・15年頃の開墾中に細形銅劍が出土した羽間遺跡〔44〕が位置する。

以上のように、調査地周辺には奥の坊遺跡、奥の坊現前遺跡、天空遺跡などの集落が中期から後期にかけて営まれ、さらに調査地の3km圏内には前期から後期にかけての遺跡が点的に分布する状況が読み取れる。いずれも長期間継続する集落や墓域は認められず、高松平野に所在する遺跡全体の動向と同様の傾向である。

表2 引用文献

- 1) 高松市教育委員会1989「久米池南道路発掘調査報告書」
- 2) 香川県教育委員会1994「県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告 小山・南谷道路 平成5年度」
- 3) 香川県教育委員会1997「県道高松志度線道路改良事業に伴う発掘調査報告 小山・南谷道路Ⅰ」
- 3) 高松市教育委員会2004「高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第3冊 奥の坊遺跡群Ⅲ（大空北遺跡・奥の坊古池西遺跡）」
- 4) 高松市教育委員会2007「諏訪神社本殿移築・久米山墓地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 諏訪神社道路 久米山道路群－諏訪神社御旅所地区－」
- 5) 午礼町史編集委員会（編）『午礼町史』
- 6) 高松市教育委員会1999「高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1冊 奥の坊道路群Ⅰ（奥の坊地区（試掘）大型古墳金剛谷古墳）」
- 7) 高松市教育委員会2004「高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2冊 奥の坊道路群Ⅱ（奥の坊現前遺跡）」
- 8) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977「古高松郷土誌」
高松市歴史資料館1996「高松市歴史資料館収蔵資料目録－考古資料－」
- 9) 古高松郷土誌編集委員会（編）1977「古高松郷土誌」
- 10) 六本木一1961「香川県木田郡午礼町大通路の土器」「弦生式土器集成2」
- 11) 香川県教育委員会2008「県道高松志度線緊急整備工事および県立医療短期大学建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 原中村道路」
- 12) 香川県教育委員会1970「高松市茶臼山古墳緊急発掘調査概報」
前田郷土誌編集協議会1989「前田郷土誌」
- 13) 高松市教育委員会2003「史跡天然記念物 尾鳥－史跡天然記念物屋島基礎調査事業調査報告書Ⅰ～」
高松市教育委員会2008「屋嶋城跡Ⅱ－史跡天然記念物屋島基礎調査事業調査報告書Ⅱ～」
- 14) 香川県教育委員会1984「山下古墳調査報告」
- 15) 香川考古刊行会1993「香川考古 第2号」
- 16) 高松市教育委員会2003「高松市指定史跡 久米古墳－保存整備・市道新田町61号線道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～」
- 17) 高松市教育委員会2004「能谷古墳群」
- 18) 高松市教育委員会2006「高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第4冊 奥の坊道路群Ⅳ（奥の坊古墳群・久米池道路）」
- 19) 高松市教育委員会2006「都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第3冊 新田本村道路」
- 20) 高松市歴史資料館1996「第11回特別展 誰が古晩」
- 21) 高松市教育委員会1999「都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第1冊 川南・西道路」
- 22) 高松市教育委員会2000「都市計画道路室町新田線埋蔵文化財発掘調査報告書 第2冊 川南・東道路」
- 23) 高松市教育委員会2007「岡山小古墳群11号墳」「高松市内遺跡発掘調査概報－平成18年度国庫補助事業－」

第3章 III区の発掘調査成果

第1節 基本層序と地形

III区の基本層序は、断面図に示すとおり4層に大別できる（図5）。このうち、III層はおもに弥生時代中期の遺物を多量に含む遺物包含層で、層厚は約5~60cmを測る。III層は、調査区中央付近がより高く堆積し、その分布域は調査区西・東端の5m程度の範囲以外は、広く認められた。IV層は黒褐色砂混粘質土で、層相の観察より当地の基層をなす自然堆積層（地山）と考えられる。

遺構面については、III層上面が近世以降に形成された遺構を検出できる生活面（第一遺構面）、IV層上面が弥生時代以降の遺構を検出できる生活面（第二遺構面）と判断できる。

第2節 検出遺構の概要

III区の調査面積は約2170m²で、多数の遺構・遺物を検出した。第一遺構面では、近世以降に形成された遺構・遺物を検出した。検出遺構は土坑・ピット・井戸・溝で、調査区南側中央付近を除くその他の場所に分布する。とりわけ、調査区東半の遺構密度は他の箇所と比べると高い。土坑・ピット・井戸などの居住に関連する遺構は調査区東側に分布が偏る傾向があり、調査区東半の遺構分布状況はIII区のさらに東側に近世以降の居住地が展開する可能性を推定させる。

第二遺構面では、弥生時代中期を主体とする遺構と一部に古墳時代の遺構を検出した。居住に関する遺構の中心をなす堅穴建物跡については5棟を認識しているが、堅穴建物以外の遺構のなかで掘り形が非常に大きい遺構が複数存在した。その遺構についても堅穴建物跡になる可能性があるものの断定はできなかった。その他の検出遺構は、土坑・ピット・溝であるが、遺構の分布密度は北側に隣接するVI区よりも低い。III区の遺構から出土した遺物についてはVI区の遺構出土遺物と同時期であり、なおかつ双方の調査区で検出した遺構の性格や連続性などを考慮すると、これら遺構を一連の集落に伴う遺構と評価して良いだろう。

III区の第二遺構面の遺構は、多少の粗密はあるものの調査区全域に分布する。このうち、堅穴建物跡については調査区中央で南北方向に構築されていることが読み取れる。これは、調査区東・西端が多少の斜面地になっていることと関連しているものと考えられ、より生活しやすい地形面上を選んで建物を構築したことが予想される。この傾向は、VI区の地形面と堅穴建物跡の関係と同様である。

なお、III層は多数の遺物を含む遺物包含層で、第一遺構面の調査が完了したのちに人力による掘削と遺物の回収を行なった。III層出土遺物は、調査区内に設定したグリッドごとに取り上げを行なった（図4）。このグリッドは、国土座標に従って設定した10m四方で、アルファベットとアラビア数字を組み合わせたグリッド名を付した。III層出土遺物の報告にあたっては、グリッドごとに遺物を提示する。

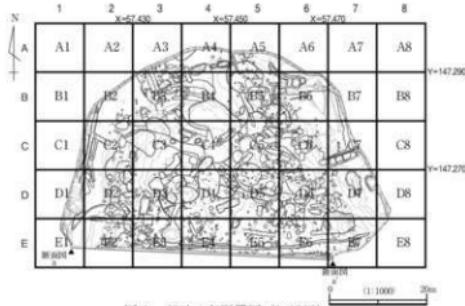


図4 グリッド配置図 (1/1000)

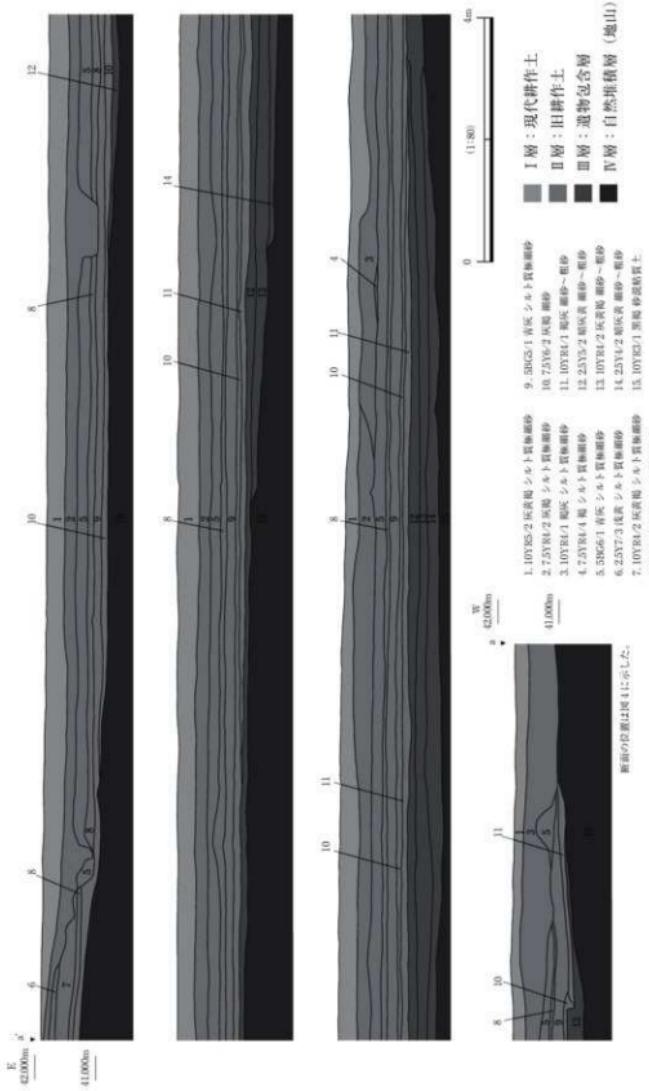


图5 潘东区南壁土层剖面图 (1:50)

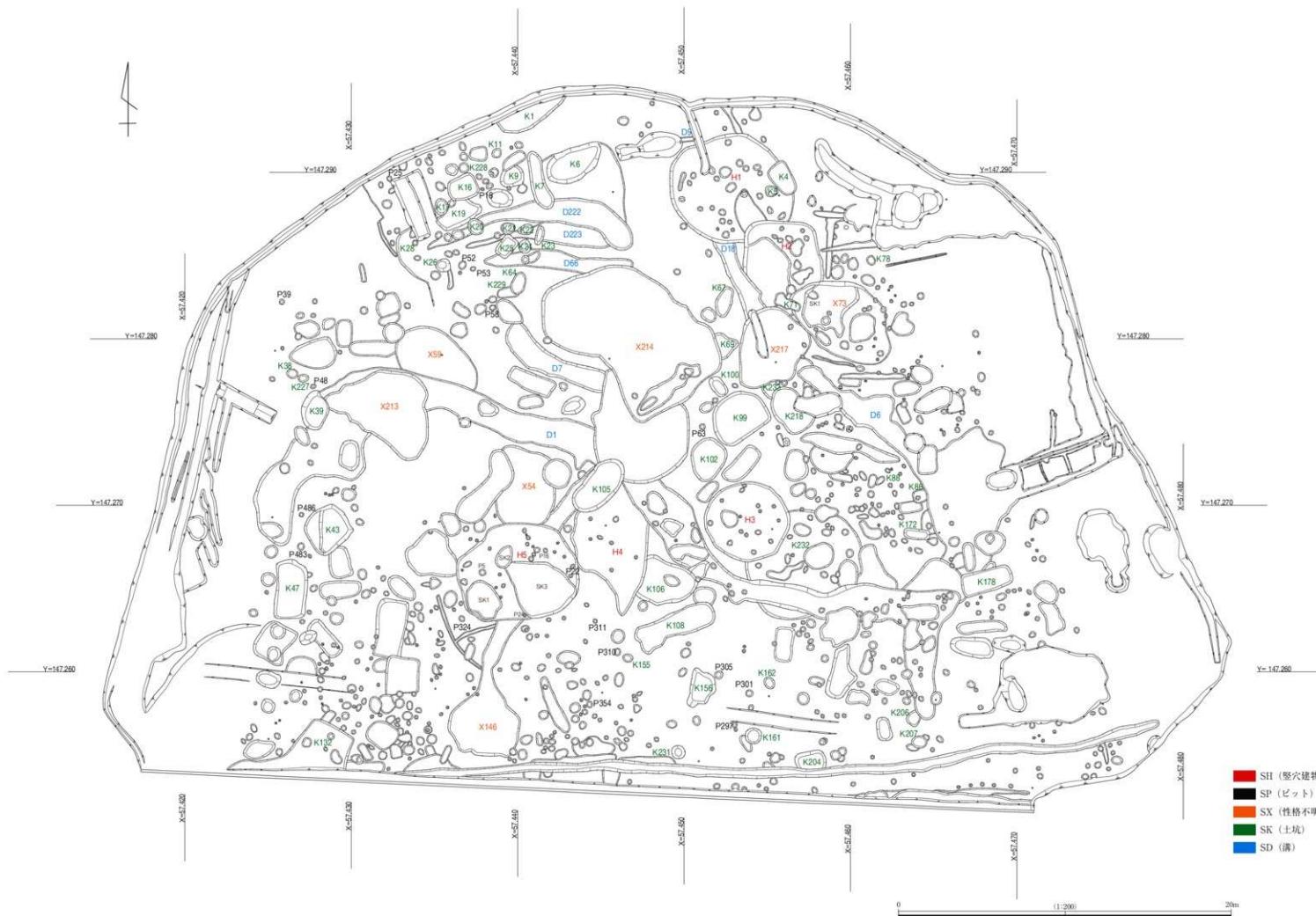


図6 調査区平面図 (1/200)

遺構番号は簡略化して示した。例) SH→H, SP→P, SX→X, SK→K, SD→D
本書に掲載した遺物の出土遺構のみ記載した。

第4章 III区の出土遺物

第1節 遺物の概要

III区の出土遺物は、遺構とIII層（遺物包含層）から出土した遺物が中心を占める。遺構出土遺物は、第一遺構面出土遺物と第二遺構面出土遺物の双方がある。第一遺構面に帰属する遺構から出土した遺物は、図化しうる遺物がほとんど存在しないため、本書には掲載していない。

遺物全体の傾向としては、弥生時代中期前半の土器・石器が多数を占める点が最大の特徴である。弥生時代中期前半以外の時期の遺物としては、III層などから古墳時代後期の遺物も少量出土している。III層出土の古墳時代後期の遺物については、現地での遺物取り上げを重視してIII層出土遺物として本書では取り扱っているが、遺物の全体量に対して少量であることなどから、本来はその上面から切り込む遺構に帰属していた遺物をIII層表層部の掘削の際に誤認して取り上げたものと考えられる。したがって、これらIII層出土の古墳時代後期の遺物は、III層の形成時期を直接示す遺物とは異なるものと判断する。

さて、弥生時代中期前半の土器については、壺・蓋・壺・鉢・高杯などが主体で、一部にいわゆる擬朝鮮系無文土器の破片が含まれていた。石器は、金山産と考えられるサヌカイトで製作されたtoolや未製品、剥片・石核などがある。また、一部に鋳造鉄斧などの鉄製品が出土している点は特徴的である。これら土器などの組成や時期は、近接するVI区の出土遺物と大きく異ならず、この点からも双方で検出した遺構は一連の集落に伴うものであると推定できる。

第2節 遺物の掲載方法

遺物の掲載にあたっては、優位な状態で出土した遺物を中心に、図化できる遺物を実測・掲載した。遺構出土遺物は、図6の平面図に掲載遺物の出土した遺構が把握できるように遺構番号を付しており、そちらを参照されたい。

III区の出土遺物は、遺構とIII層（遺物包含層）出土遺物の双方が大半を占めるが、とりわけIII層出土遺物は遺構出土遺物よりも圧倒的に出土量が多いと言える。このため、III層出土遺物の本書における掲載方法を簡単に整理しておく。

III層出土遺物の掲載にあたっては、前述した10m四方のグリッド単位で取り上げを行っているものが大半であることから、A1グリッドから順にグリッド単位で掲載する。また、現地調査でIII層の細別層を把握できたものについては遺物ラベルに上・中・下層の区別が記載されている。ただし、図5の断面図で示すIII層のどの細別層に対応するのかが整理作業で明らかにできなかった。よって、一応の目安として、遺物ラベルの記載にしたがってIII層の細別層ごとに遺物を分けてレイアウトしている。なお、グリッドの位置関係については図4を参照願いたい。

第3節 出土遺物

以下に各遺物の実測図を掲載するが、膨大な量の遺物が出土しているため、個別の遺物の情報は観察表に記載し、特徴的な遺物については第5章の総括で記述する。遺物は、土器・土製品、石器、鉄製品に分けて掲載している。なお、鉄製品については、III区から出土したもの以外に、奥の坊遺跡VII・IX区から出土したものが未報告であったため、本書に掲載し報告する。

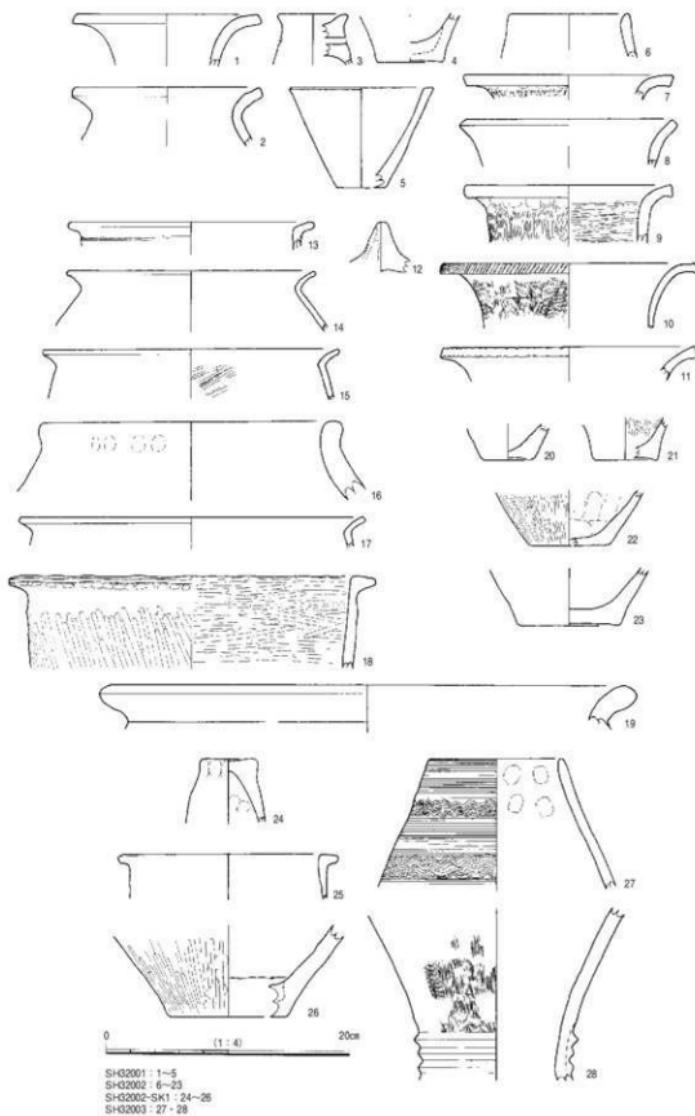


図7 出土土器・土製品実測図1 (1/4)

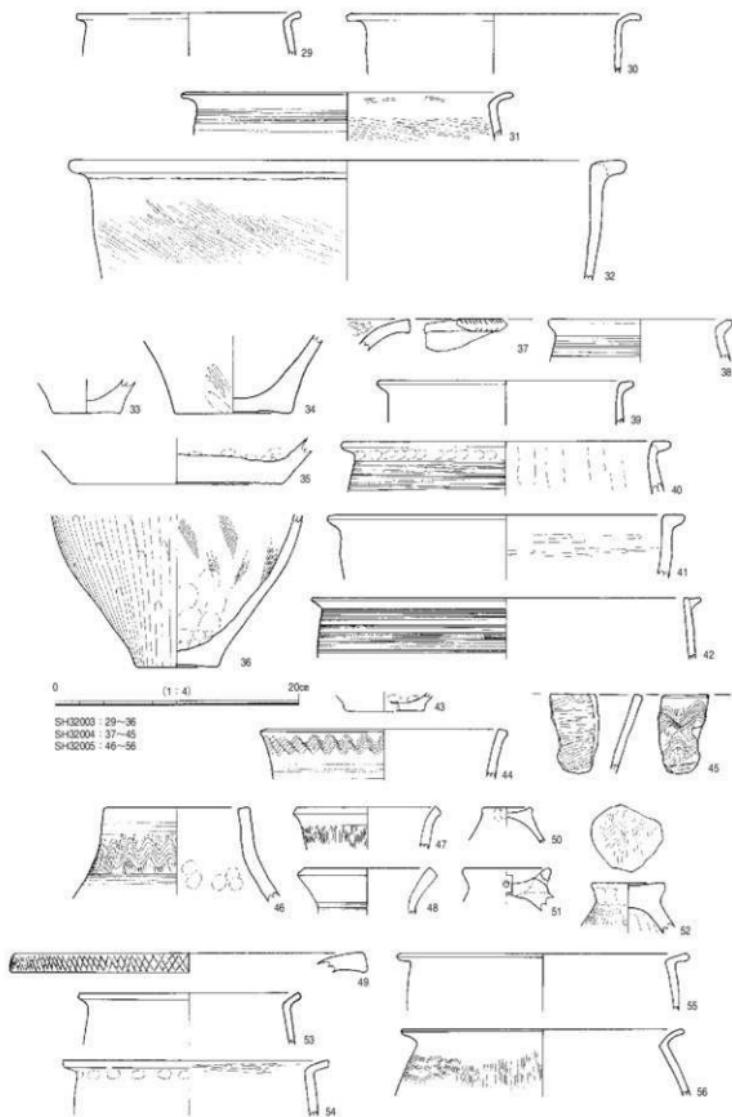


図8 出土土器・土製品実測図2 (1/4)

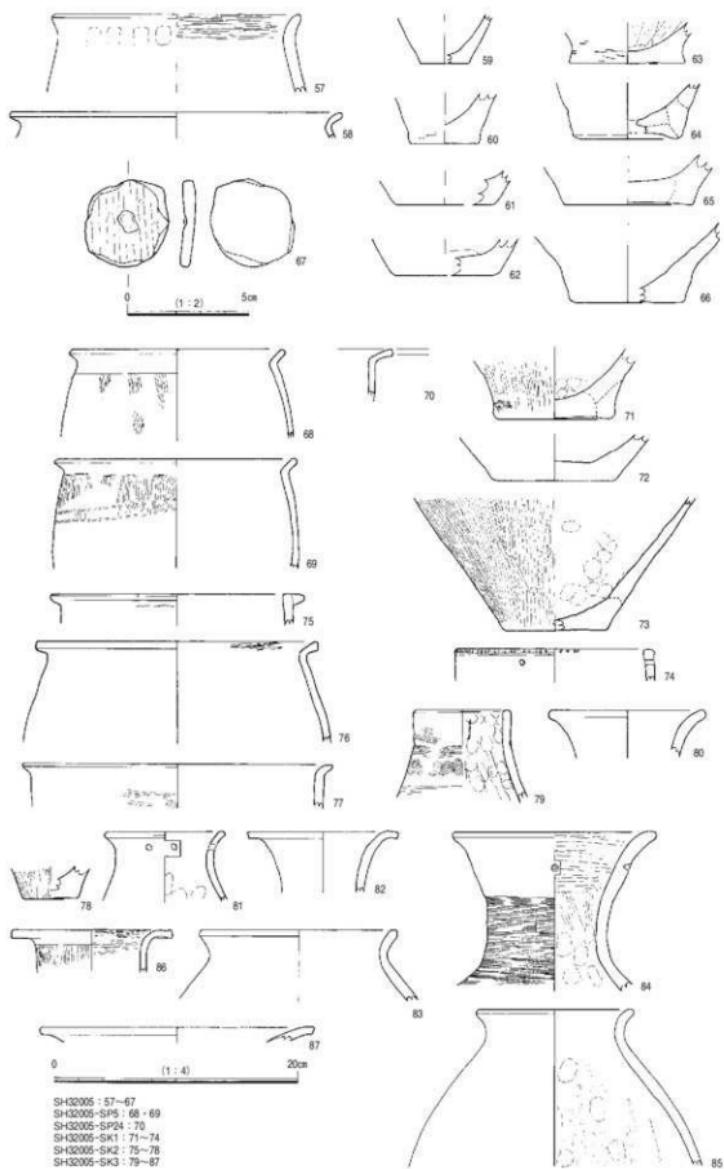


図9 出土土器・土製品実測図3 (1/2・1/4)

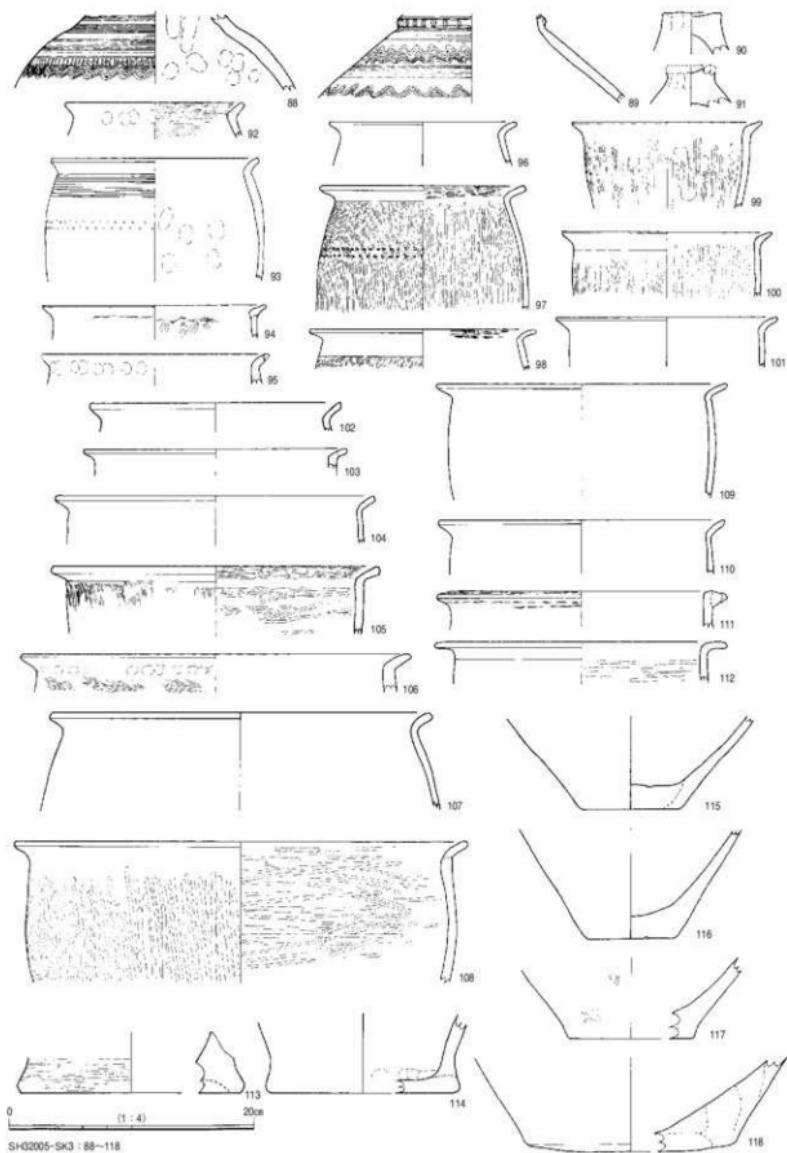


图10 出土土器・土製品実測図4 (1/4)

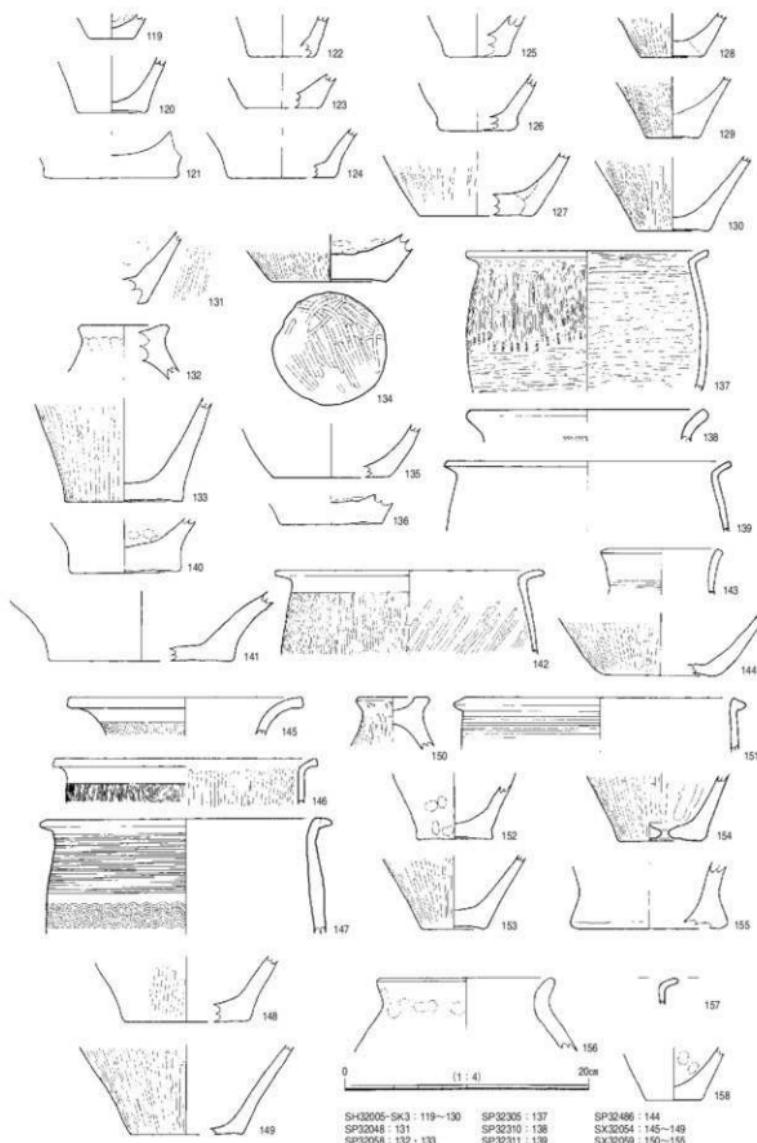


図11 出土土器・土製品実測図 5 (1/4)

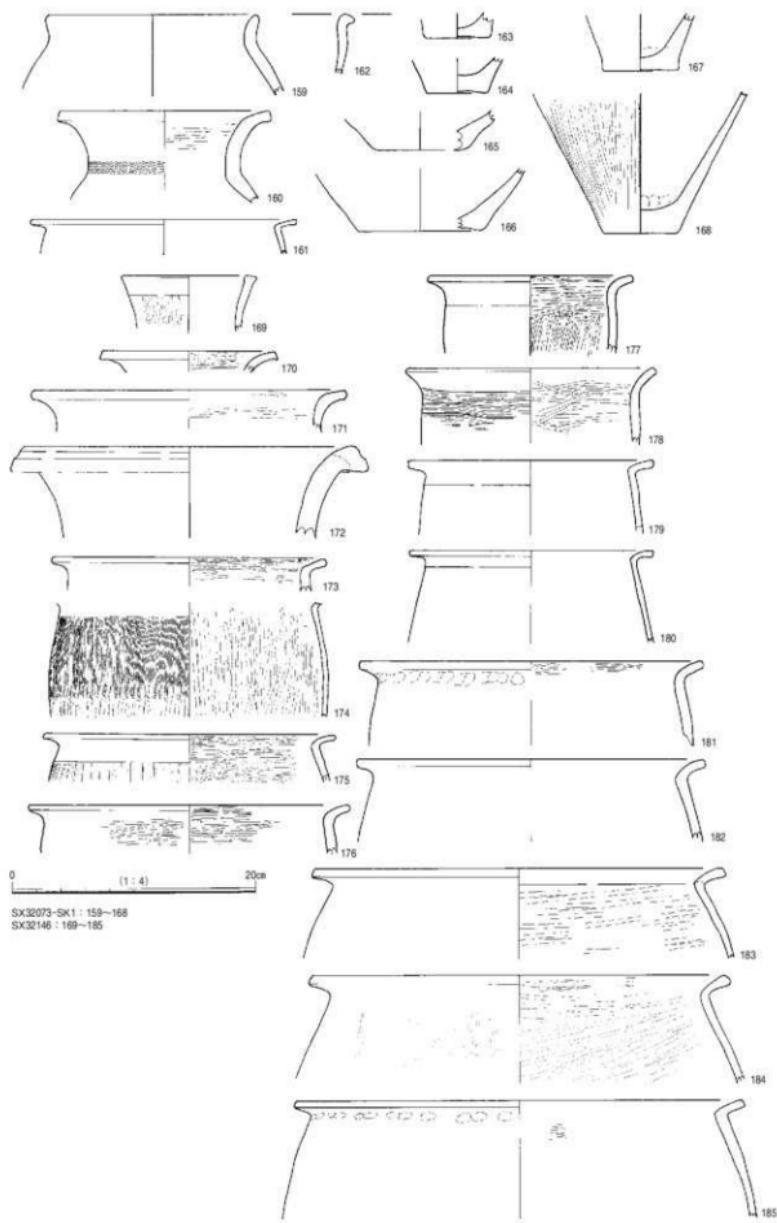


図12 出土土器・土製品実測図6 (1/4)

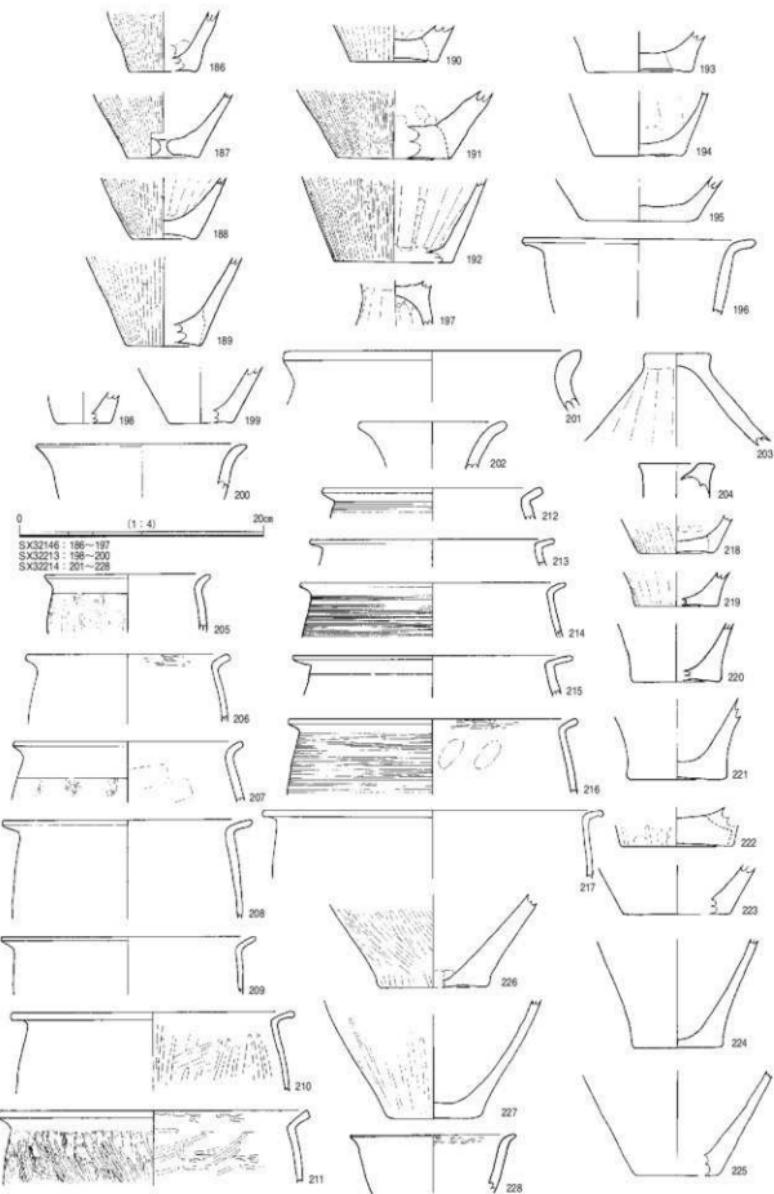


図13 出土土器・土製品実測図 7 (1/4)

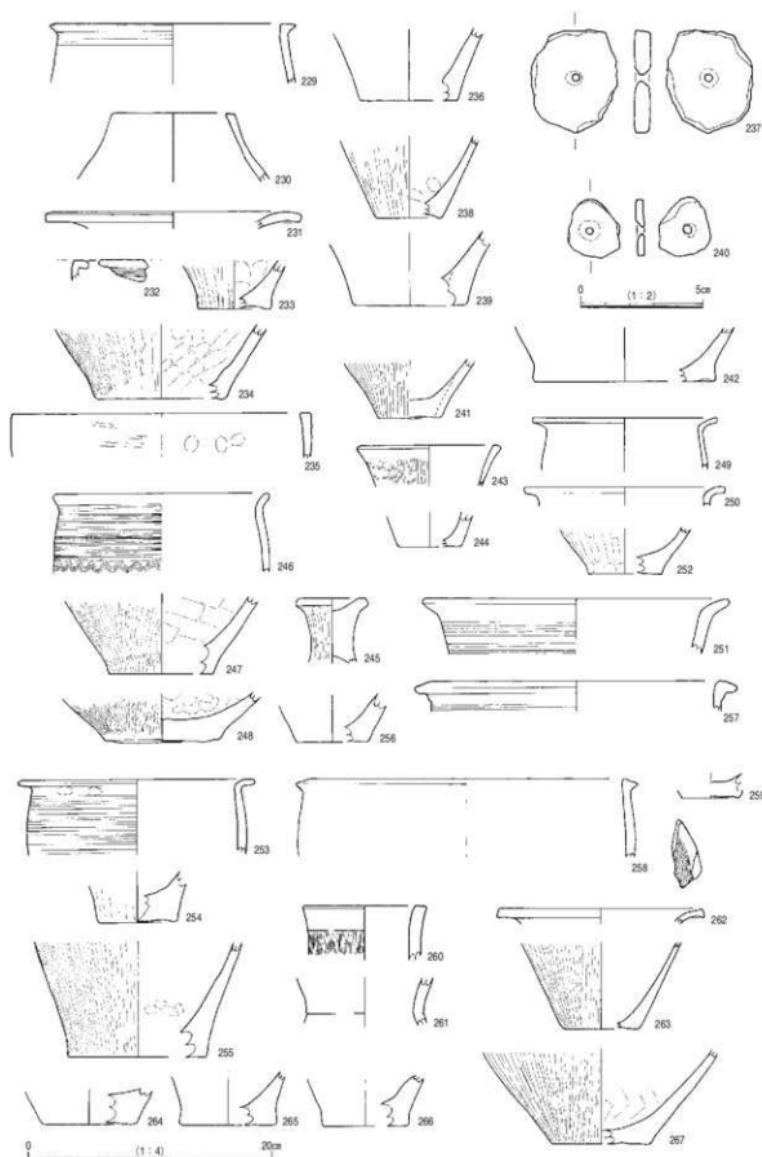


図14 出土土器・土製品実測図8 (1/2・1/4)

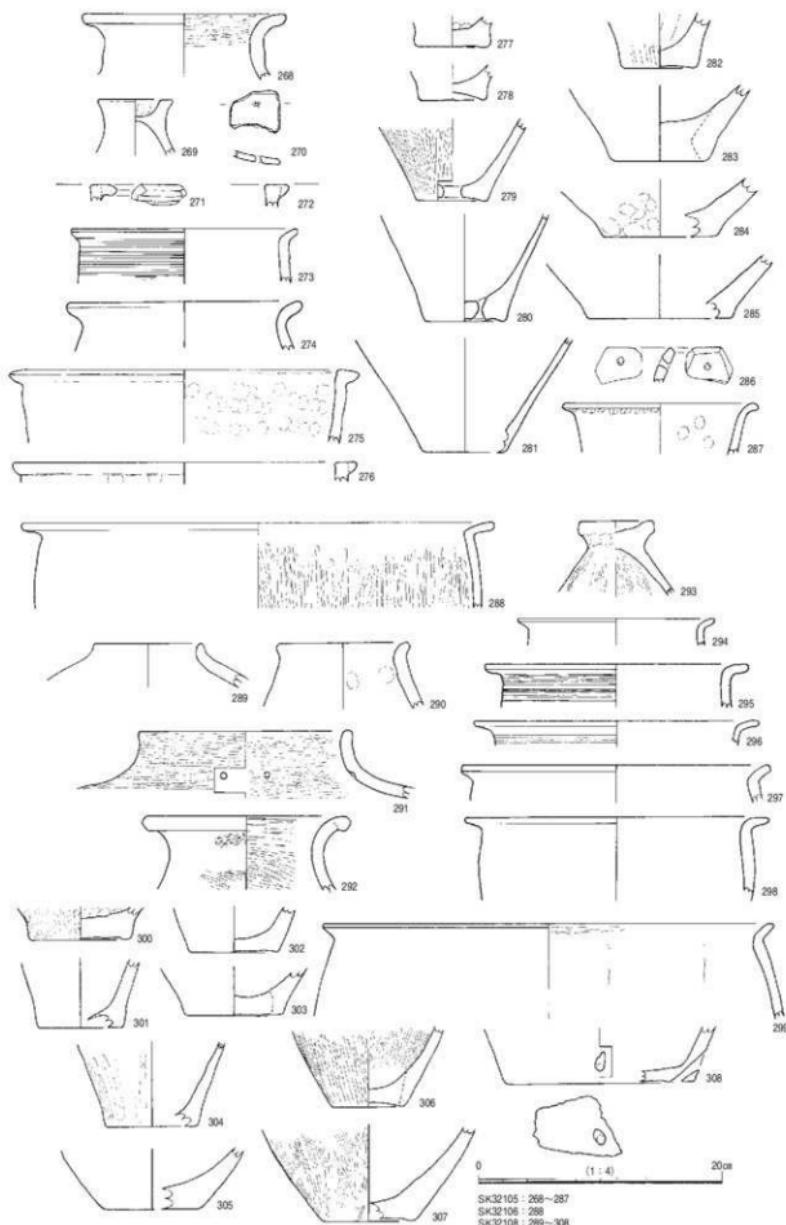


図15 出土土器・土製品実測図9 (1/4)

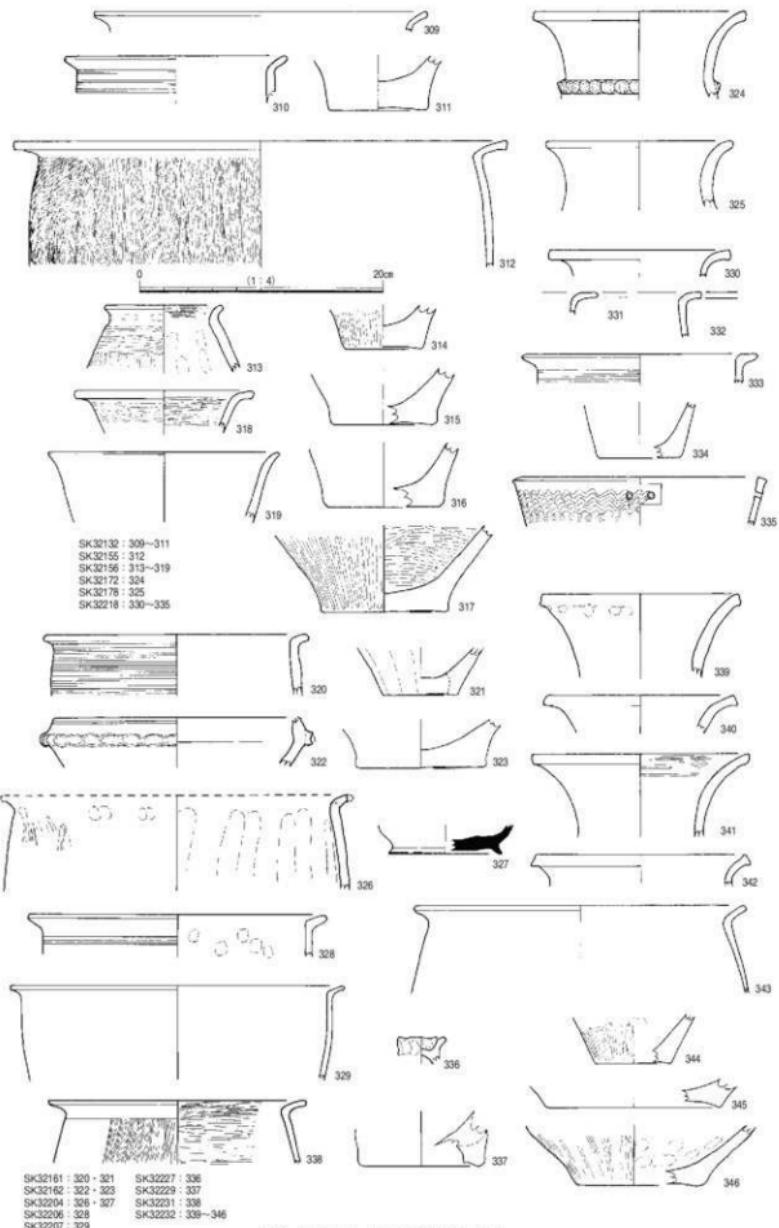


図16 出土土器・土製品実測図10 (1/4)

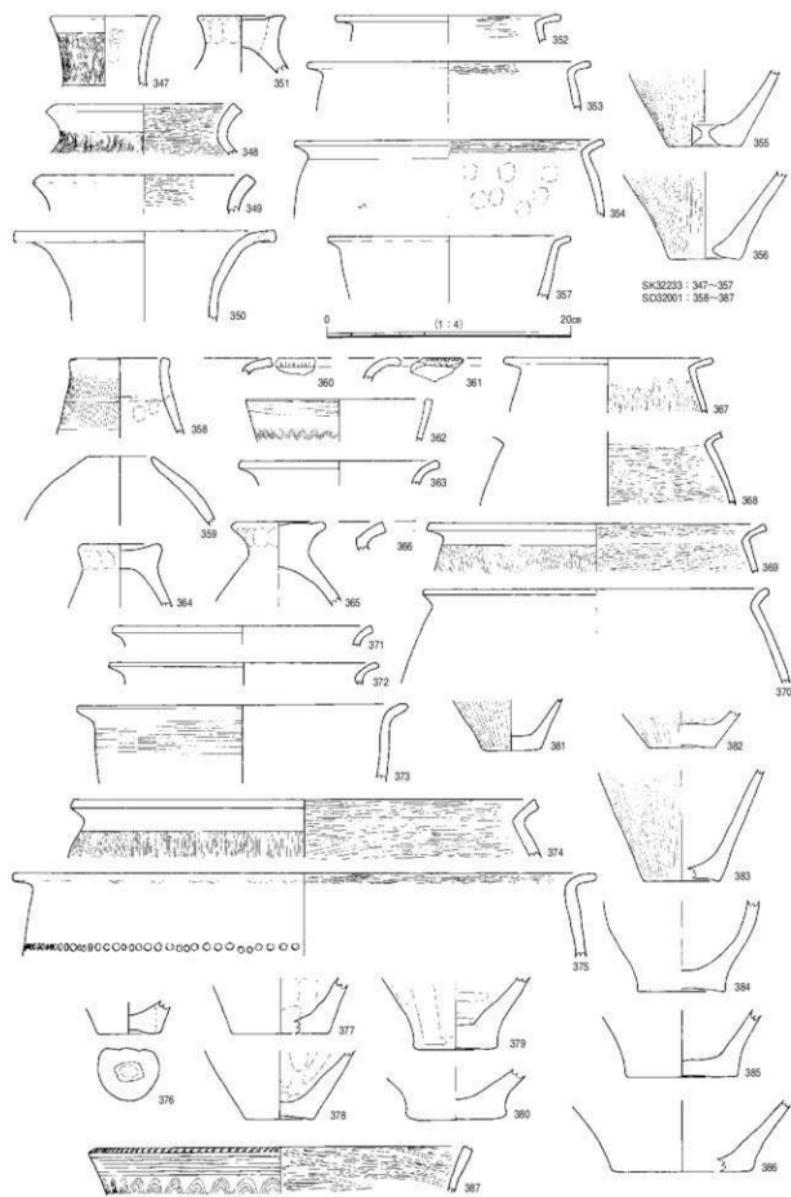


図17 出土土器・土製品実測図II (1/4)

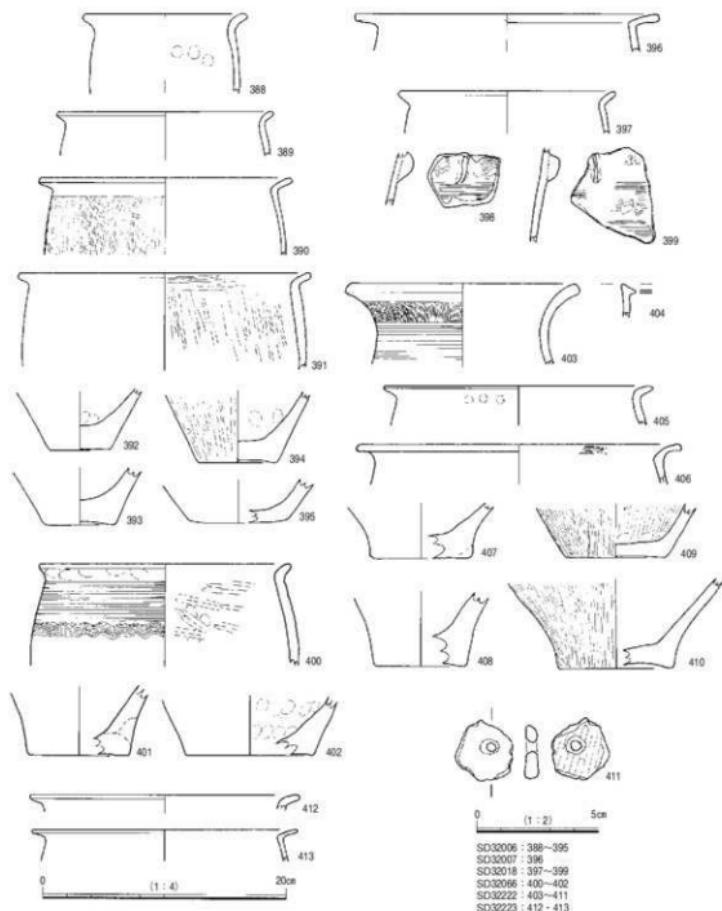


図18 出土土器・土製品実測図12 (1/2・1/4)

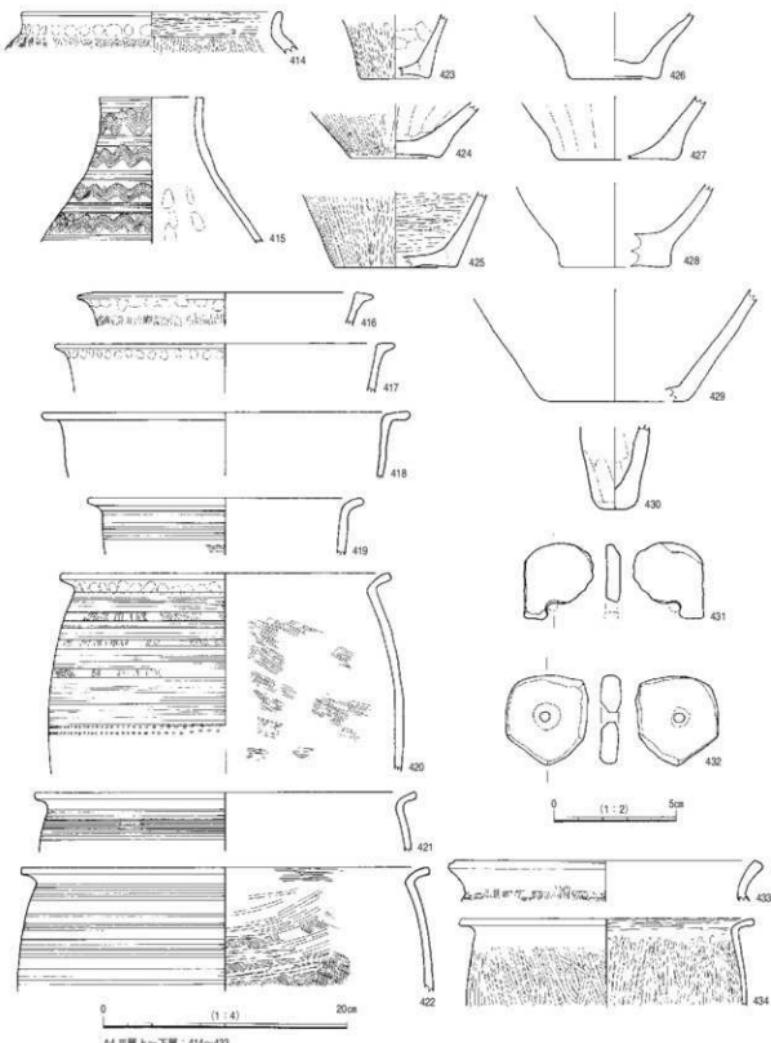


図19 出土土器・土製品実測図13 (1/2 + 1/4)

A4 Ⅲ層上一下層：414～433
A4・B4 Ⅲ層下層：434

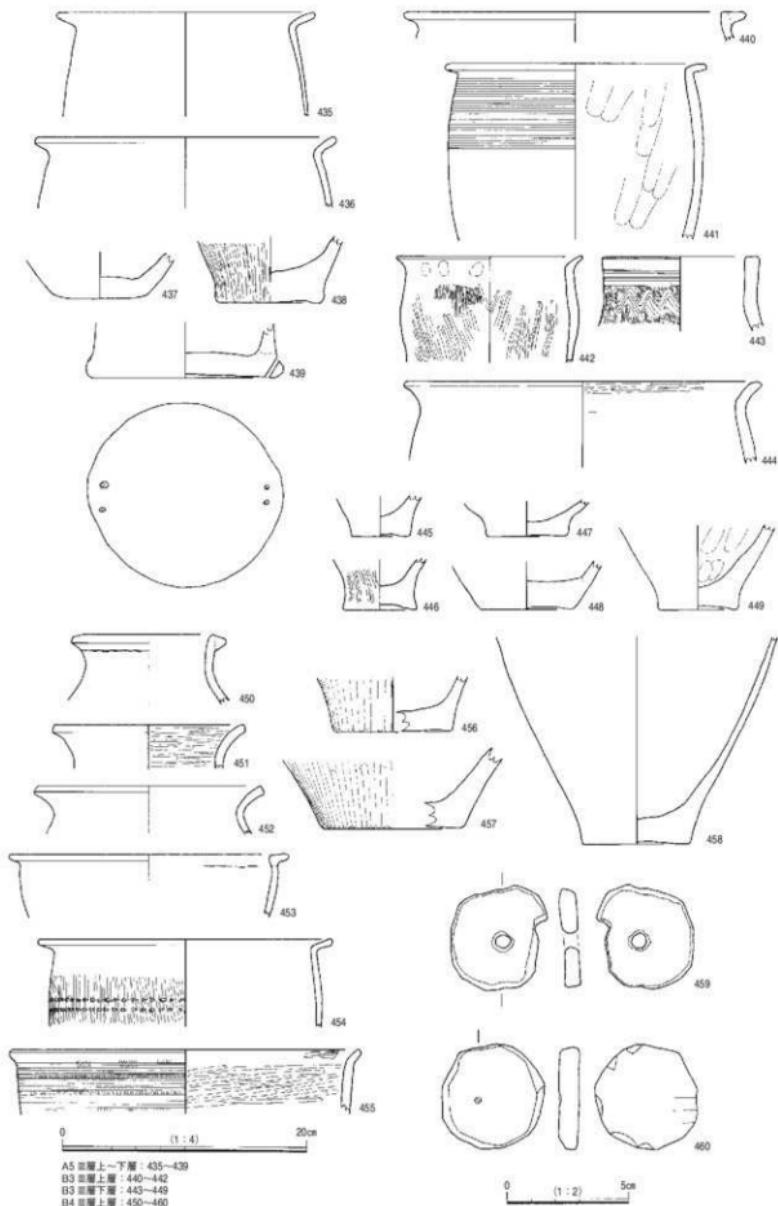


图20 出土土器・土製品実測図14 (1/2 + 1/4)

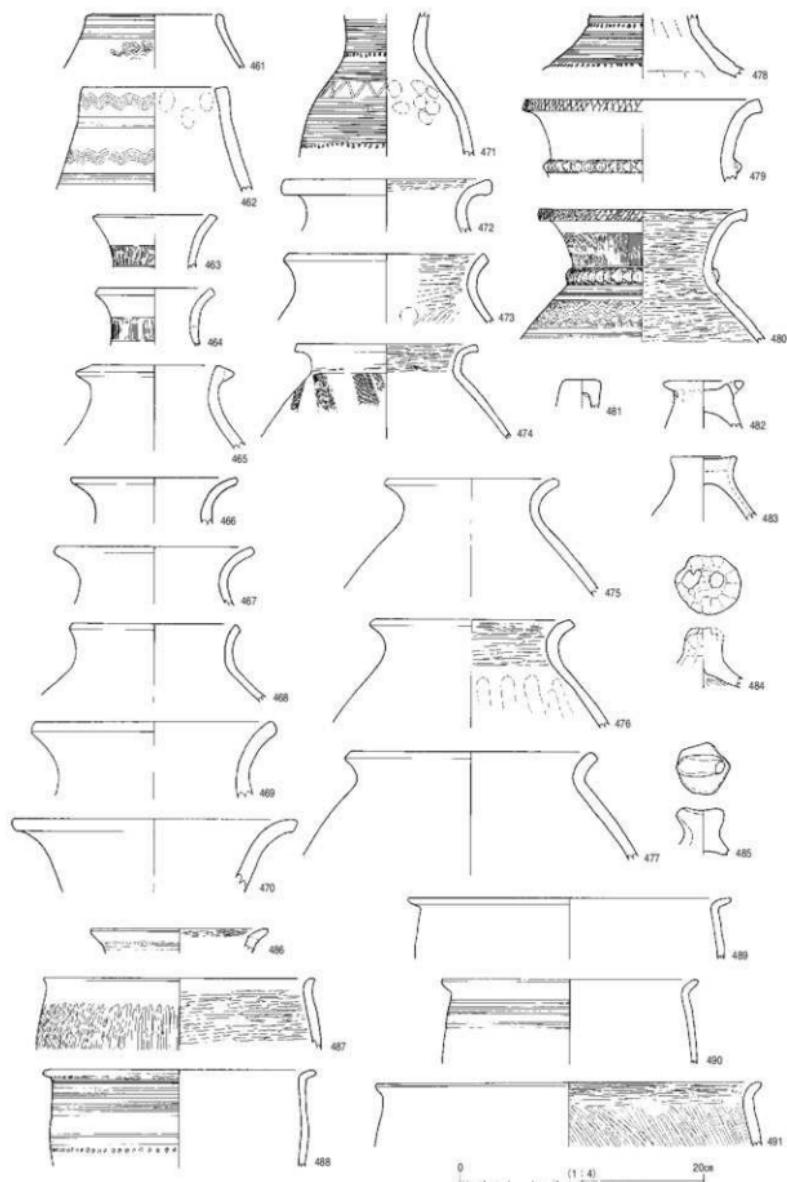


図21 出土土器・土製品実測図15 (1/4)

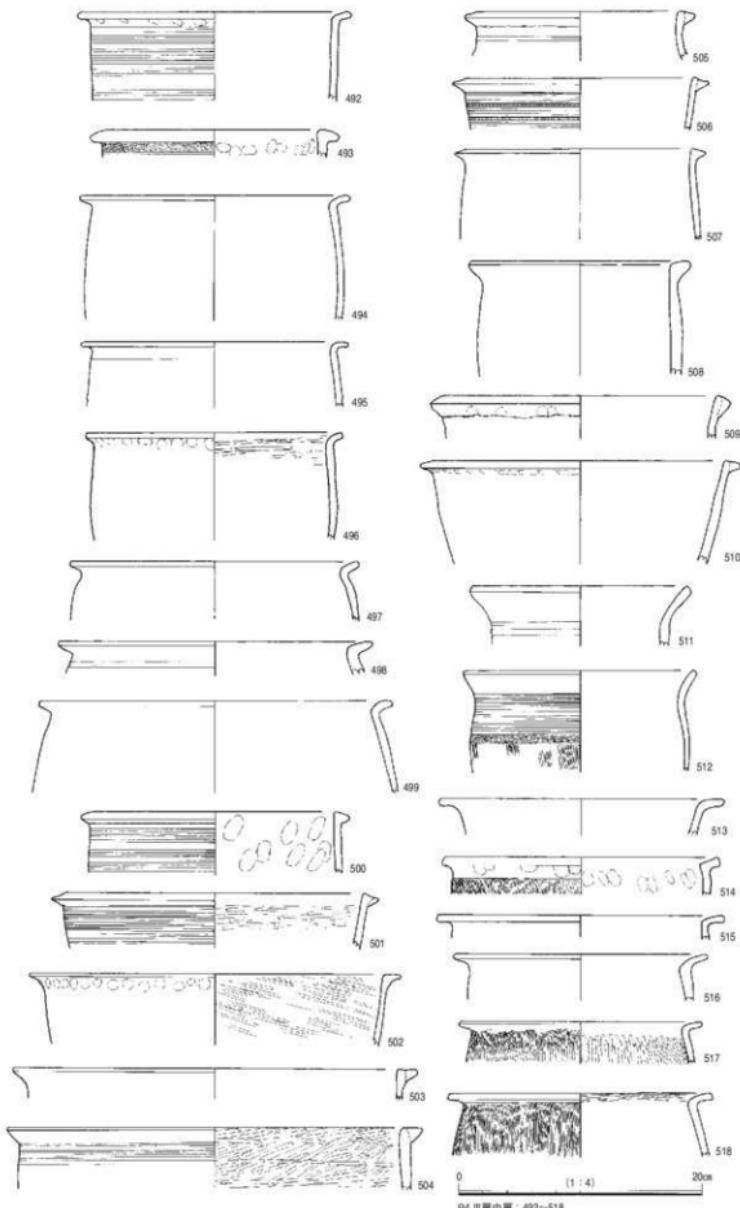


图22 出土土器・土製品実測図16 (1/4)

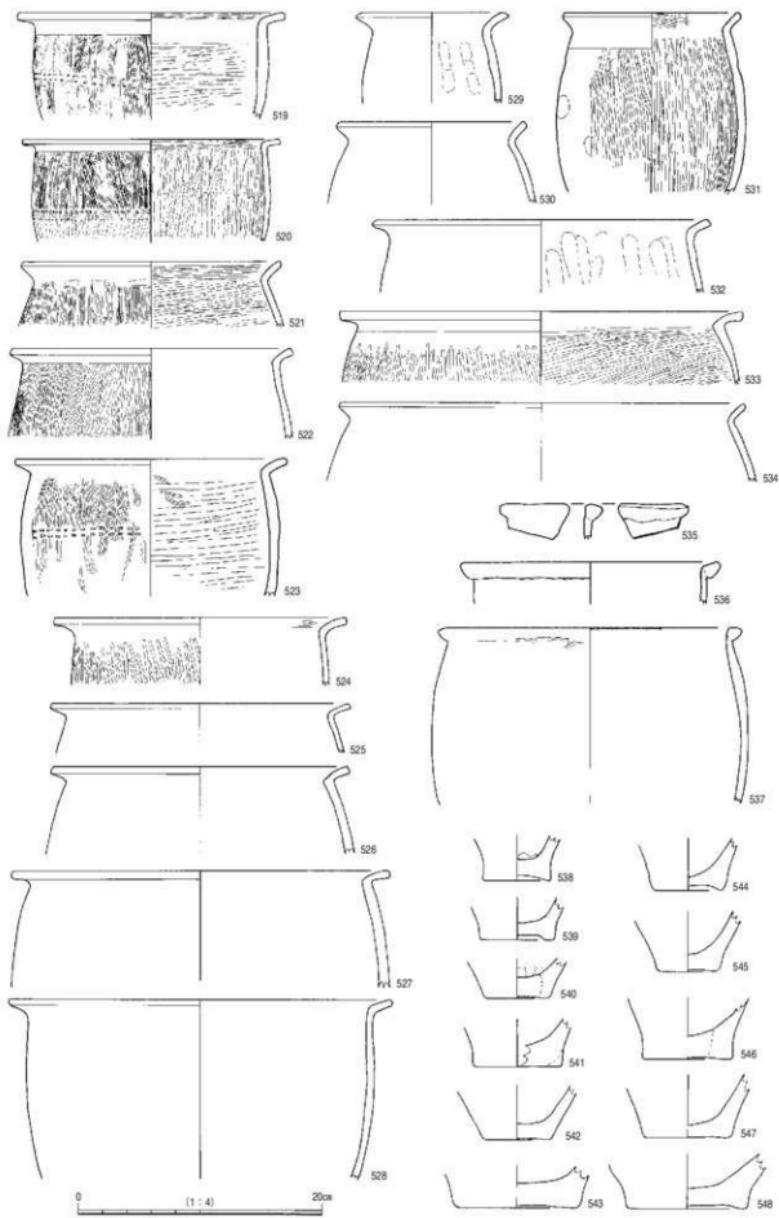


図23 出土土器・土製品実測図17 (1/4)

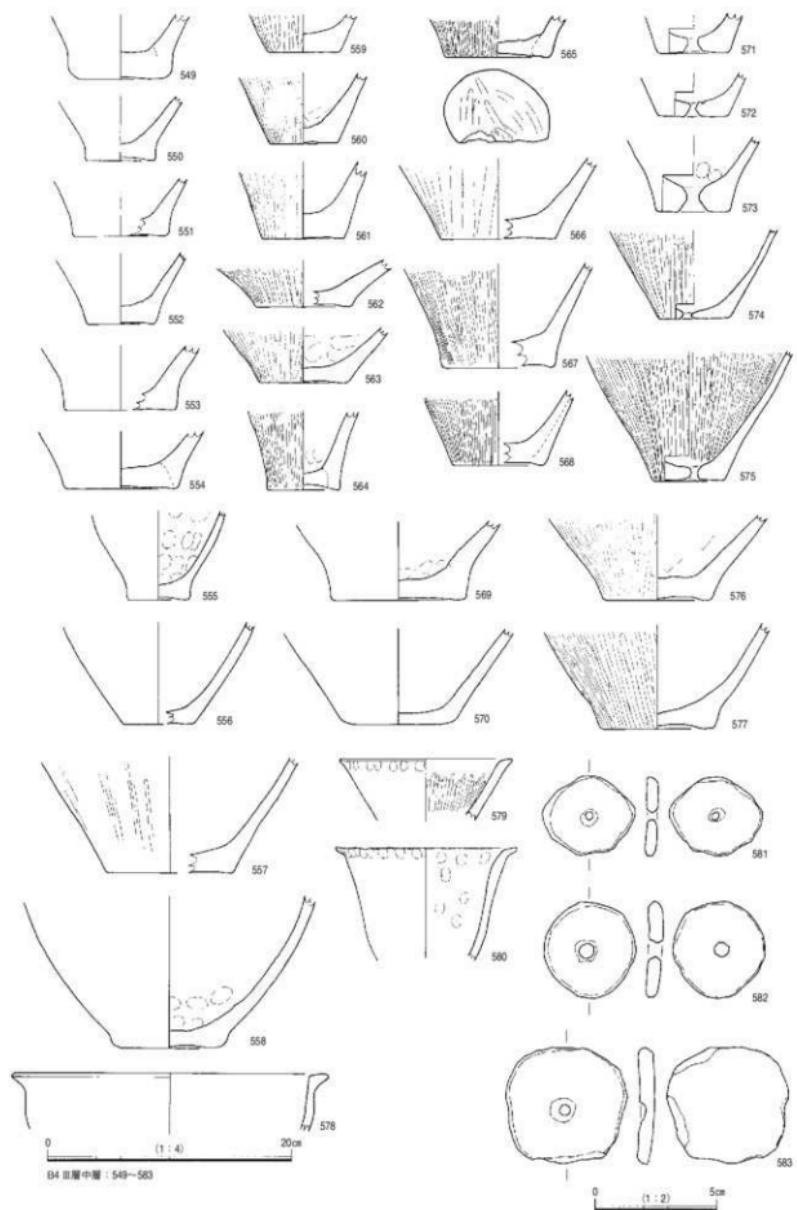


図24 出土土器・土製品実測図18 (1/2 + 1/4)

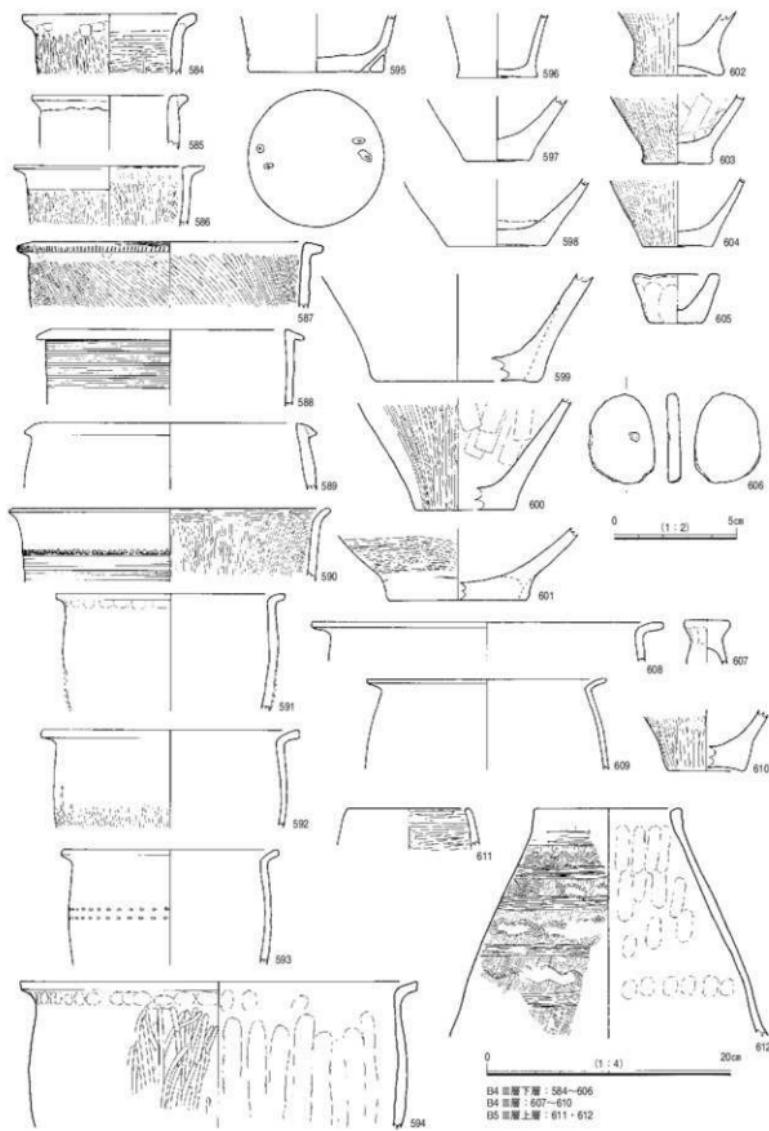


図25 出土土器・土製品実測図19 (1/2・1/4)

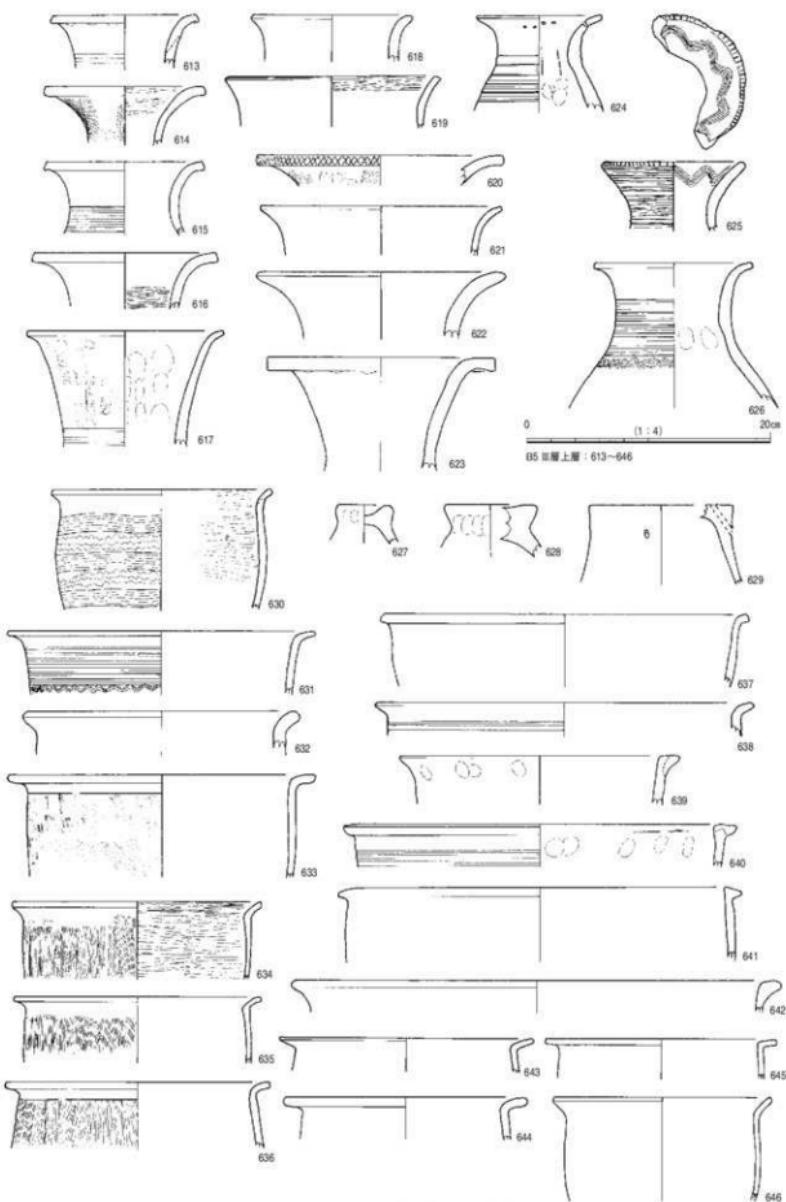


図26 出土土器・土製品実測図20 (1/4)

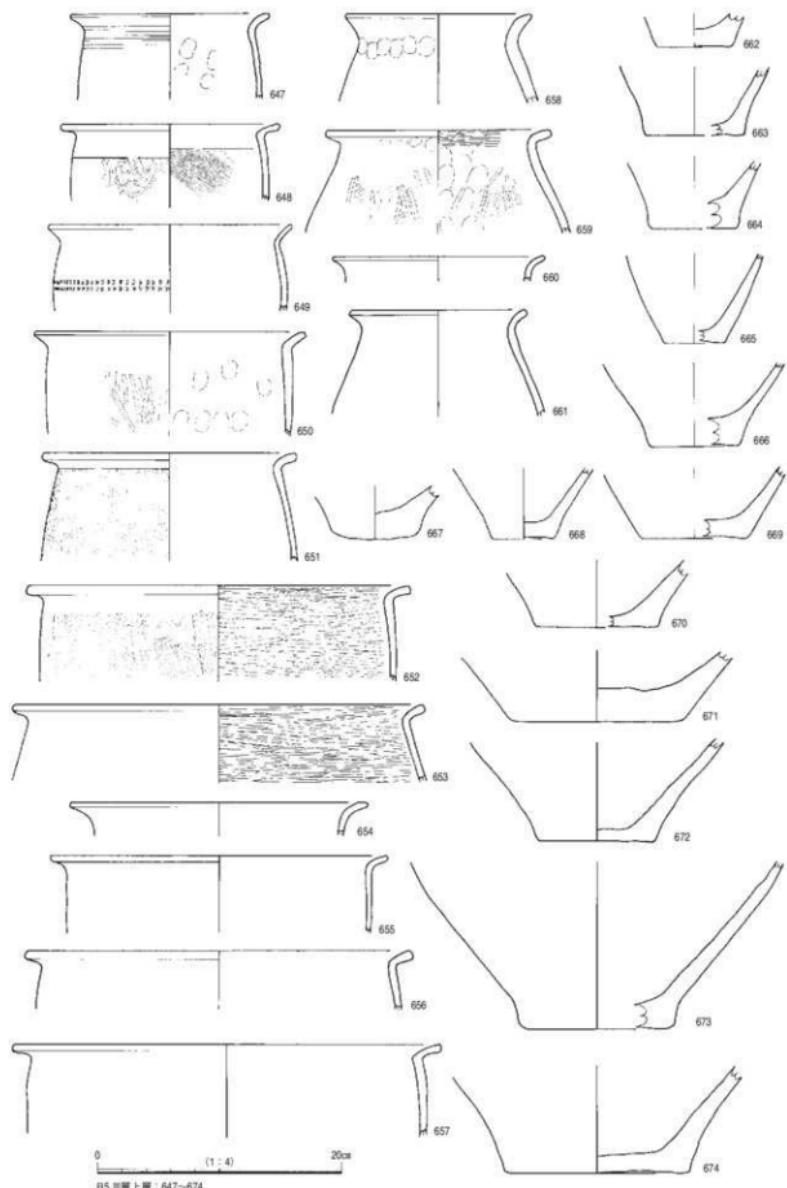


図27 出土土器・土製品実測図21 (1/4)

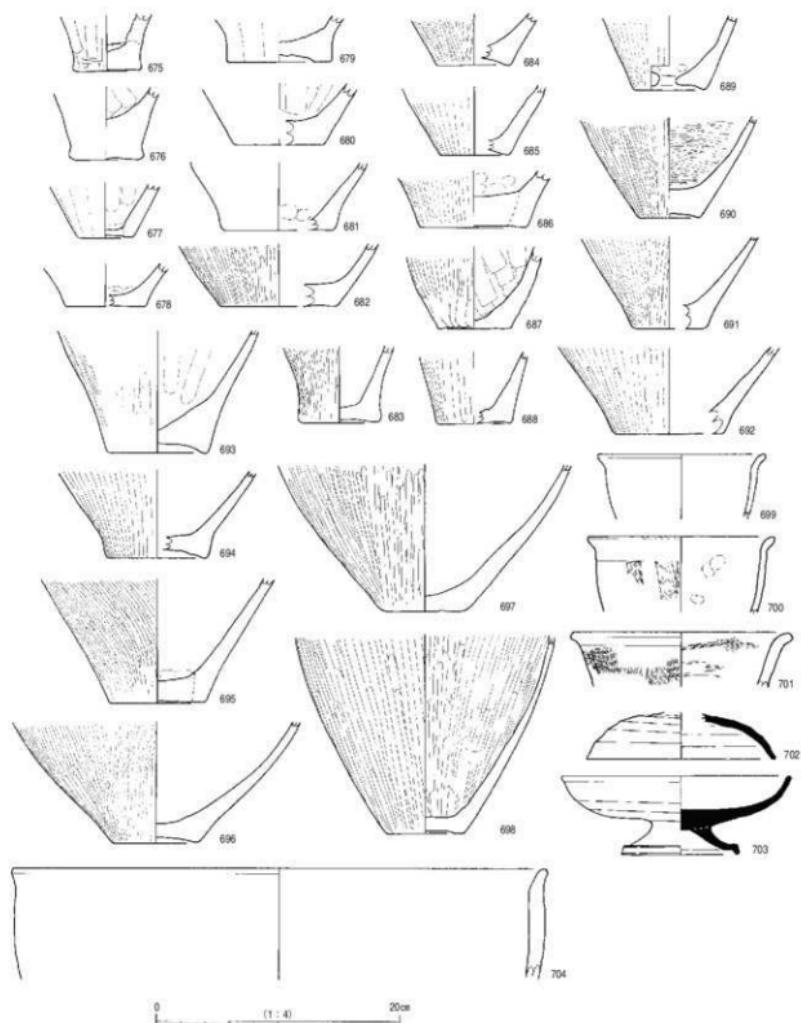


図28 出土土器・土製品実測図22 (1/4)

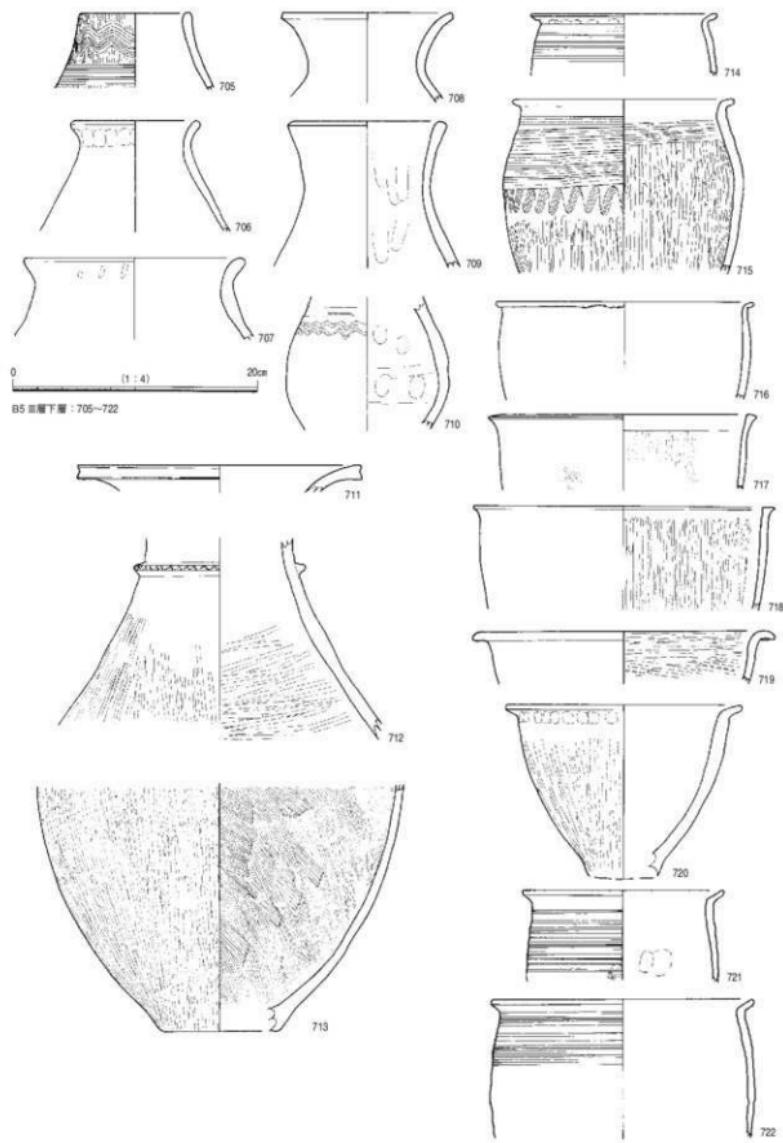
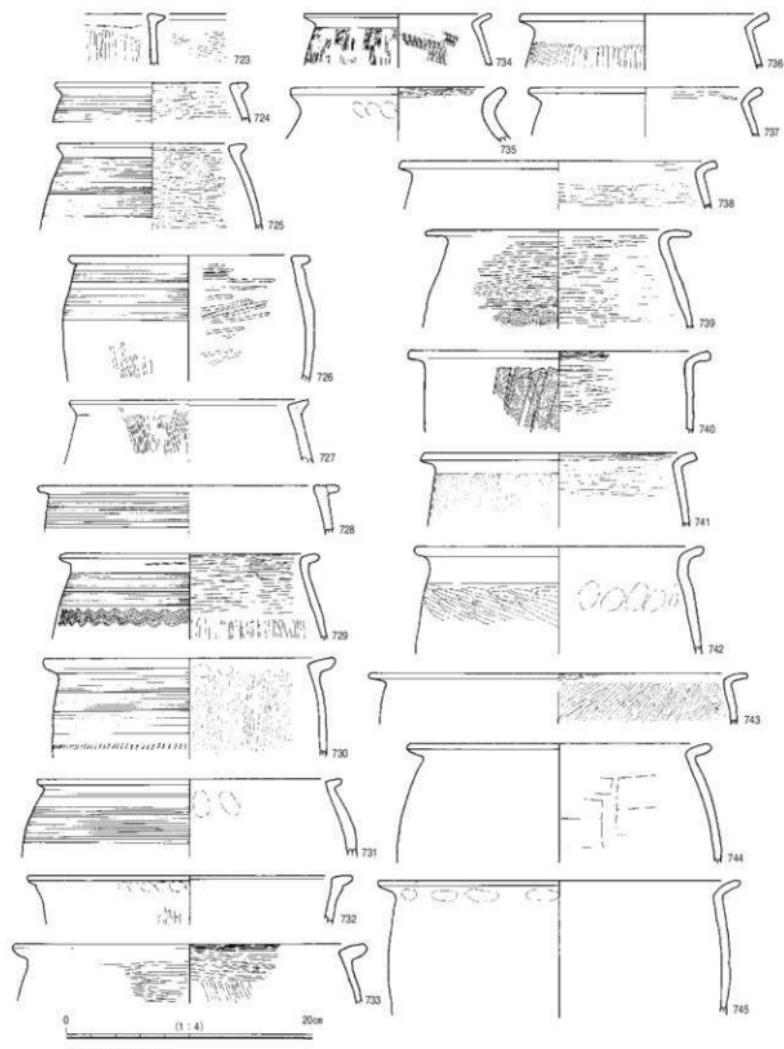


図29 出土土器・土製品実測図23 (1/4)



B5 Ⅲ層下層：723～745

図30 出土土器・土製品実測図24 (1/4)

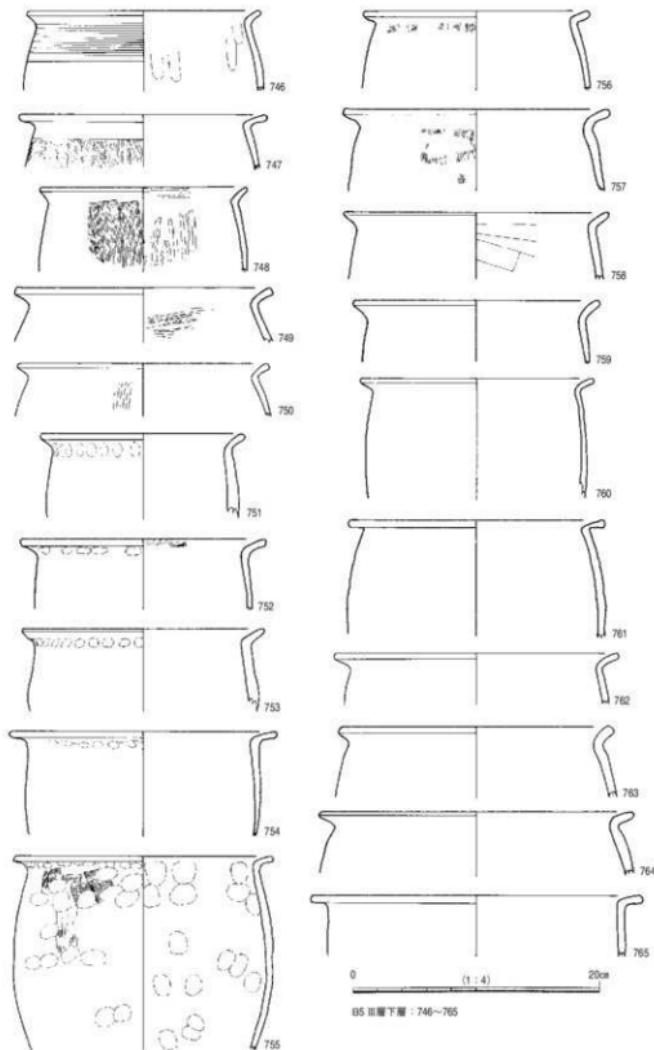


図31 出土土器・土製品実測図25 (1/4)

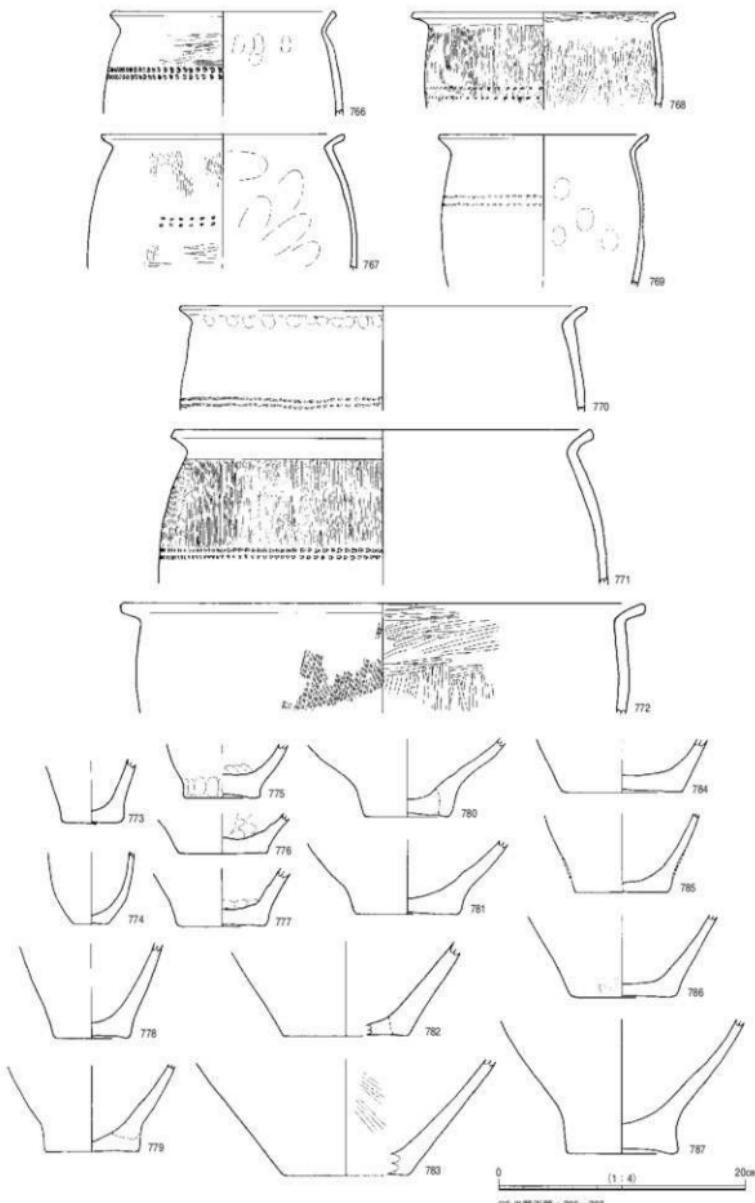


图32 出土土器、土製品実測図26 (1/4)

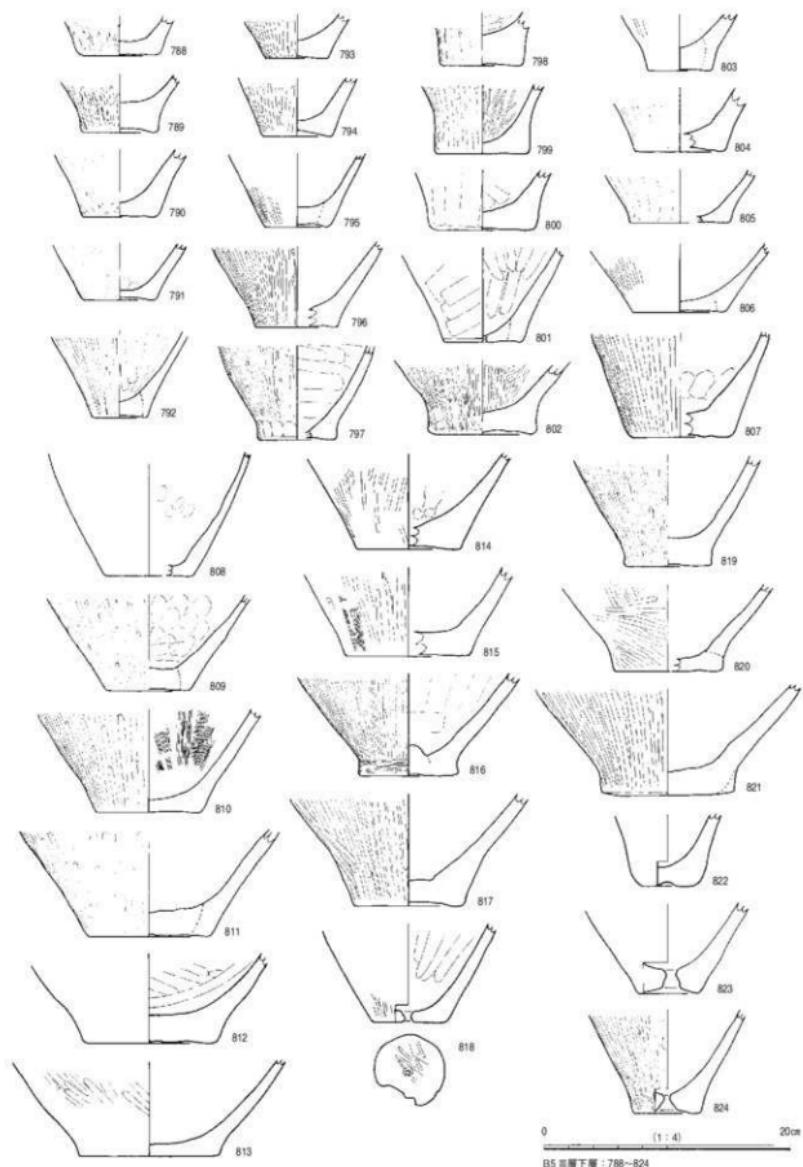


図33 出土土器・土製品実測図27 (1/4)

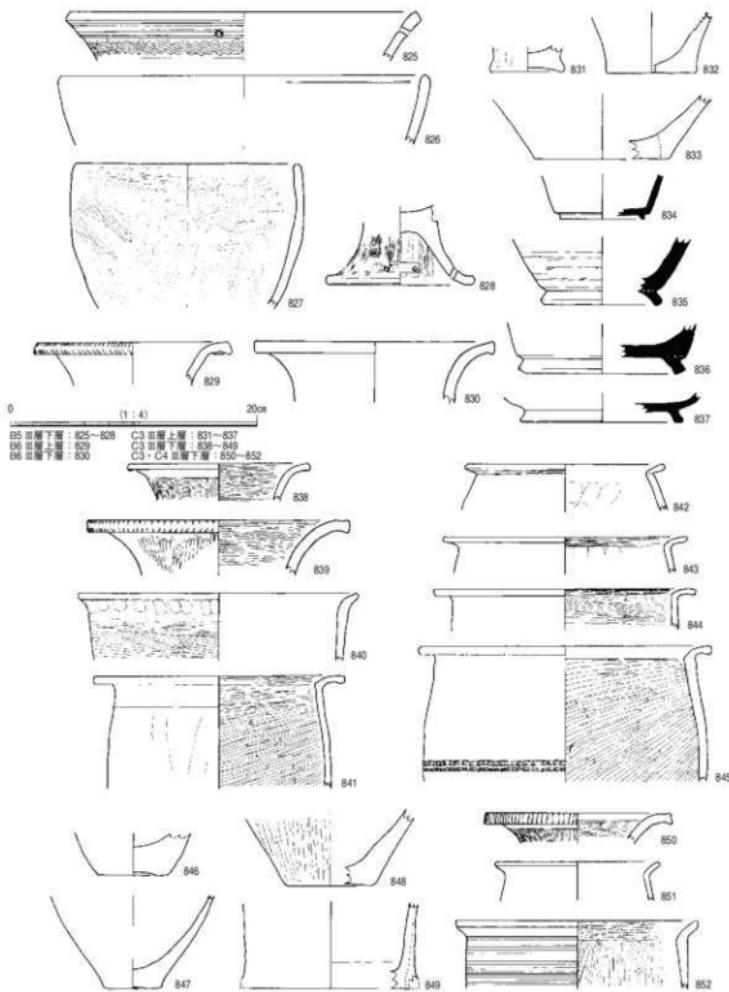


図34 出土土器・土製品実測図28 (1/4)

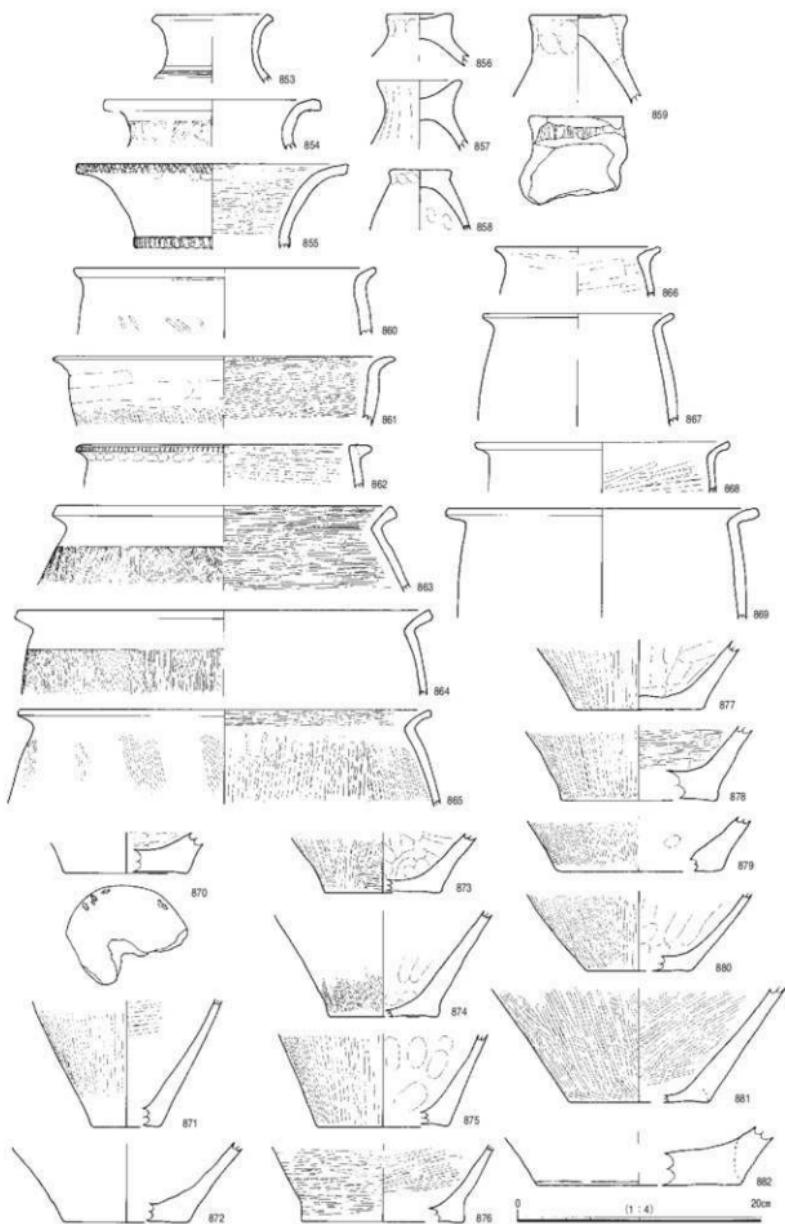
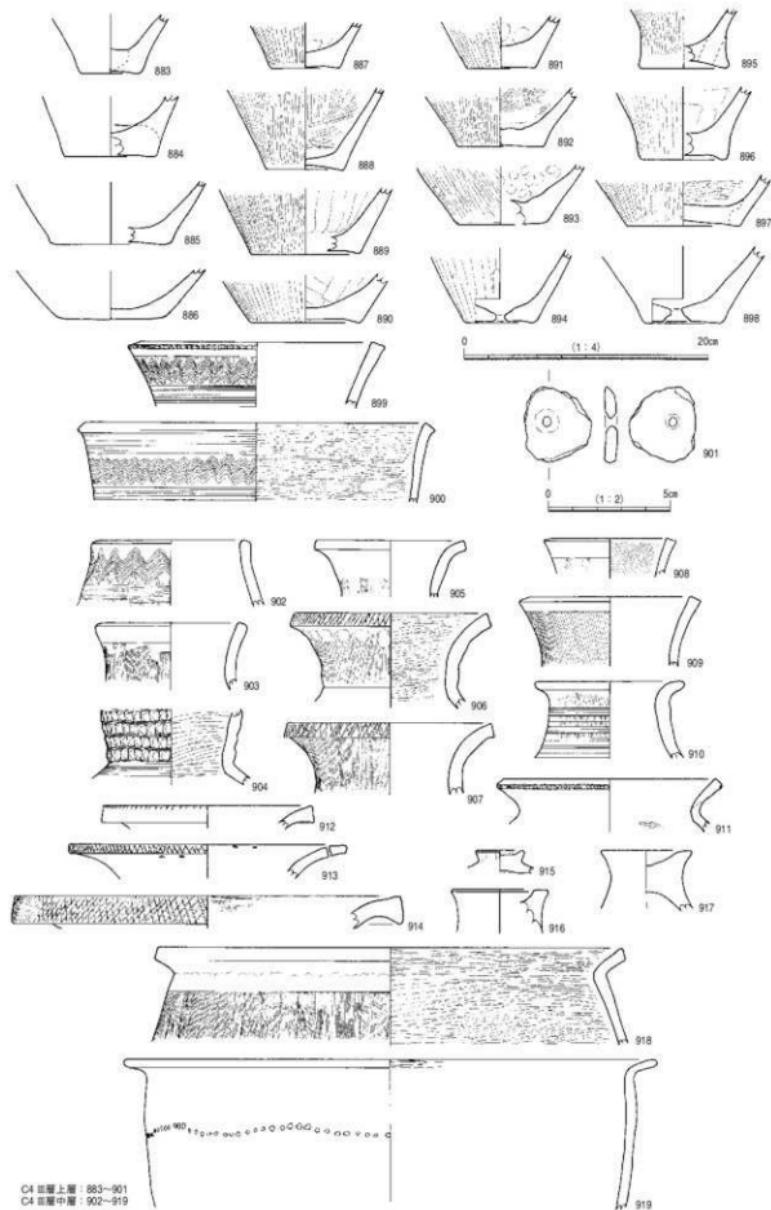


图35 出土土器・土製品実測図29 (1/4)



C4 Ⅲ層上層：883~901

C4 Ⅲ層中層：902~919

図36 出土土器・土製品実測図30 (1/2 + 1/4)

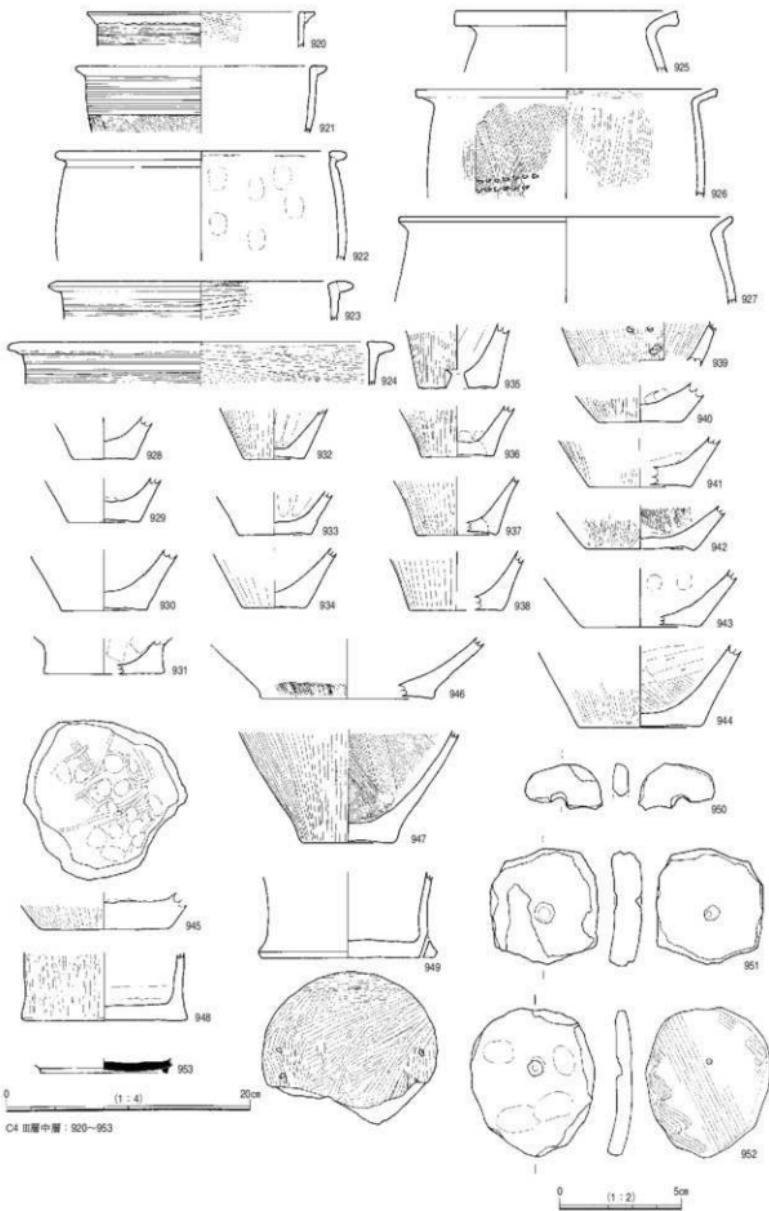


図37 出土土器・土製品実測図31 (1/2 + 1/4)



图38 出土土器・土製品実測図32 (1/4)

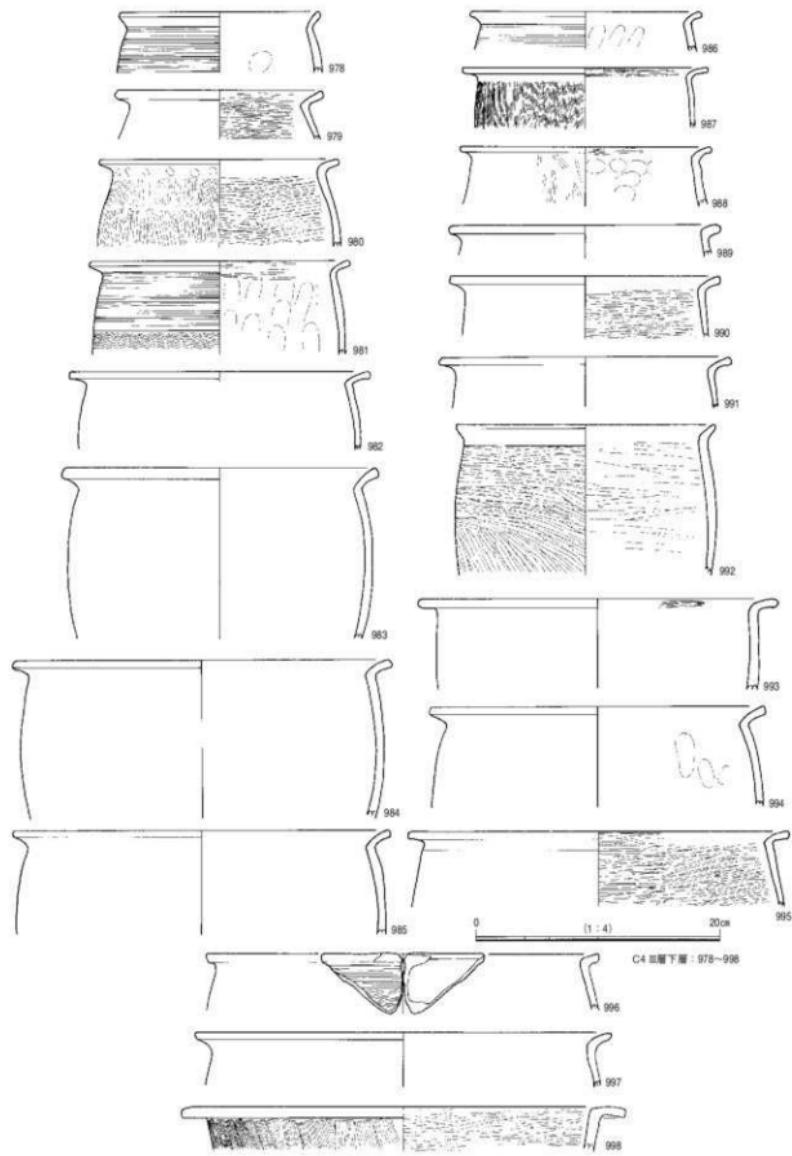
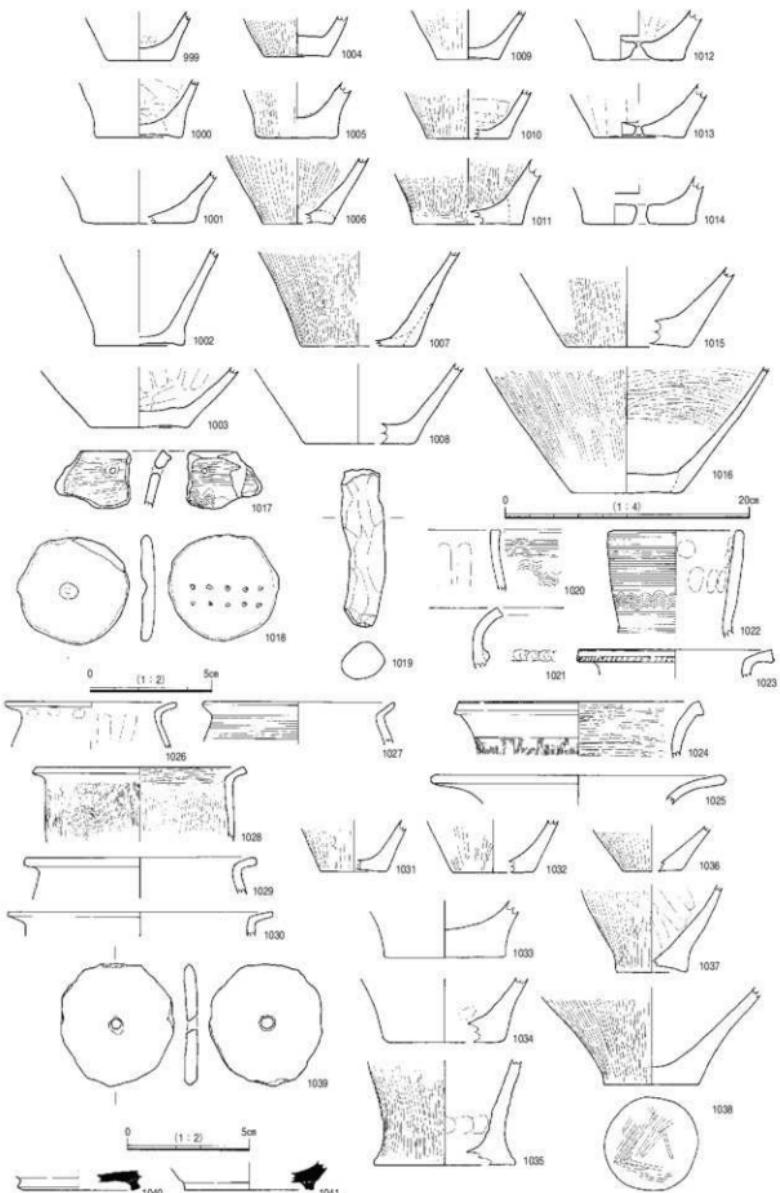
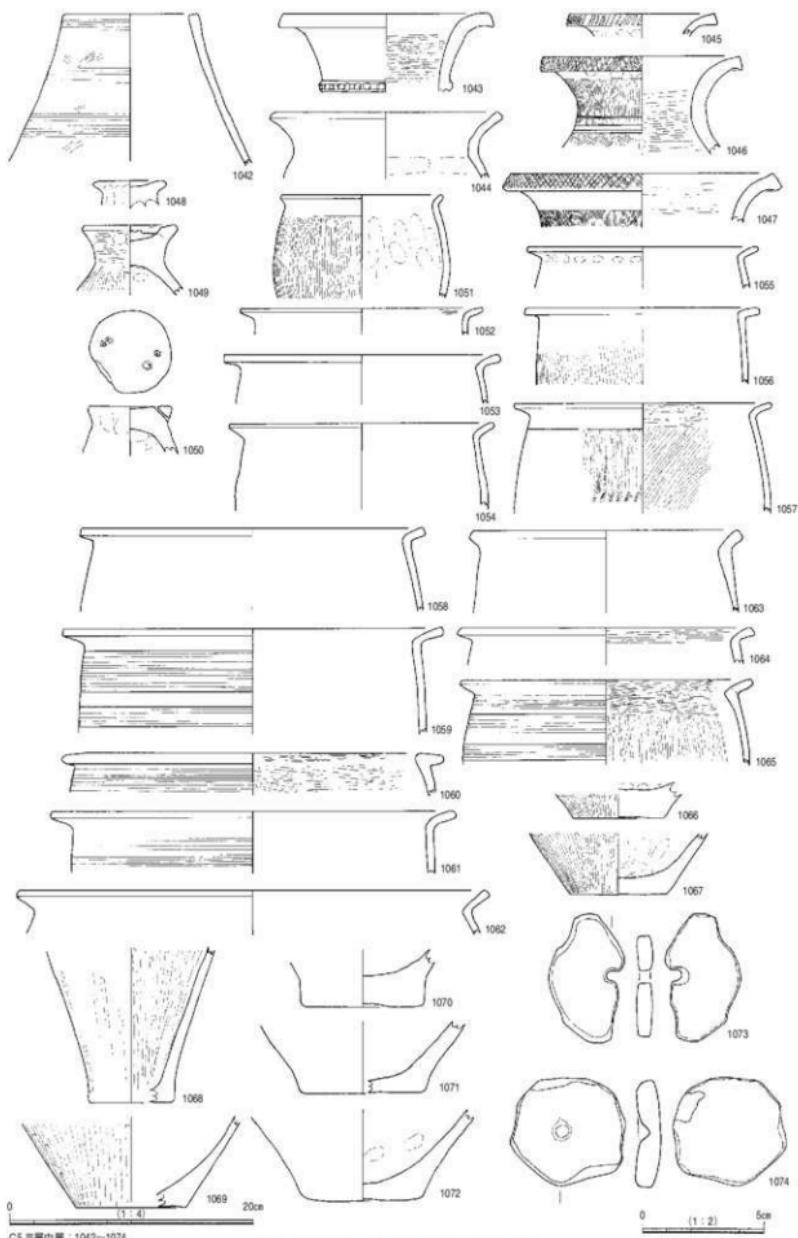


图39 出土土器・土製品実測図33 (1/4)



C4 三層下層：999～1019
C5 三層上層：1020～1041

図40 出土土器・土製品実測図34 (1/2 + 1/4)



C5 Ⅲ層中層：1042～1074

図41 出土土器・土製品実測図35 (1/2 + 1/4)

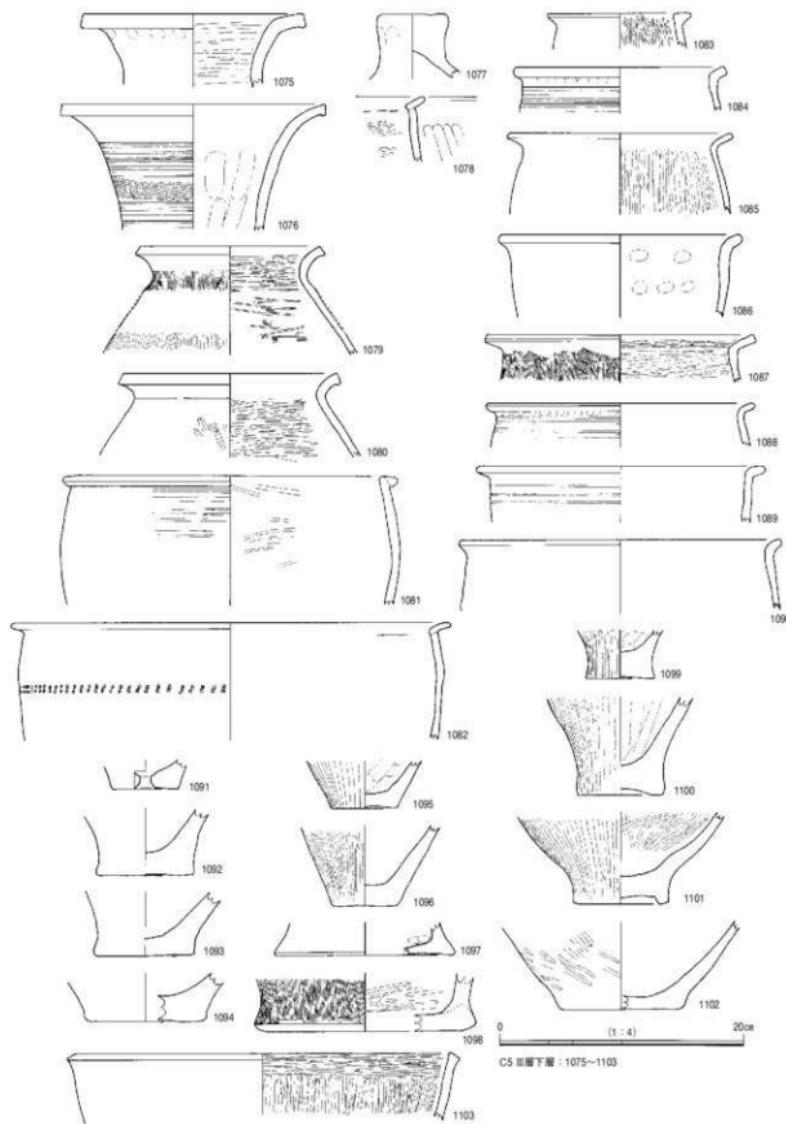
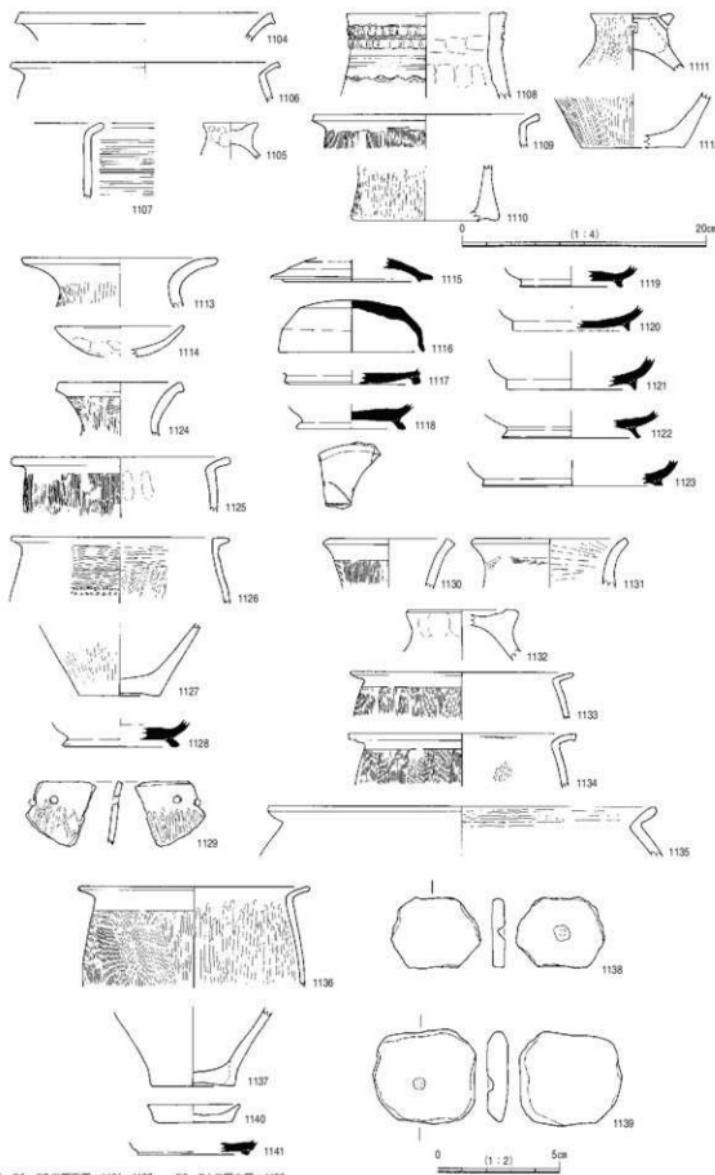
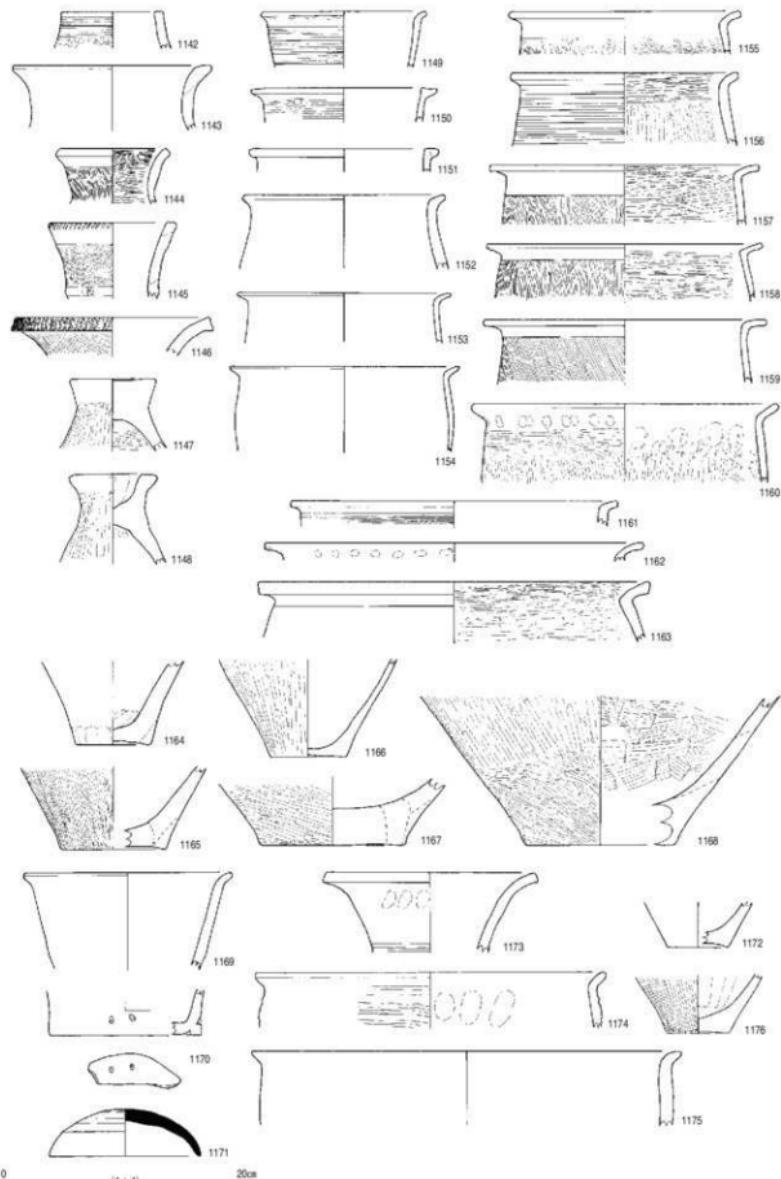


図42 出土土器・土製品実測図36 (1/4)



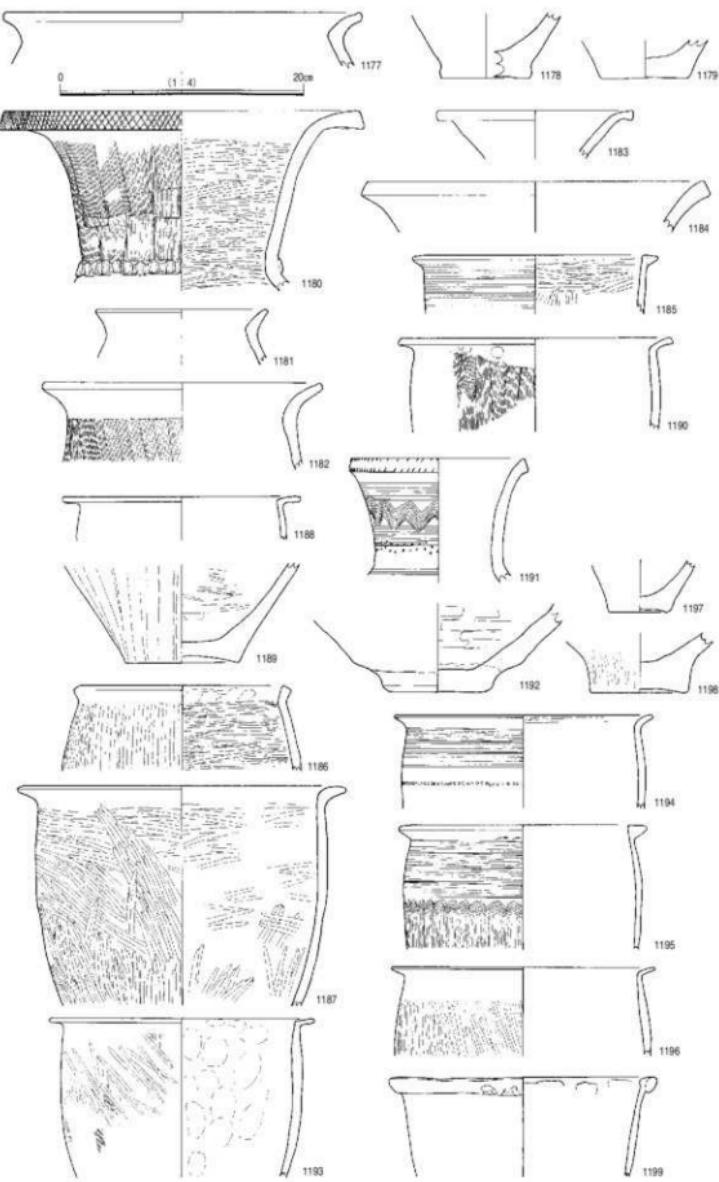
C5・C6・C7 III層下層：1104～1107
 C6 III層上層：1108～1110
 C6 III層中層：1111～1112
 C3 III層上層：1113～1123
 C3 III層中層：1124～1128
 D3・D4 III層中層：1129
 D3・D4 III層～下層：1130～1135
 D4 III層上層：1136～1141

図43 出土土器・土製品実測図37 (1/2 + 1/4)



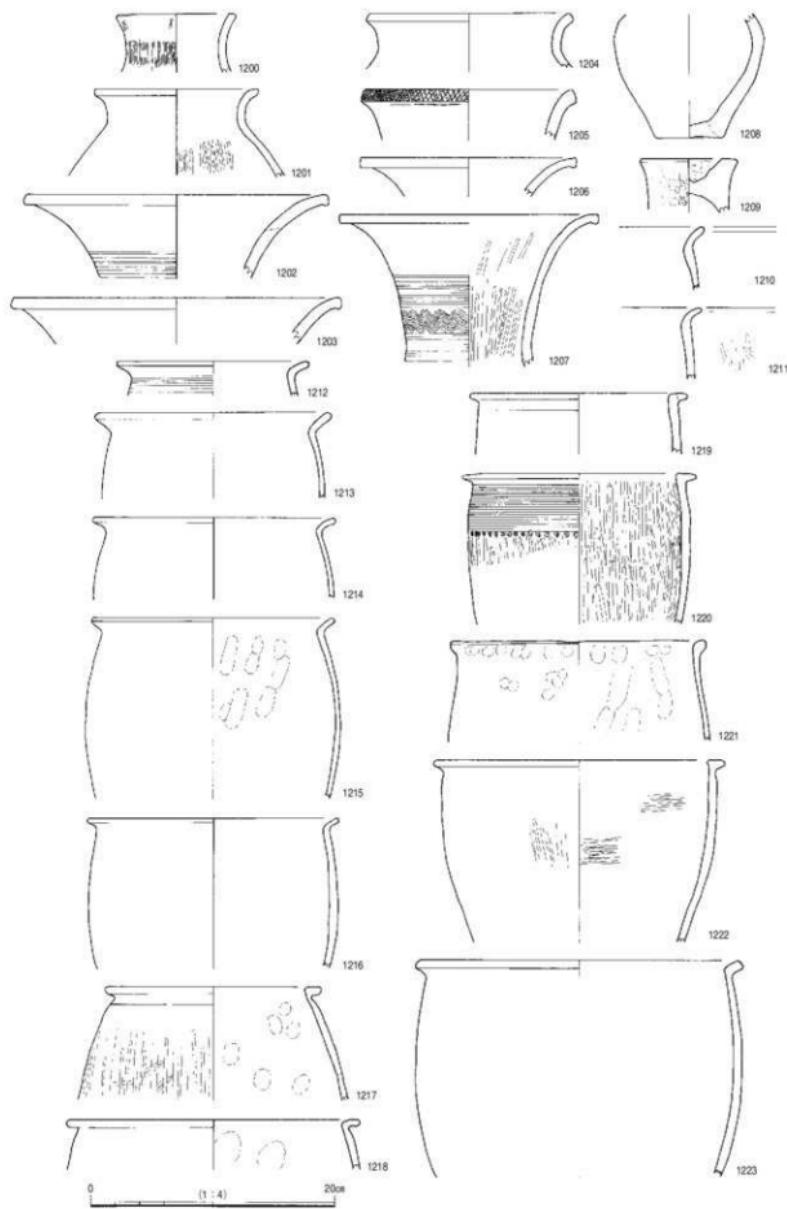
D4 三層下層：1142～1170 D5 三層中層：1175
D5 三層上層：1171 D5 三層下層：1172～1174+1176

图44 出土土器・土製品実測図38 (1/4)



D6 Ⅲ層上層：1177
 D7 Ⅲ層上一下層：1178~1179
 E3 Ⅲ層中層：1180~1185
 E4 Ⅲ層中層：1186~1187
 E5 Ⅲ層下層：1190~1192
 E3 Ⅲ層上層：1180~1182
 E4 Ⅲ層下層：1188~1189
 E5 Ⅲ層下層：1193~1198

图45 出土土器、土製品実測図39（1/4）



Ⅱ層出土未明：1200～1223

図46 出土土器・土製品実測図40（1/4）

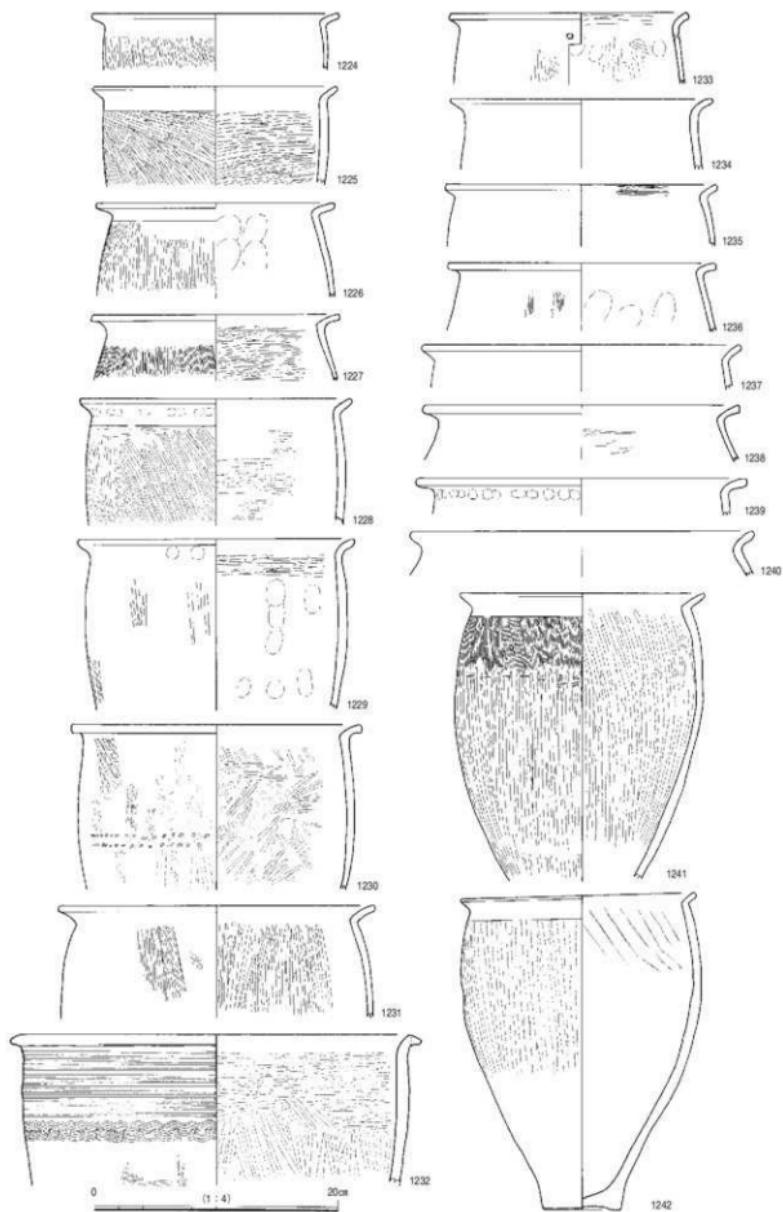


图47 出土土器、土製品実測図41 (1/4)

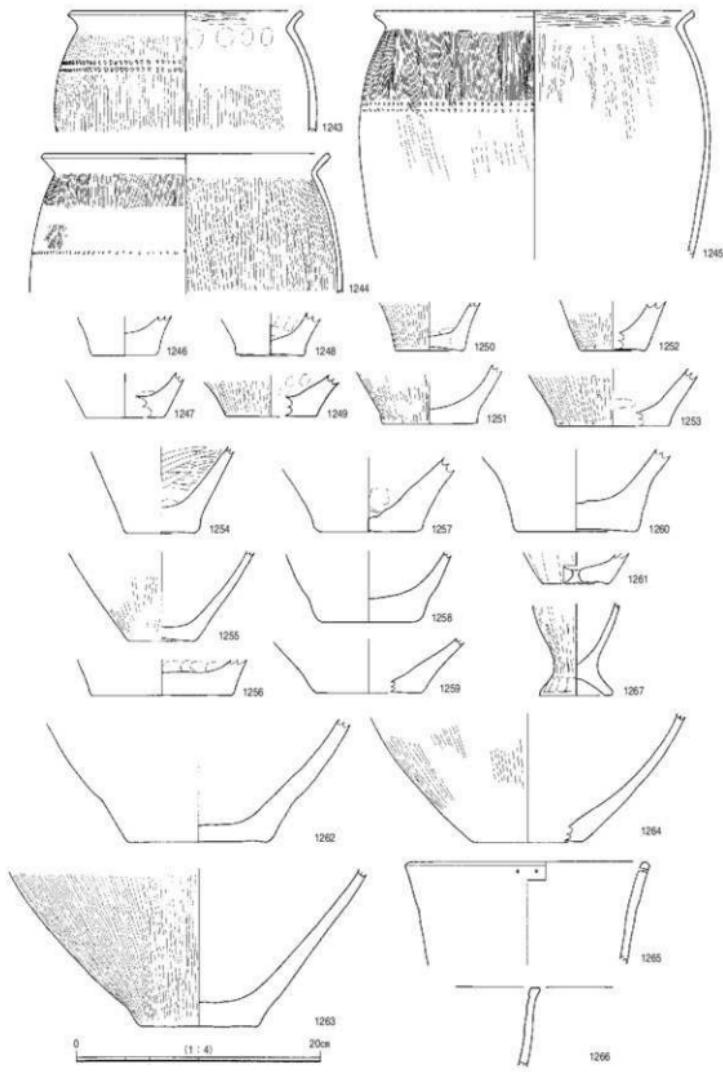


図48 出土土器・土製品実測図42 (1/4)

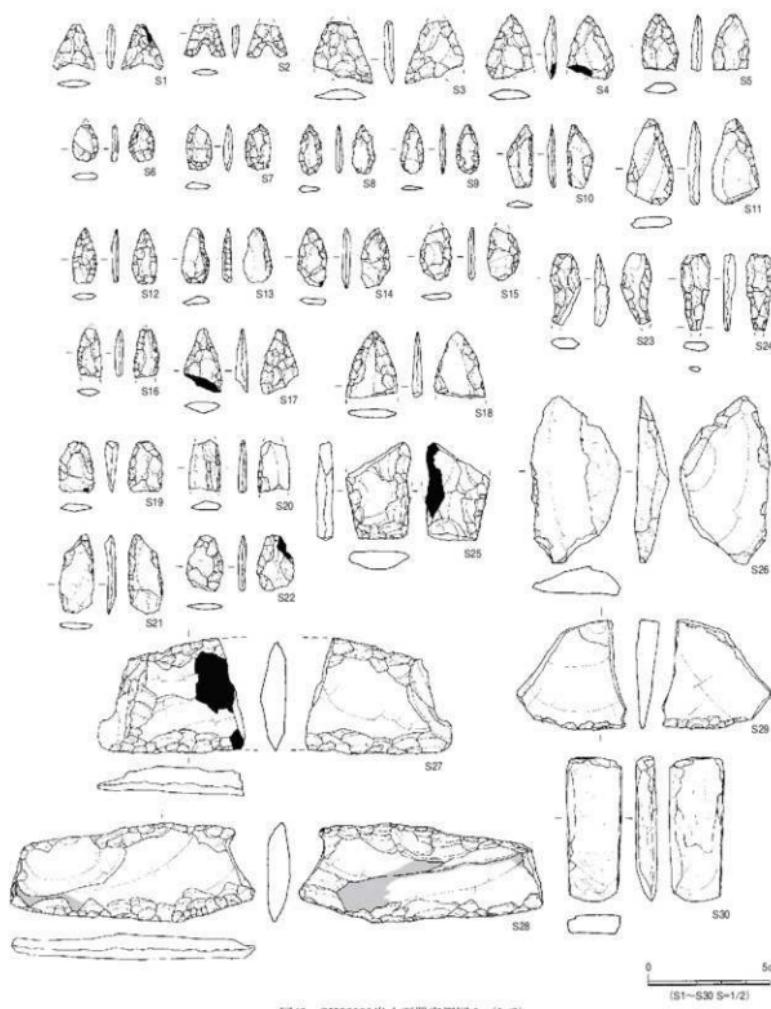


图49 SH32001出土石器实测图1 (1/2)

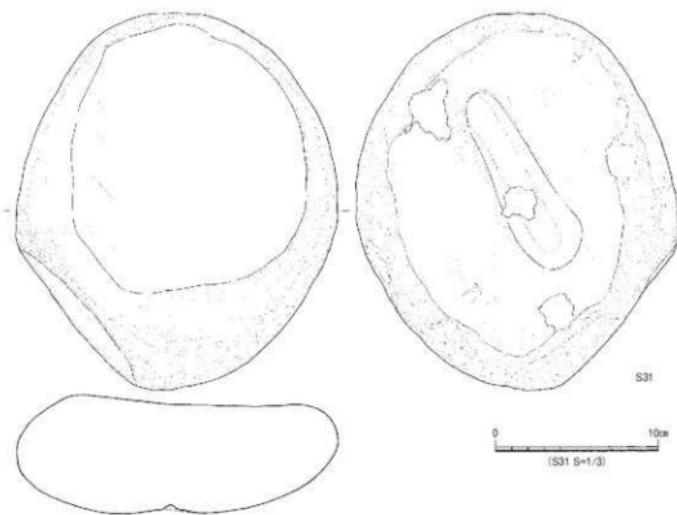


图50 SH32001出土石器实测图 2 (1/3)

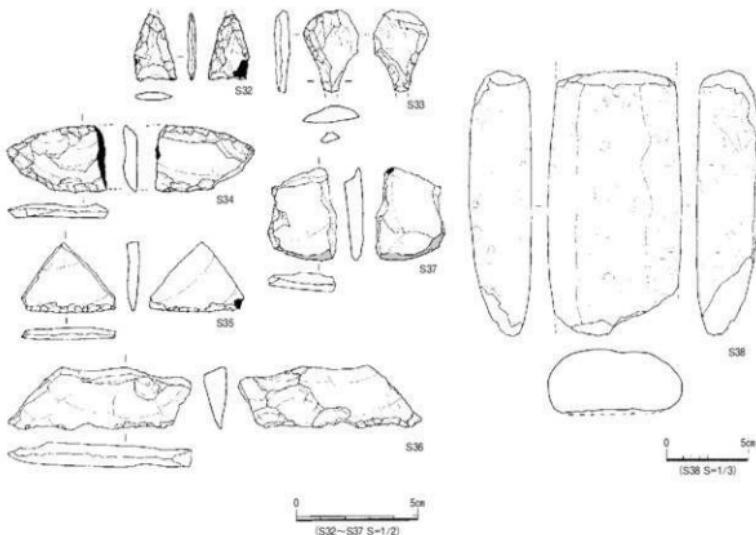


图51 SH32004出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

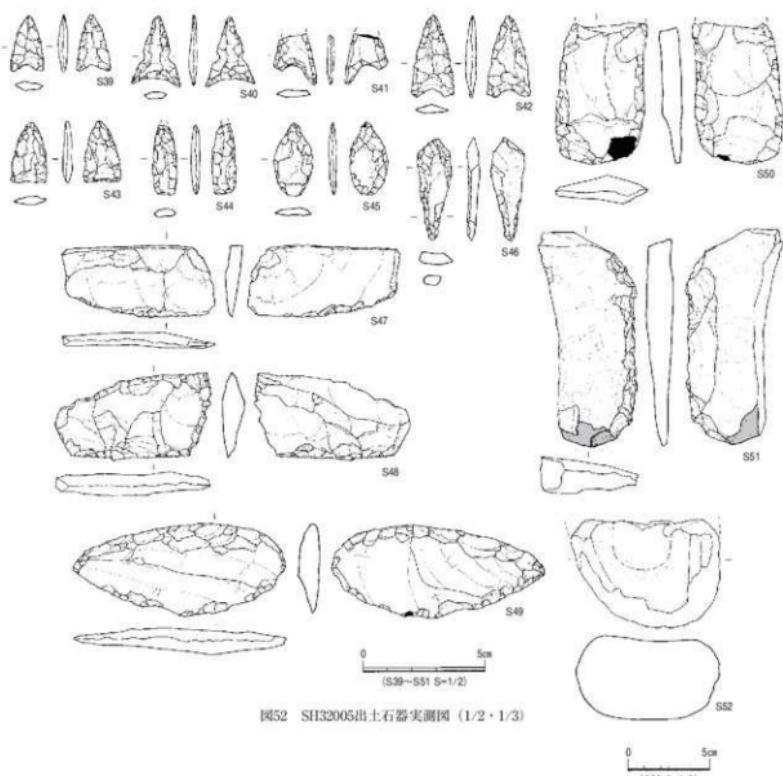


图52 SH32005出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

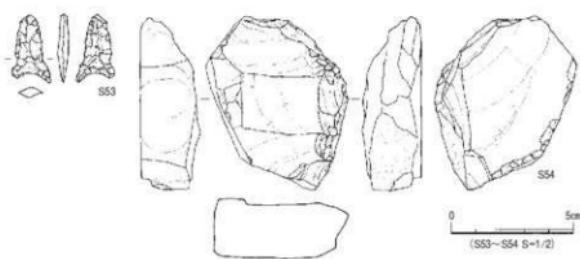


图53 SH32002出土石器实测图 (1/2)

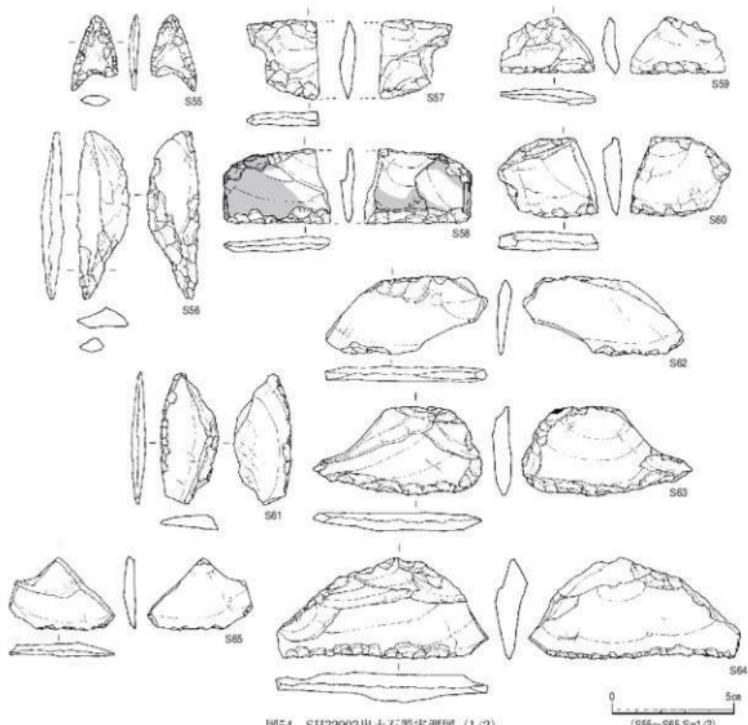


图54 SH32003出土石器实测图 (1/2)

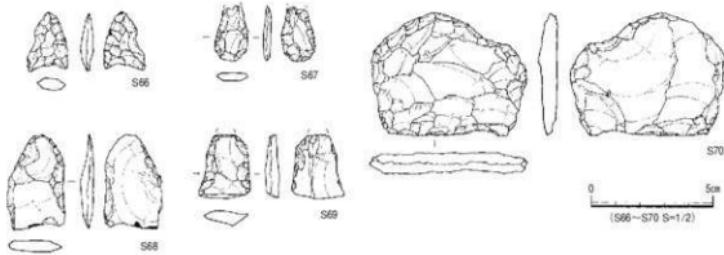


图55 SP出土石器实测图 (1/2)

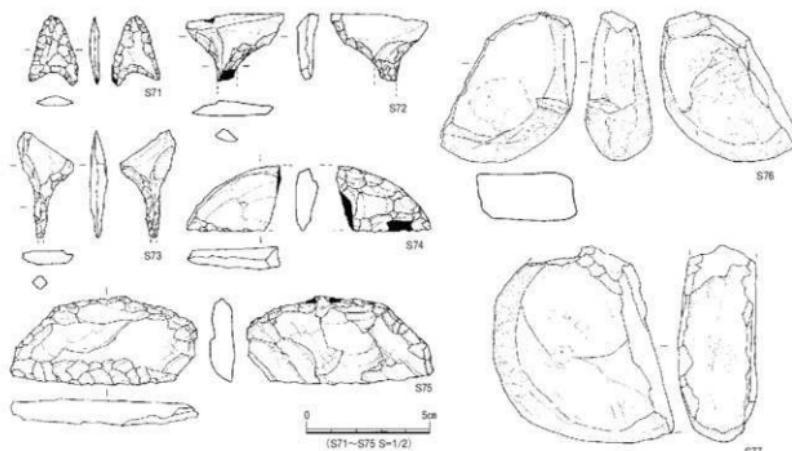


图56 SX32214出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

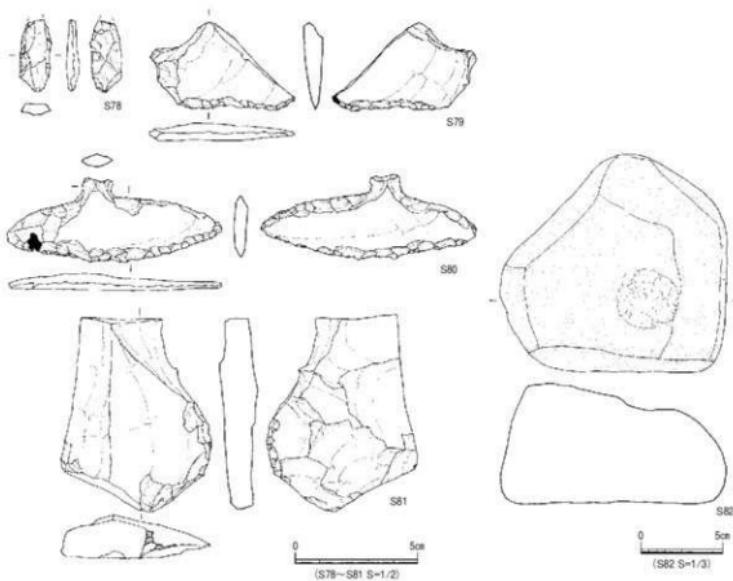


图57 SX32146出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

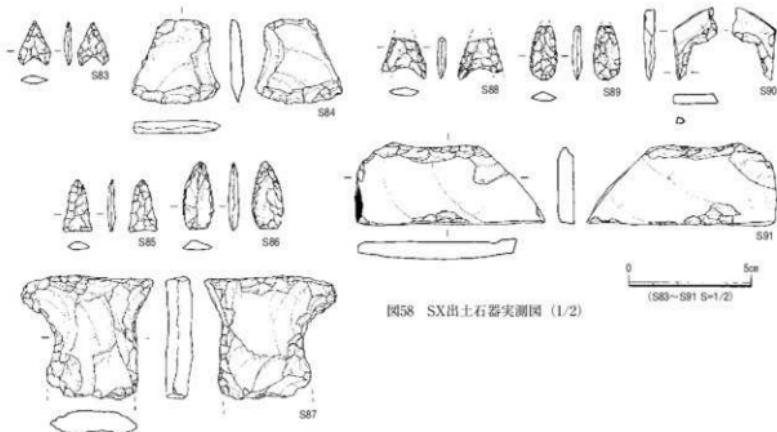


图58 SX出土石器实测图 (1/2)

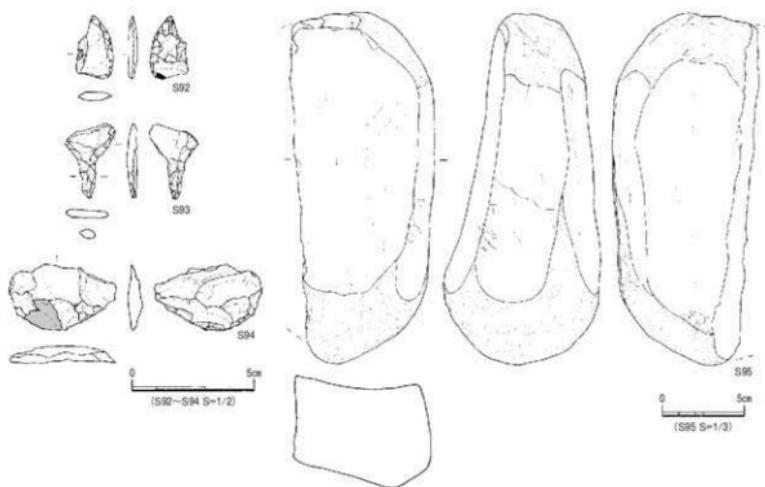


图59 SK32019出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

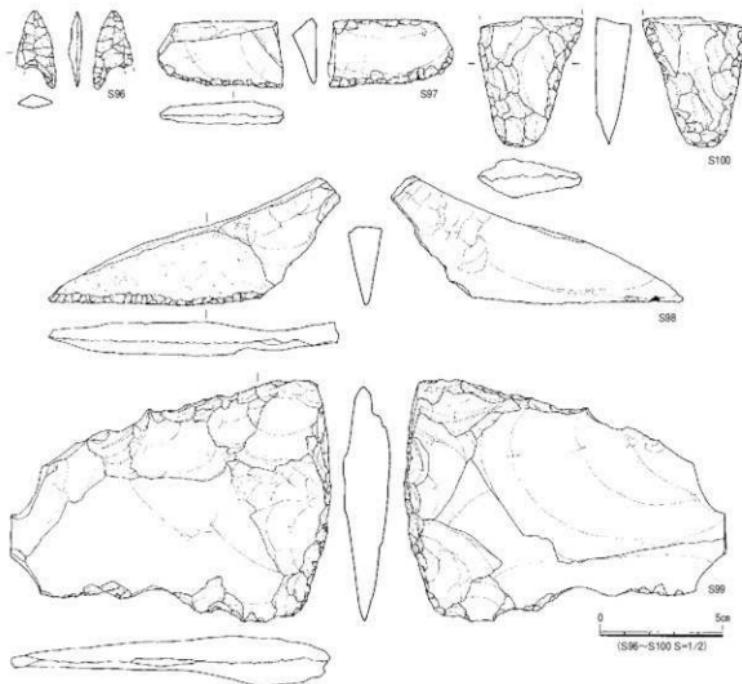


图60 SK32232出土石器实测图（1/2）

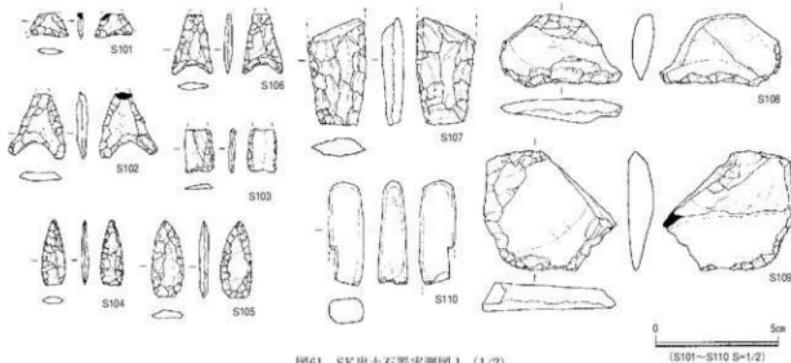


图61 SK出土石器实测图 1 (1/2)

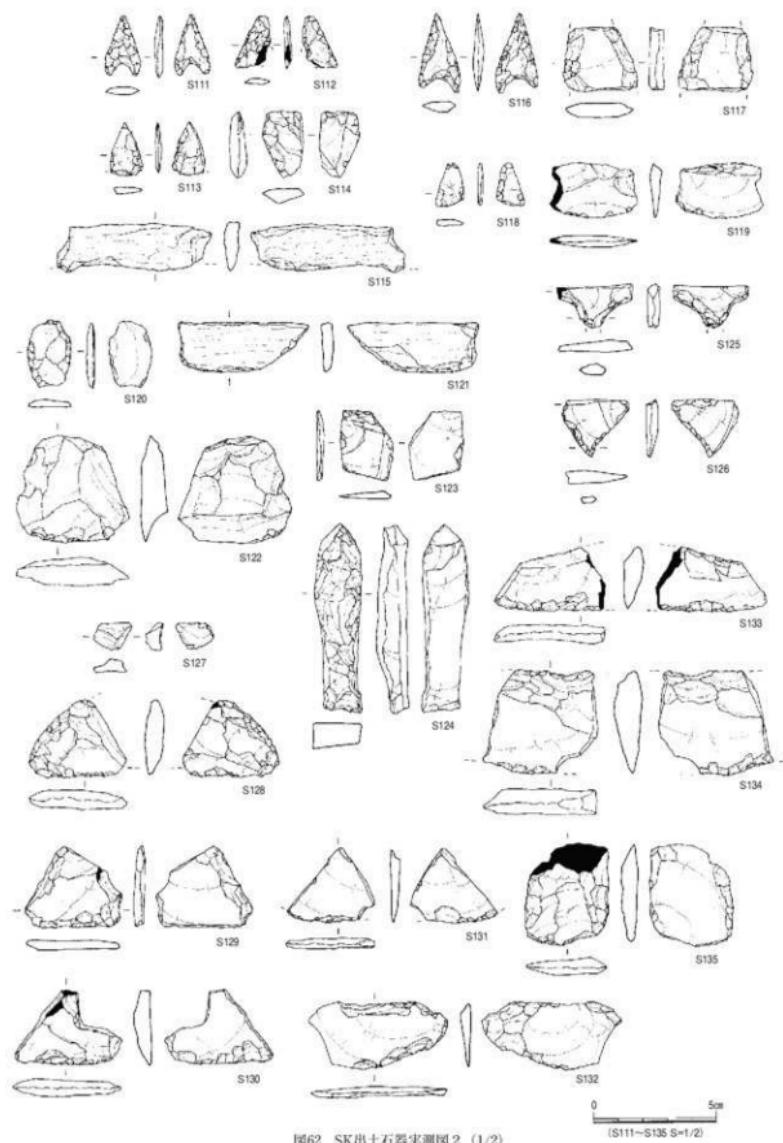


图62 SK出土石器实测图2 (1/2)

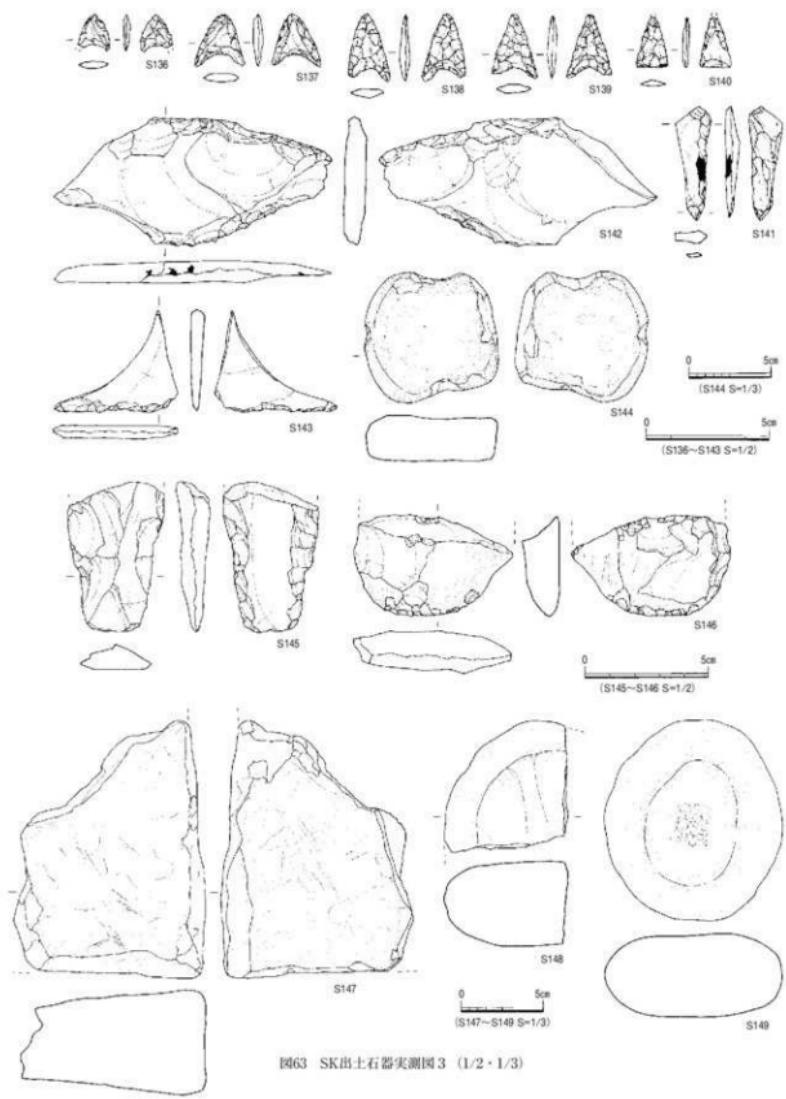


图63 SK出土石器实测图3 (1/2 × 1/3)

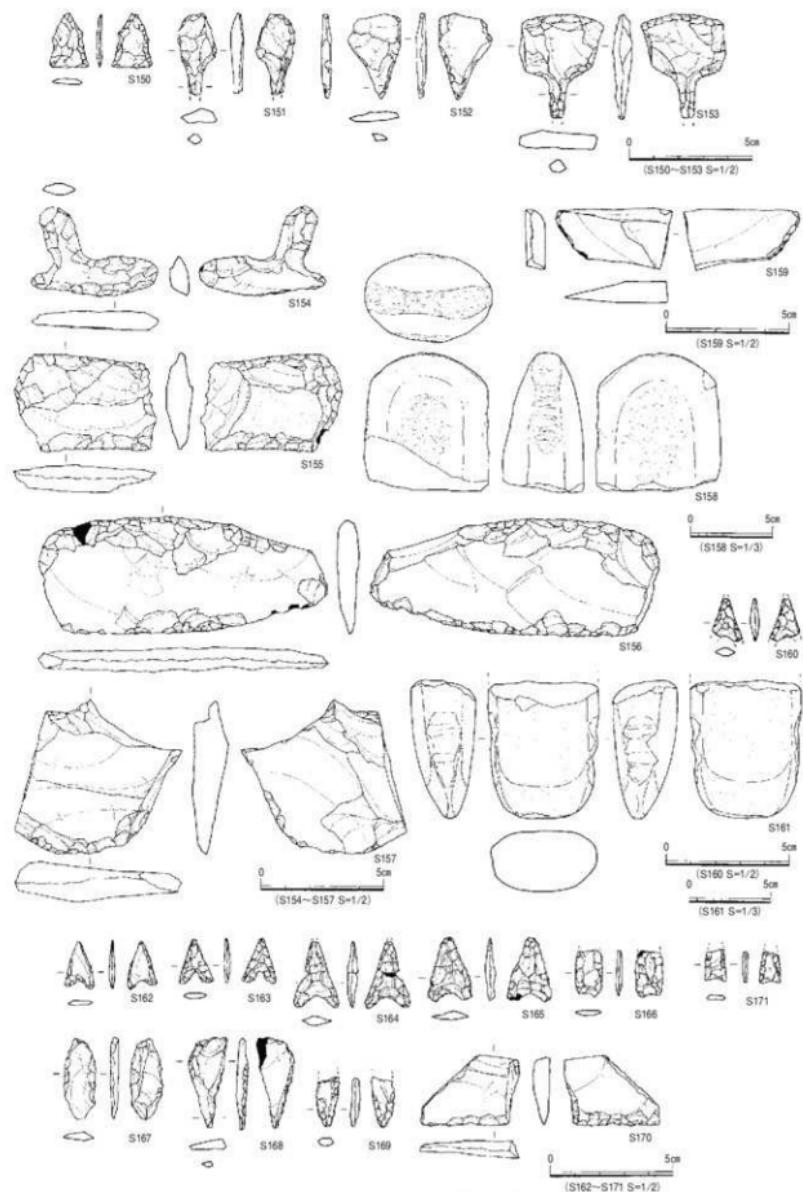


図64 SD出土石器実測図 (1/2・1/3)

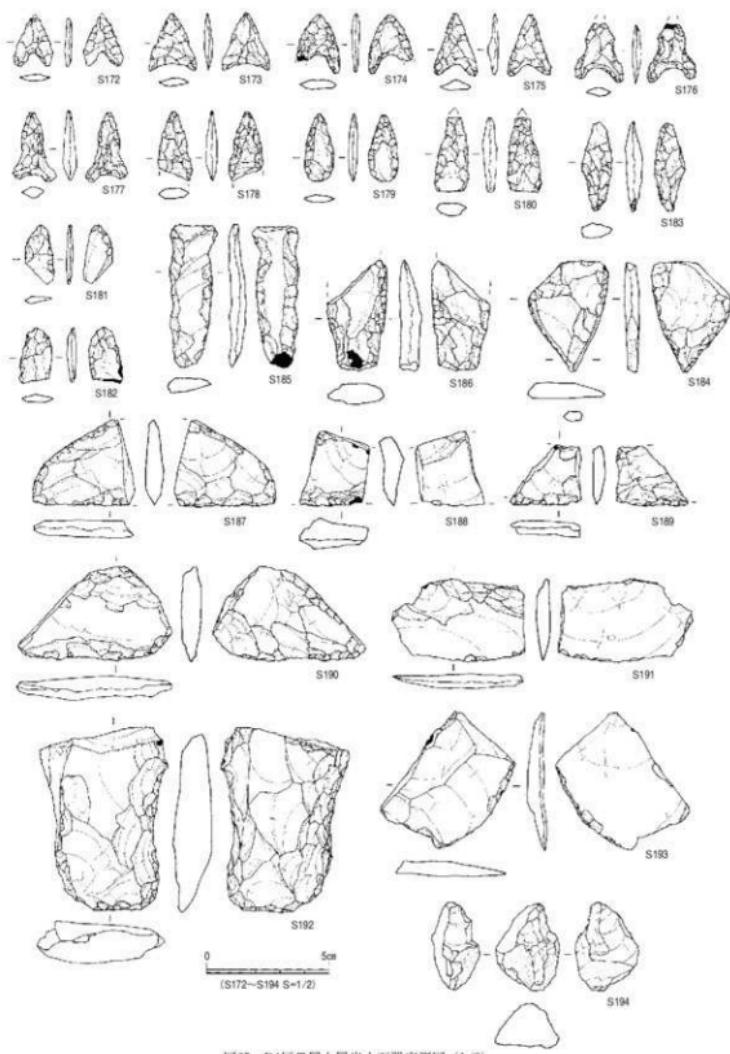


图65 B4区III层上层出土石器实测图 (1/2)

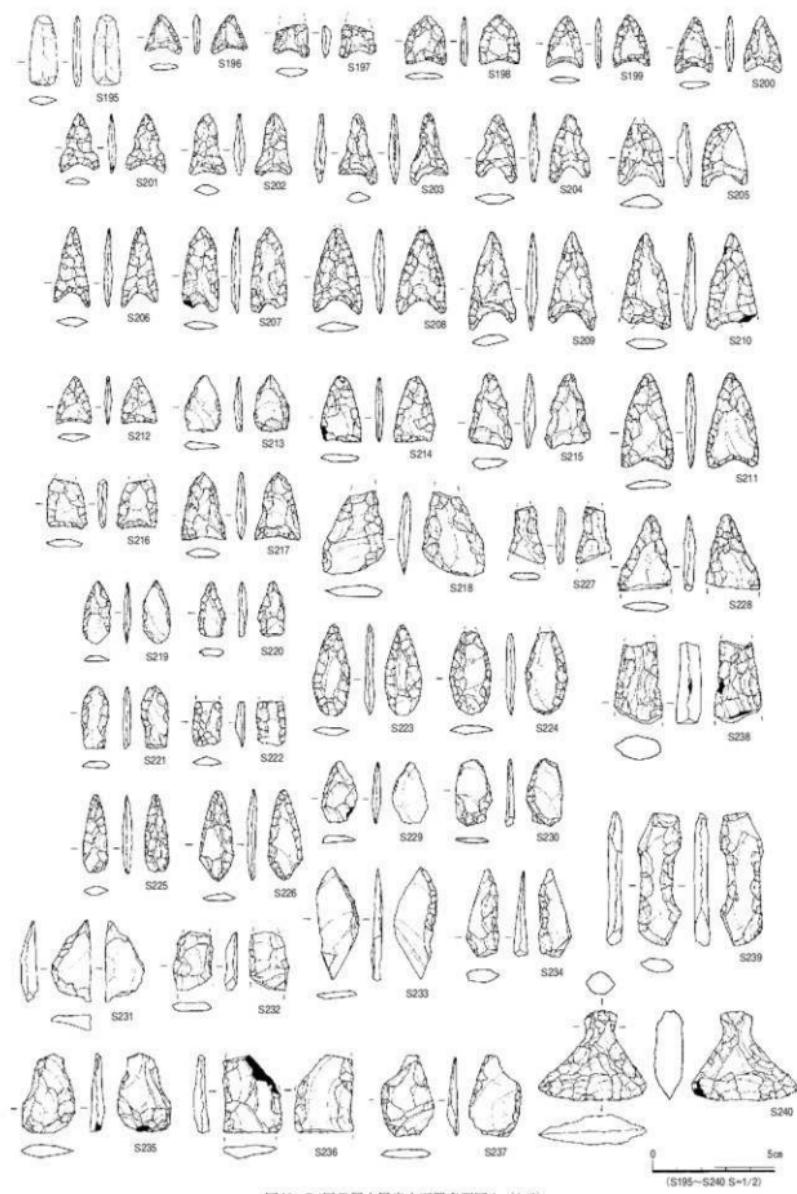


图66 B4区Ⅲ层中层出土石器实测图1 (1/2)

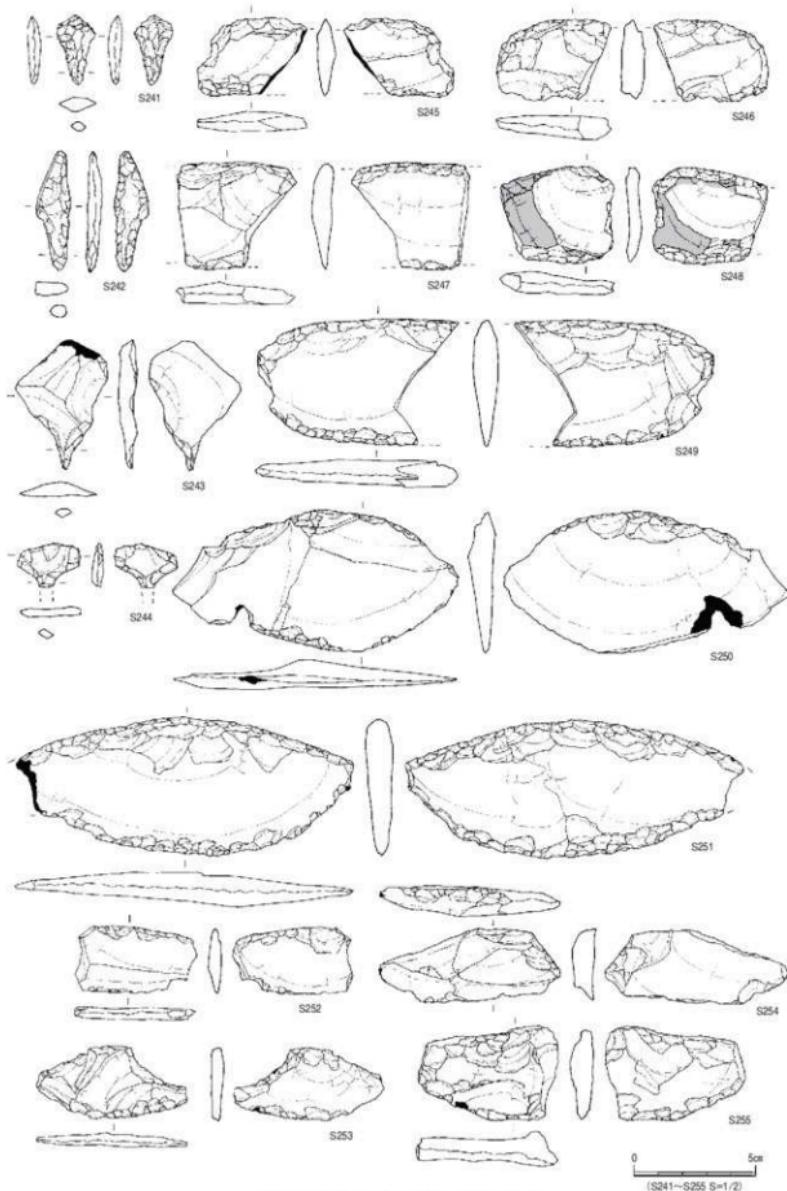


图67 B4区Ⅲ层中层出土石器实测图2 (1/2)

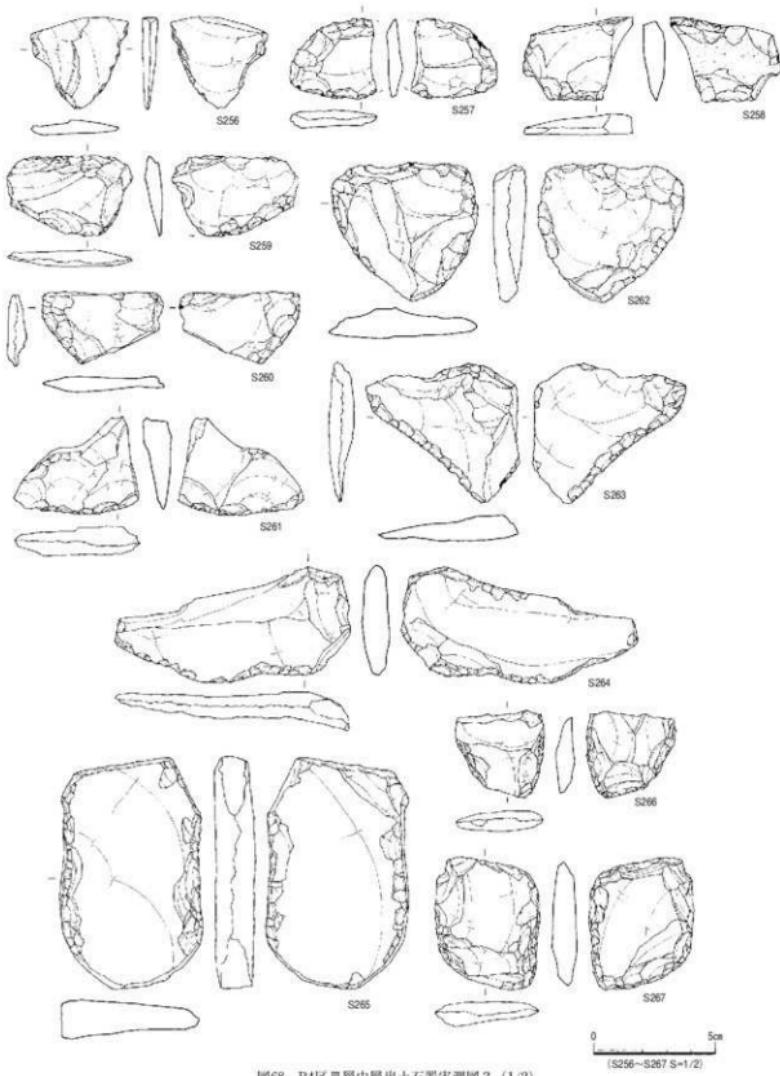


图68 B4区Ⅲ层中层出土石器实测图3 (1/2)



图69 B4区Ⅲ层中层出土石器实测图4 (1/3)

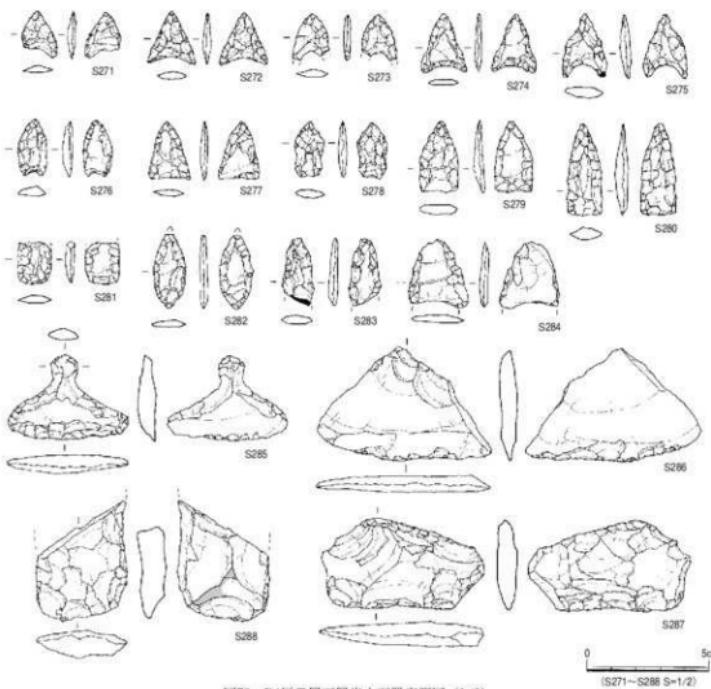


图70 B4区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

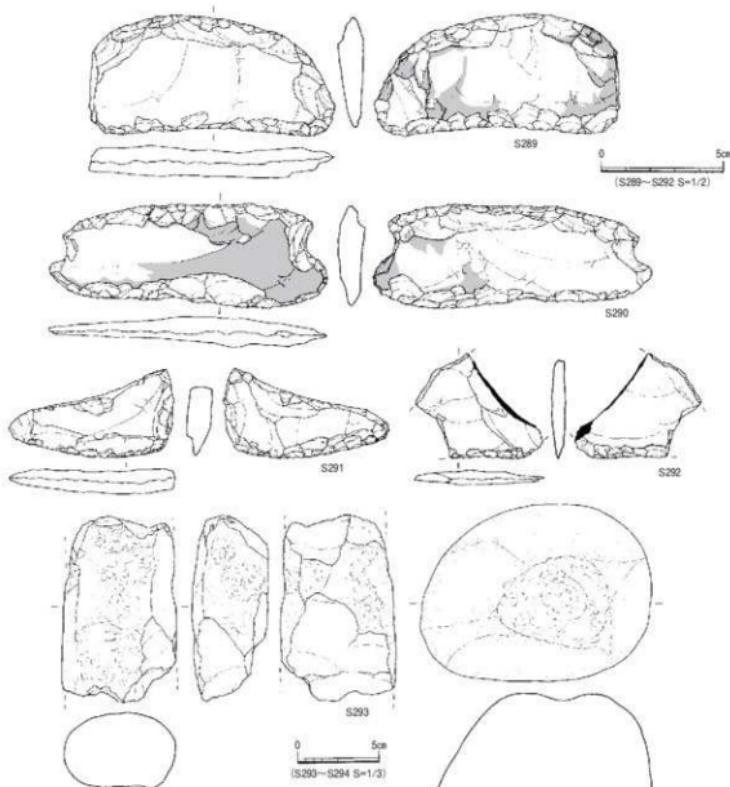


图71 BS区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

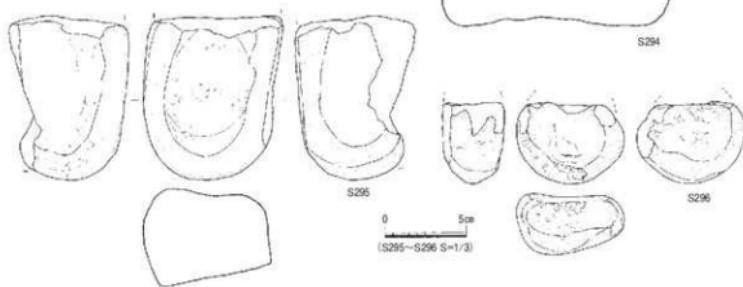


图72 BS区Ⅲ层下层出土石器实测图 1 (1/3)

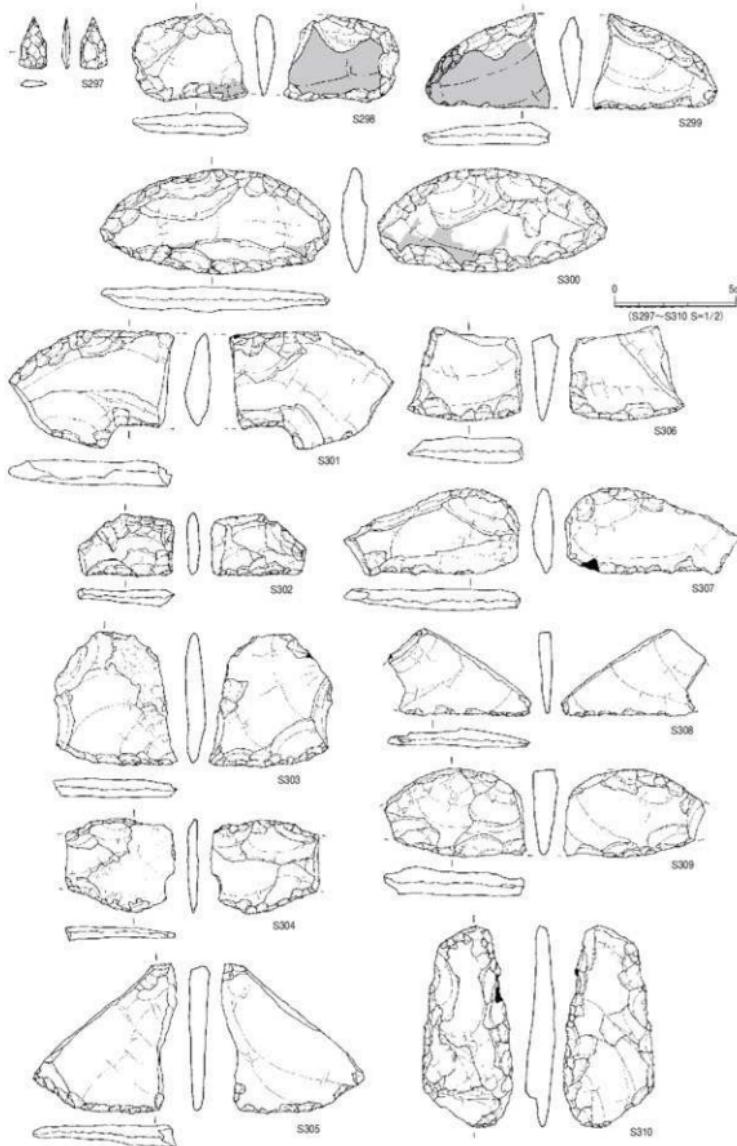


图73 B5区Ⅲ层下层出土石器尖端图2 (1/2)

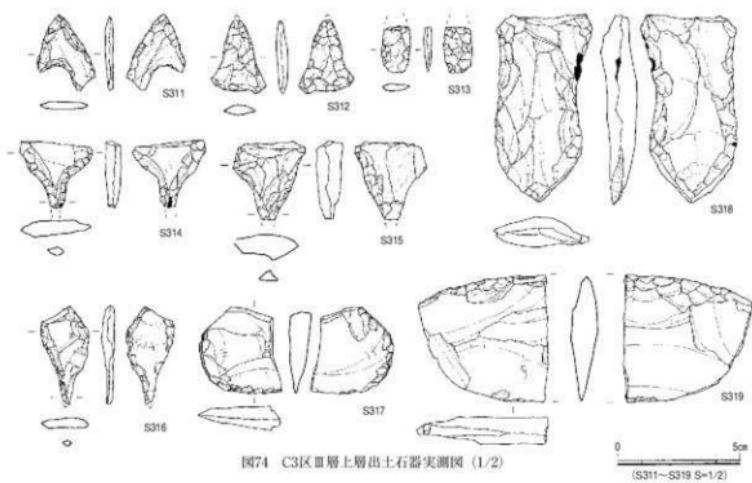
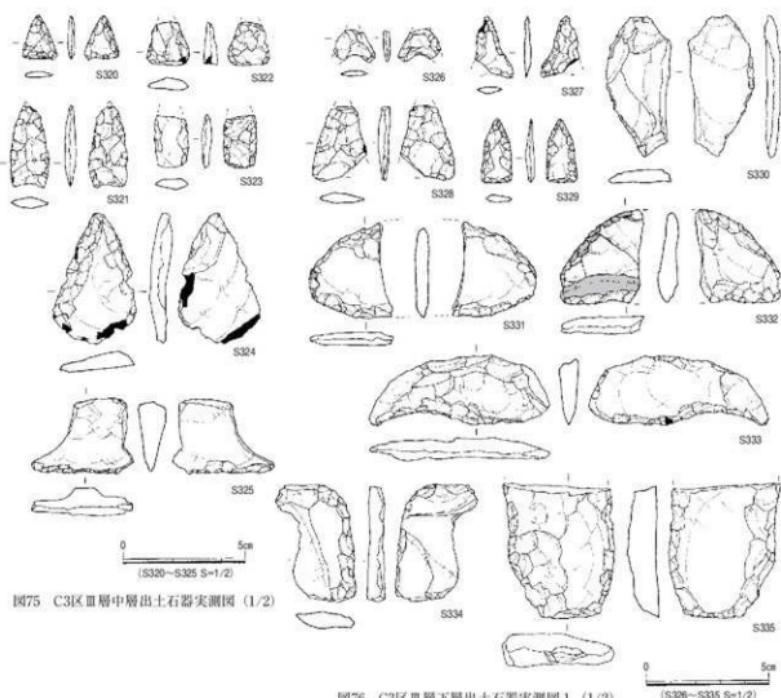


图74 C3K III层上层出土石器实测图 (1/2)

(S311~S319 S=1/2)



(S320~S325 S=1/2)

图75 C3K III层中层出土石器实测图 (1/2)

图76 C3K III层下层出土石器实测图 1 (1/2)

(S326~S335 S=1/2)

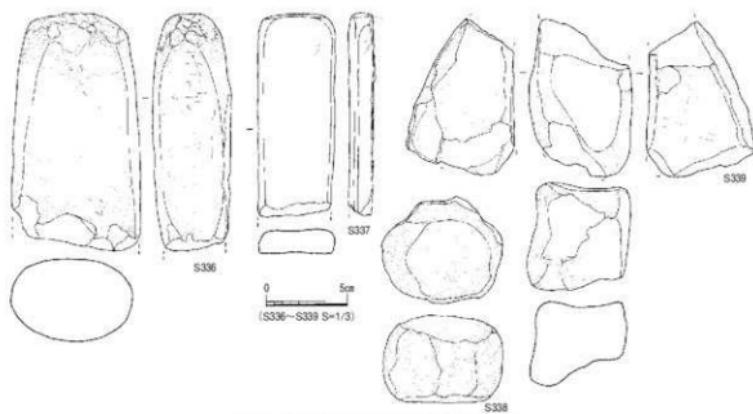


图77 C3区Ⅲ层下层出土石器实测图 2 (1/3)

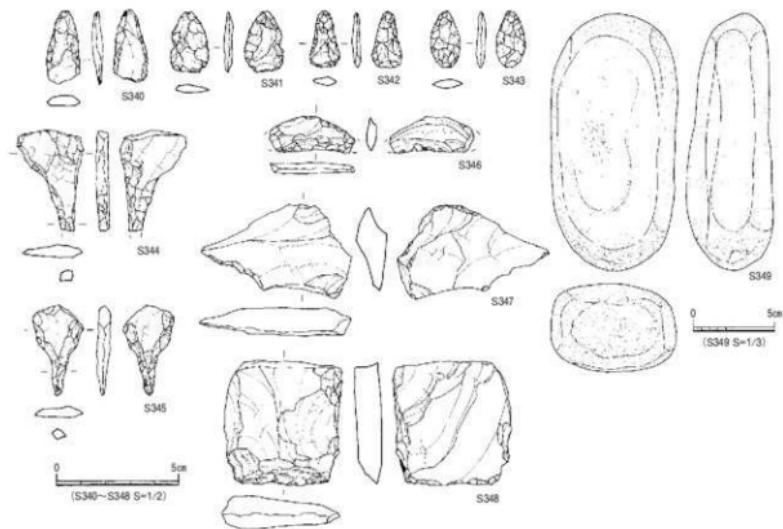


图78 C4区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

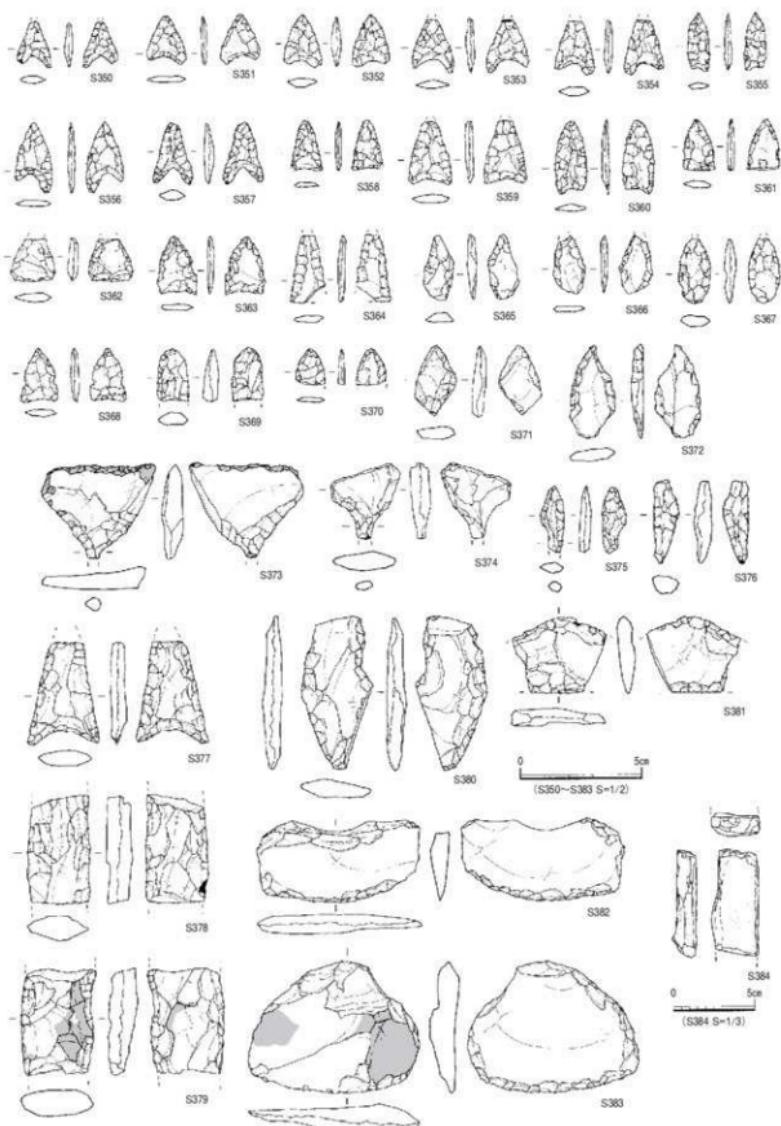


图79 C4区Ⅲ层中层出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

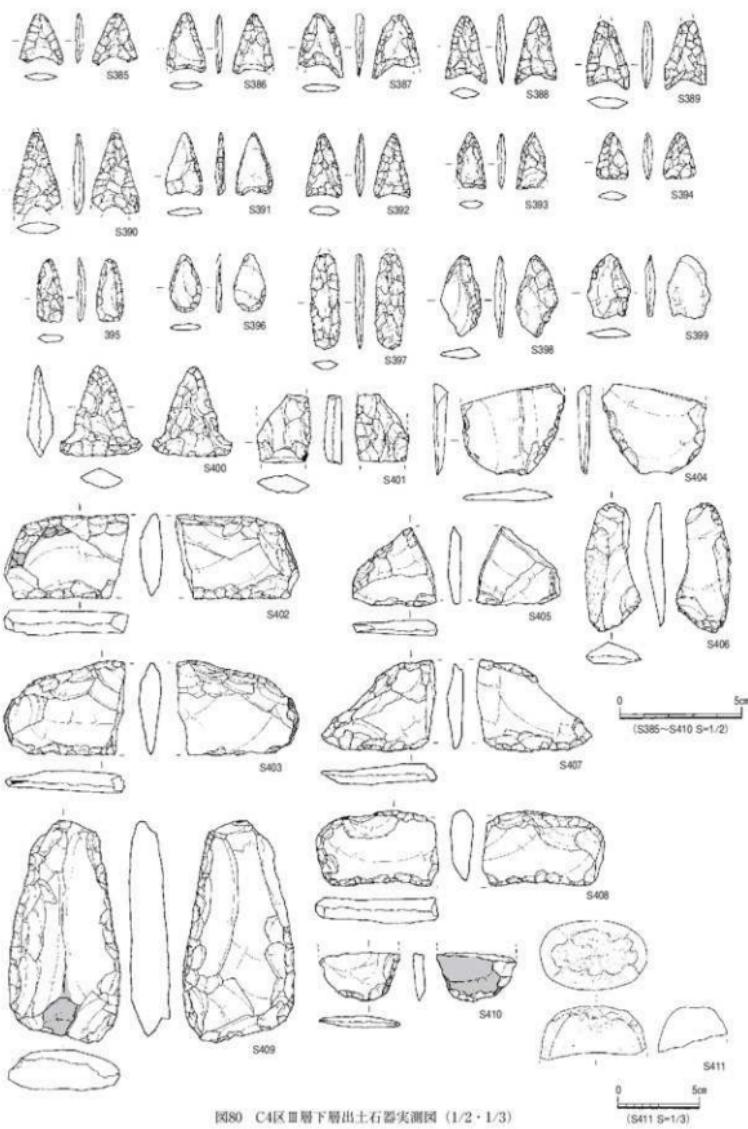


图80 C4区 III层下层出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

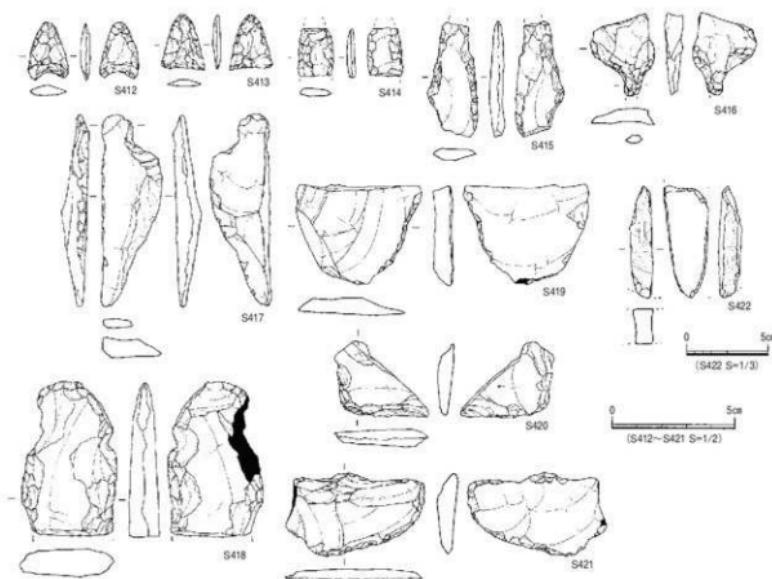


图81 C5区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2 · 1/3)

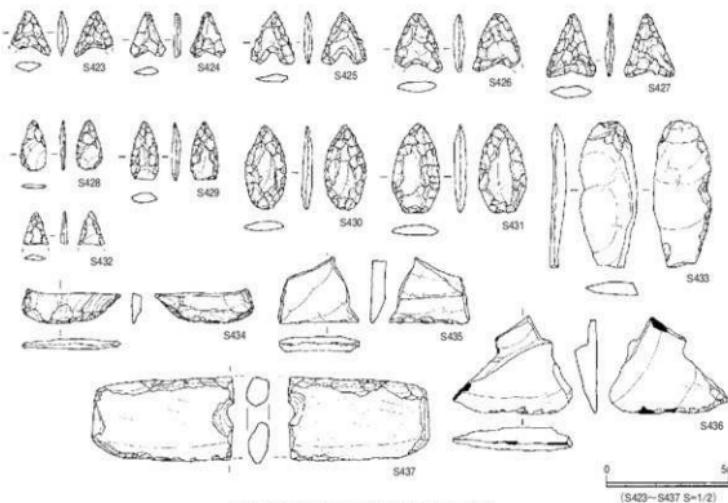


图82 C5区Ⅲ层中层出土石器实测图 (1/2)

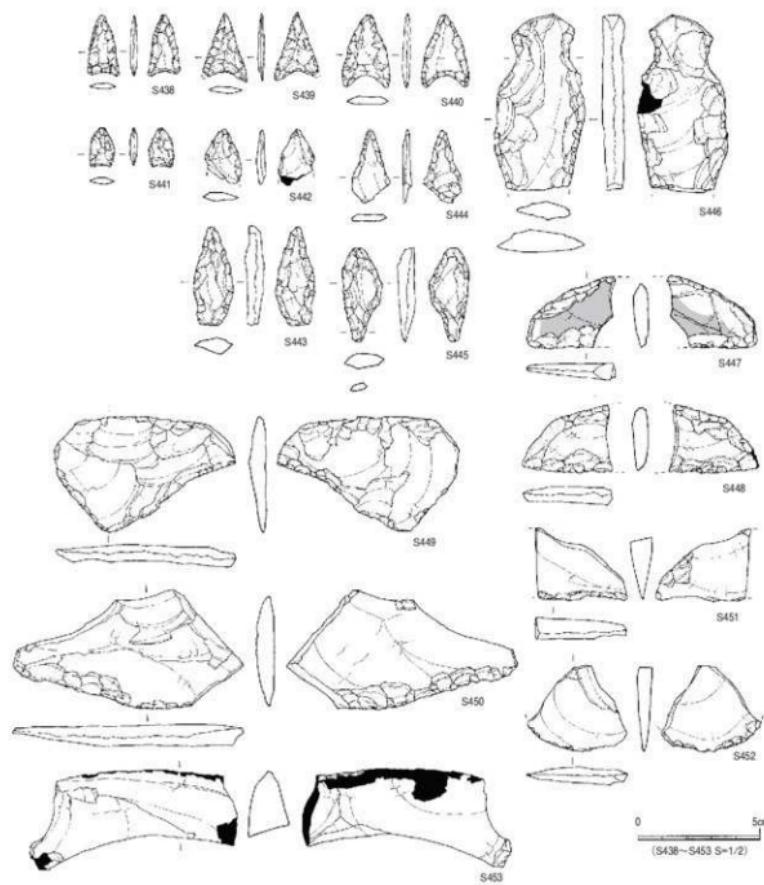


图83 C5区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

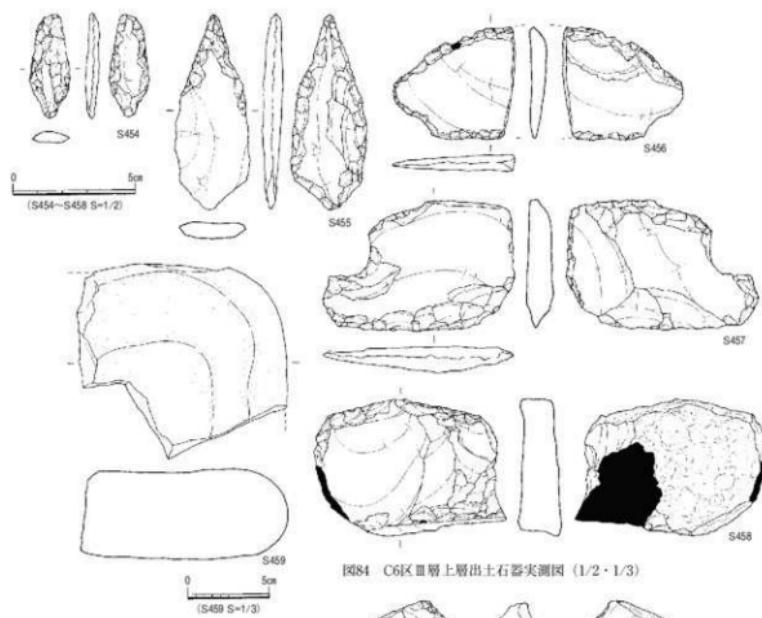


图84 C6区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2·1/3)

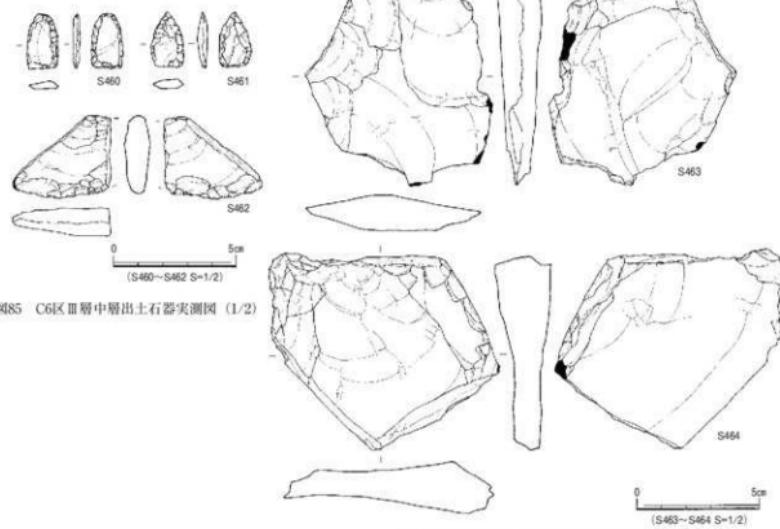


图85 C6区Ⅲ层中层出土石器实测图 (1/2)

图86 D2区Ⅲ层出土石器实测图 (1/2)

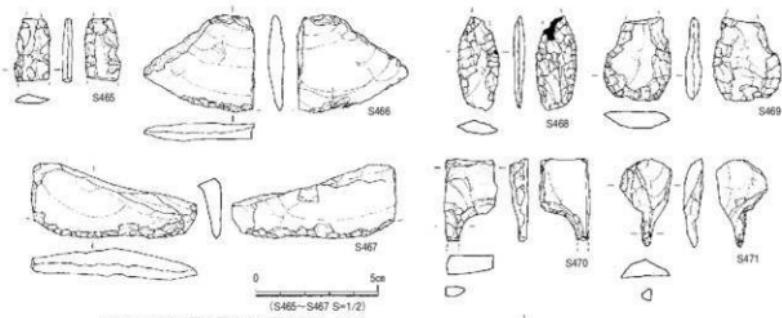


图87 D3区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2)

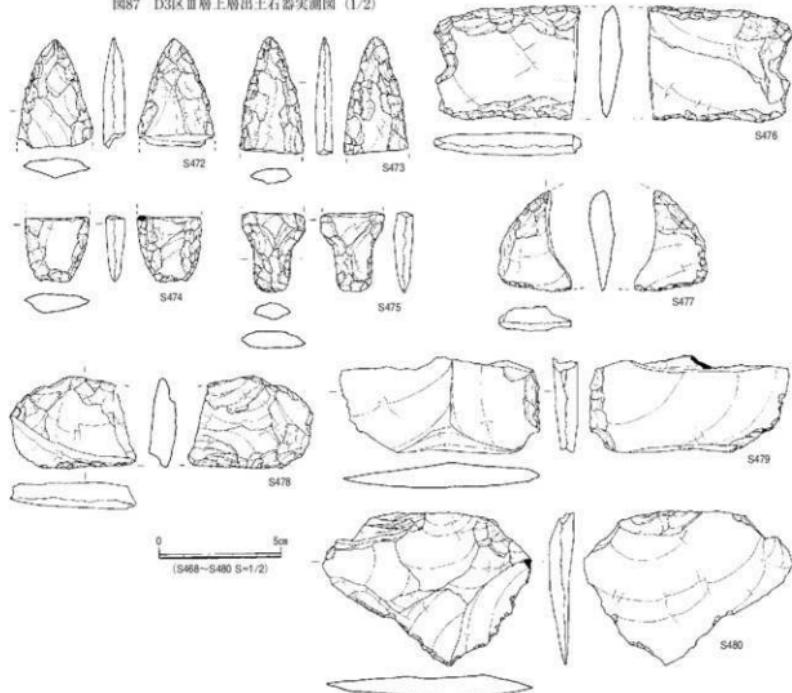


图88 D3区Ⅲ层中层出土石器实测图 (1/2)

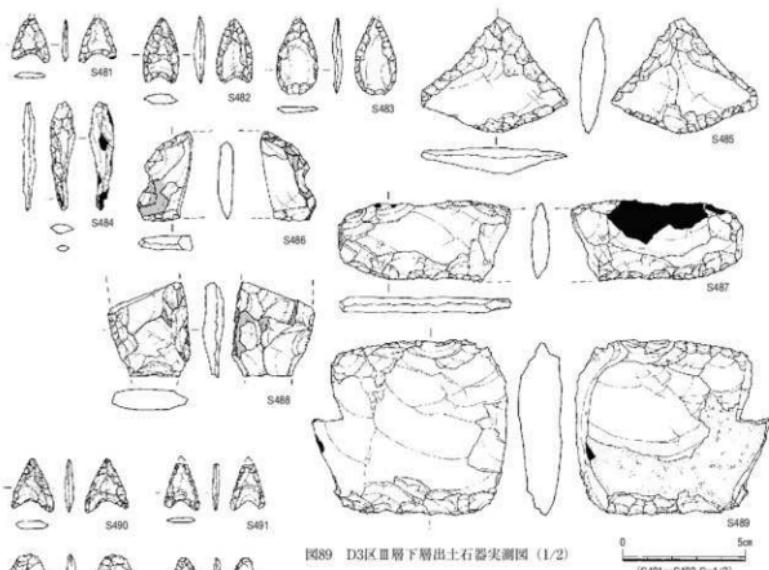


图889 D3区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

(S481-S488 S=1/2)

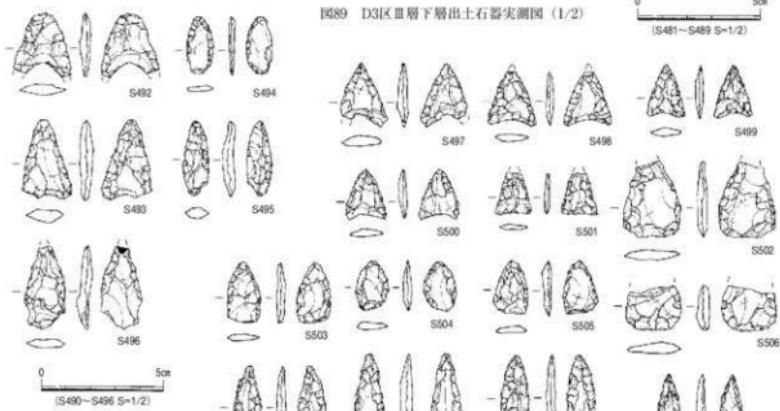


图90 D4区Ⅲ层中层出土石器实测图 (1/2)

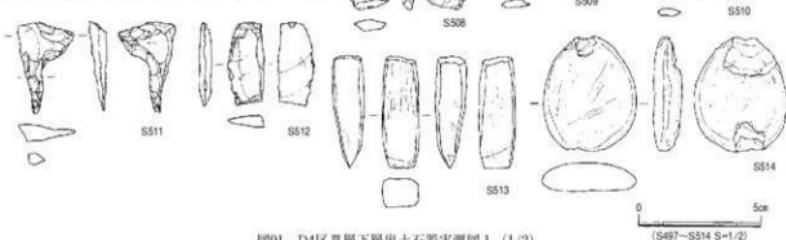


图891 D4区Ⅲ层下层出土石器实测图 1 (1/2)

(S507-S513 S=1/2)

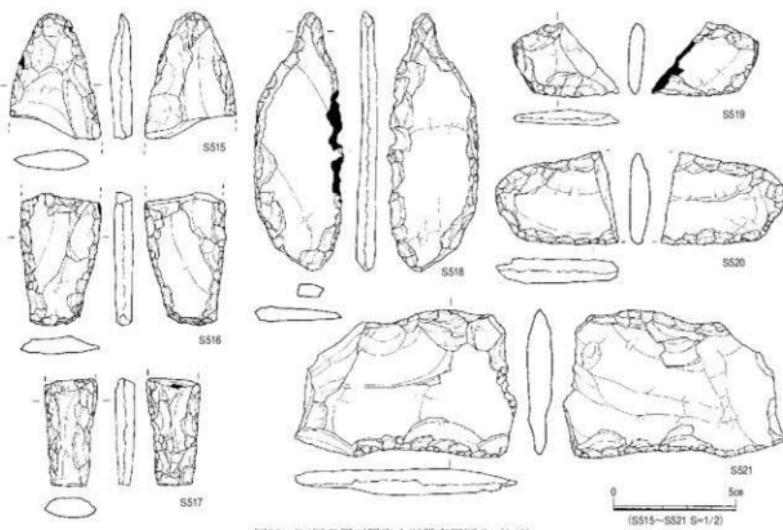


图92 D4K III层下层出土石器实测图 2 (1/2)

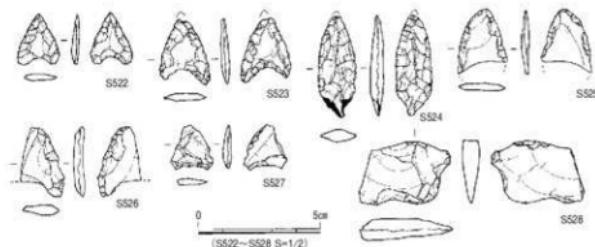


图93 D5K III层上层出土石器实测图 (1/2)

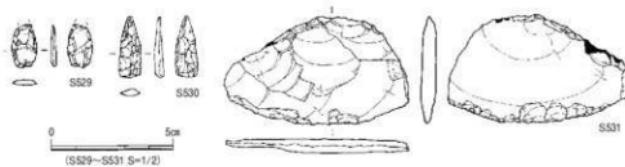


图94 D5K III层中层出土石器实测图 (1/2)

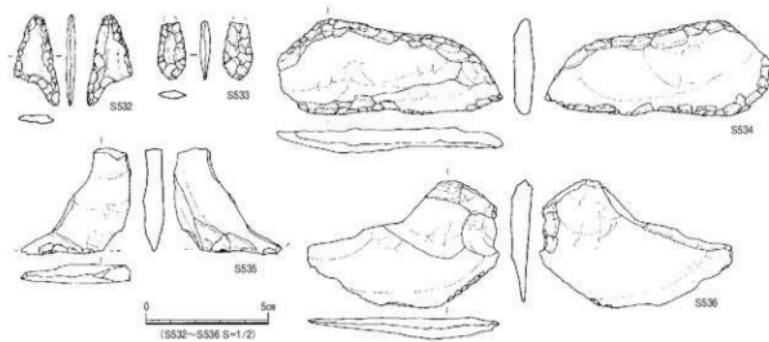


图96 D5区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

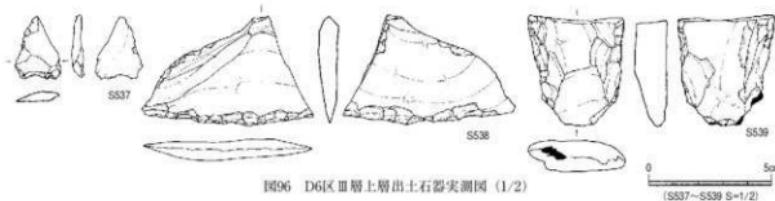


图96 D6区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2)

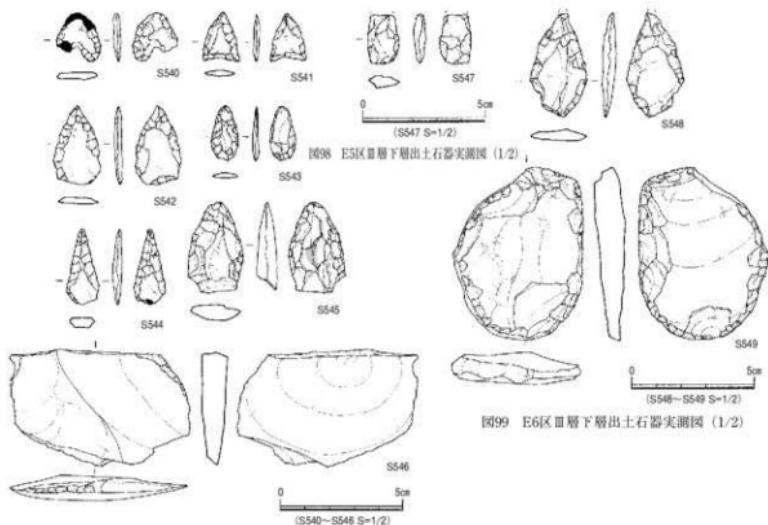


图97 E3区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

图98 E5区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

(S547 S=1/2)

(S548 S=1/2)

(S549 S=1/2)

(S548—S549 S=1/2)

(S548—S549 S=1/2)



图100 A5区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)



图101 B3区Ⅲ层上层出土石器实测图 (1/2)

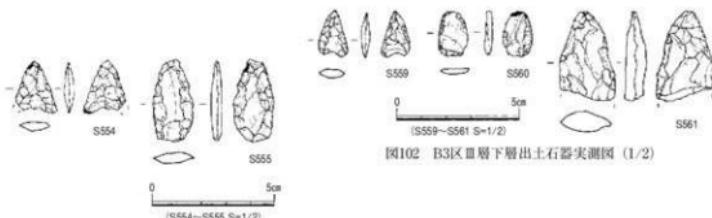


图102 B3区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

图103 B6区Ⅲ层下层出土石器实测图 (1/2)

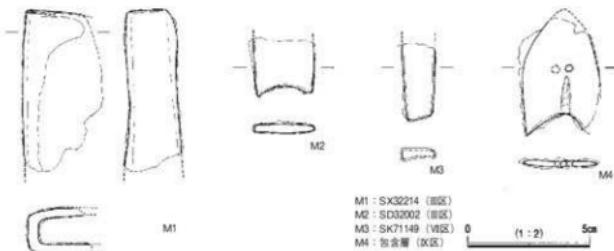


图104 出土铁制品实测图 (1/2)

第5章 総括

第1節 Ⅲ区の出土遺物について

(1) 土器・土製品について（図7～48）

Ⅲ区から出土した土器を見ると、器種の組成は壺・甕・鉢が大半を占めており、これらが主要な器種である。また、少量ではあるがこれに蓋・高杯が加わる。このなかで、壺と甕が組成の大半を占めるが、この傾向は隣接する奥の坊遺跡のVI区と同様である。また、これらの土器は弥生時代中期前半に帰属するものと考えられるため、VI区の出土遺物の年代観と大きく異なる。なお、Ⅲ区のⅢ層から擬朝鮮系無文土器の甕が5点（535～537・977・1199）出土しているが、奥の坊遺跡のVI区でも遺構と遺物包含層から合計5点が出土した。Ⅲ区およびVI区で出土した擬朝鮮系無文土器は、いずれにしても土器の出土総量に対してわずかであることから主要な組成とはならない。擬朝鮮系無文土器の集落のなかでの位置づけは、朝鮮半島との関連性を示す遺物ということになるだろう。

土製品について見ると、VI区と同様に遺構およびⅢ層から土器片を利用して紡錘車が多数出土した。一方、VI区で見られた顔状土製品がⅢ区では1点も出土していない点は留意が必要だろう。VI区出土の顔状土製品は大半が堅穴建物跡から出土していることから、顔状土製品を使用した場所が、集落のなかでもVI区を中心とした範囲であった可能性が考えられる。

(2) 石器について

a. 整理方法と産地分析、石材鑑定

Ⅲ区出土石器のうち、出土遺構および包含層の層位が明確な製品、石器製作具、礫石器を抽出し、561点について図化を行った。

サスカイト製石器の産地について、打製石斧（S51・265）、石核（S54・458）、二次加工のある剝片（S453）の5点を、香川大学丹羽佑一名誉教授の御協力をいただき、（基礎研究C 課題番号：23520923 研究代表者：丹羽佑一「先史時代香川県金山産サスカイト製石器の広域流通における回遊する専業集団の検討」 分析者：藤井哲男・（有）遺物材料研究所）分析を行った。分析結果は、（S453）が国分寺、蓮光寺産、（S51・54・265・458）が金山東1、2地点採取である。なお、詳細な分析結果については科学的研究報告書を参照されたい。

石材鑑定については、報告者の肉眼鑑定のほか、（公財）益富地学会館の御協力を得た。

b. 打製石器について

図化した打製石器は打製石鏃、石鏃未製品、石錐、尖頭器、打製石剣、打製石包丁、スクレイバー、ナイフ形石器、ノッチ、石匙、石鎌、石小刀、打製石斧、石核、楔形石器、二次加工のある剝片、微細剥離痕のある剝片、剝片が出土している。石材はチャート製の剝片（S127・194）が2点出土しているほかは、すべてサスカイトである。

打製石器は、弥生時代に帰属する石器のほかに、ナイフ形石器や異形石器と考えらえる器種不明の石器、風化が著しいものや、二重バテナが確認できる石器が散見されることから、弥生時代以外に複数時期の石器が混在している可能性が高い。

c. 磨製石器・礫石器について

磨製石器は、磨製石鏃（S195）、磨製石包丁（S437）、大型蛤刃石斧（S38・158・161・293・336）、柱状片刃石斧（S270・384・422）、小型方柱状石斧（S110・513）、扁平片刃石斧（S30）、磨製石斧（S268・269・411）、石鏃（S115・121）が出土している。

このうち特徴的な石器として、磨製石鏃（S195）と磨製石包丁（S437）がある。磨製石鏃は泥岩製と考えられ、中央に稜をもつ。磨製石包丁（S437）は溶結凝灰岩製で、背部に敲打痕が認められる。

磨製石器に使用されている石材は、搬入石材であるものが多数を占め、また未製品も存在していることから、製品ないし半製品の状態で遺跡内に搬入されたと考えられる。

礫石器は、砥石、石皿、くぼみ石、石錘、敲き石、台石が出土している。石材は砂岩や安山岩、凝灰岩といった高松平野周辺で採集可能な石材が使用されている。また比熱が認められる石材も一定量認められる。

(3) 鉄製品について

a. 整理作業の方法

鉄器類については、保存処理後の資料を図化した。また、香川県産業技術センターの協力を得てX線写真を撮影し、実測を行っている。

b. 報告

M1はⅢ区SX32214より出土した鋳造の袋状鉄斧である。刃部は欠損しており、袋部も1/2以下しか残存していない。残存長6.5cm、残存幅3.3cmを測る。袋部の横断面形は長方形を呈すが、角部の屈曲がややなるく、隅丸方形に近い。手に持つと非常に重量感があり、残存部での保存処理後の重量は38.6gである。図化した範囲の上部が基部にあたると考えられるが、刃部側に向かって袋部がやや広くなっている。共伴する遺物（図13）は器種が少なく決め手に欠けるが、讃岐II-2～讃岐III-1様式（真鍋2000）の時期が想定できる。

M2はⅢ区のSD32002から出土した。図中の下半部が弧を描いて削り込んでおり、形状から無茎鉄鎌の基部の可能性が考えられる。ただし、横断面形を確認したところ、側面に刃部が形成されておらず、鉄鎌の未成品。あるいは鉄素材の断片である可能性も否定できない。共伴遺物は無く、時期比定は困難である。周辺調査区で連続する溝の可能性がある遺構が確認されており、その溝が古代に属することから、古代の可能性も考えられる。

M3・4は本書で取扱うⅢ区からではなく、既に報告が完了しているⅦ区・Ⅸ区出土の資料である。それぞれ本書作成時の再整理により新規実測したもので、あわせて掲載するものである。

M3はⅦ区SK71149から出土した、不明鉄片である。残存長3.1cm、幅1.3cm、厚さ0.3cmを測る。鎧化が著しく、断面形状は不確定だが、中央がやや窪んだ形状を呈するようである。鋳造・鍛造の別は不明であるが、形状から鉄素材の可能性が考えられる。共伴する遺物から弥生時代中期前半の時期が想定されている。

M4はⅨ区C2の包含層から出土した無茎鉄鎌である。先端と片側の逆刺部を欠損するが、おおむね全形が判明する。残存長4.7cm、最大厚0.2cmを測る。鎌身部中央には根バサミ等装具を縛るための孔が2孔穿たれている。また、痕跡的であるが、鎌身部に並行して縱方向の木質が残存しており、根バサミの一部であると考えらえる。縛用の糸や接着材等の痕跡は確認できない。刃部から基部まで厚みが一定で、盤切による整形が想定できる。包含層の上面精査時に確認された遺物で、同時に出土した遺物には弥生時代中期前半、弥生時代後期～中葉の遺物が含まれており、時期の特定は難しいが、弥生時代に属するものと考えられる。

c. 鋳造鉄斧について

中・東部瀬戸内海沿岸地域では、弥生時代前期末～中期前半にかけて舶載の鋳造鉄器が確認されており、香川県域では三井遺跡で弥生時代前期に属する鋳造鉄斧が確認されている（信里2006）。当遺跡出土資料もこうした資料と同様に、中期前半の段階に搬入されたものと考えられる。鋳造鉄斧の多くは研磨による再加工でリサイクルされていることが指摘されているが（野島1992）、奥の坊遺跡例ではそういった再加工の痕跡は認められず、破損したままの状態であると考えられる。脱炭処理の有無について確認できていないため、再加工が可能な状況であったかどうかが不明であるが、三井遺跡出土鉄斧も同様に研磨による再加工は認められておらず、資料数が少ないが現在のところ香川県域では鋳造鉄斧の再加工は確認されていない。鋳造鉄斧の再加工については、磨製石器の製作技術が適用されていると考えられているが（村上1994）、こうした再加工がどの程度普遍的に行われたのかについては検討の必要があるだろう。

d. 奥の坊遺跡出土弥生時代鉄器の位置づけ

奥の坊遺跡では中期前葉～中葉にかけての鉄製品が確認されており、一部は確実に舶載されたものである。鍛冶遺構は確認されていないため、鍛冶を伴う鉄製品の生産を行ったものではなく、あくまでも搬入による鉄器保有という状況である。数量も僅少で、かつ再加工の痕跡も認められないことから、積極的かつ大規模な鉄器使用の実態は認められない。

高松平野では弥生時代に属する確実な鍛冶遺構の痕跡は後期まで降っても確認されていない。弥生時代の鉄器が一定数量以上確認されている久米池南遺跡・奥の坊遺跡はともに弥生時代中期に属し、時期的に限定されるうえに地理的にも高松平野の東部に集中する。久米池南遺跡出土資料は、整切あるいは薄手の板状鉄片の折り曲げによる整形が考えられ、鍛冶遺構は未検出ながら鉄器生産が行われた可能性が考えられる。ただし、後期以降継続的な鉄器生産の痕跡は現状では確認できず、下川津遺跡や旧練兵場遺跡など、隣接地域の状況とは対極的な状況を示している。

奥の坊遺跡では、松菊里型住居や擬朝鮮系無文土器の土器類が確認できるなど、とくに朝鮮半島を淵源とする要素の影響が指摘されている（高松市教育委員会編2011）。影響の程度や搬入が直接的なものか間接的な移動の連続の結果であるかの弁別は重要な視点であるが、ここでは明らかにしえない。いずれにせよ鋳造鉄斧の搬入はこれらの要素と関連して捉えうるだろう。ただし、鍛冶を伴う鉄器生産や鉄器の再加工を伴う鉄器生産技術の移入ではなく、点的かつ限定的な鉄器の普及状況を示す資料であると言える。

第2節 奥の坊遺跡群の地形と遺跡分布について

(1) 概要（図105）

当該事業では広大な範囲を発掘調査し、各時期の土地利用の状況を明らかにしてきた。ここでは、奥の坊遺跡群をとりまく地形と環境を整理し、土地利用の変遷を概観する。

調査地周辺の土地利用の特徴は、①弥生時代中期から後期にかけて集落が営まれる点、②丘陵上で古墳時代の終末期を中心に造墓活動が活発化する点、以上2点が抽出できる。この点からも、調査地は集落の形成に適した緩傾斜面、古墳の造墓に適した眺望の良い丘陵地、さらにそれらの土地利用からは除外された低地部というおおむね3つに区分できる。

エリアA エリアAの北側および東側には丘陵があり、その丘陵の入り組んだ部分に北から南へと緩やかに傾斜する地形面が連続する。エリアAの丘陵上には、古墳時代に金川瀬古墳、奥ノ坊古墳群などが築かれ、緩やかな傾斜を持つ地形面上には、弥生時代中期から古代にかけて集落が営まれる。なお、奥ノ坊古墳群が分布する舌状の丘陵のさらに東側にも婆ヶ谷池から南下する谷部が認められる。ここでは、弥生時代中期の遺物を含む旧河道を検出しており、上流から土砂が流入するなど、集落が形成される時点で地形的に安定しない場所であったと考えられる。

エリアB 南から東にかけて丘陵が存在し、谷部との間に北へと傾斜する地形面が連続する。土地利用はエリアAと大きく異なるものではなく、エリアBでも緩傾斜の地形面上を中心に、谷部との境界に集落が営まれる。ただし、エリアAのあり方と異なる点は、奥の坊奥池西遺跡において、繩文時代にさかのほる遺構・遺物が認められる点、奥の坊遺跡のように濃密に遺構・遺物が認められるような大規模な集落の形成には至らない点、以上2点が挙げられる。

(2) 各エリアの遺跡分布

(エリアA)

弥生時代中期 奥ノ坊古墳群の調査地で、表土層からナイフ形石器が1点出土している点と、奥の坊遺跡の北側にあたるⅧ区において混入品と考えられる弥生時代前期前半の遺物が数点出土しており、中期以前に当地において何らかの人的活動があった可能性が考えられる。

エリヤAで明確に土地利用の痕跡を確認できるのは、弥生時代中期前半以降である。弥生時代中期前

半には中心的な集落として、奥の坊遺跡と奥の坊権現前遺跡が成立する。奥の坊遺跡は、奥ノ坊古墳群が立地する舌状に延びる丘陵の西側の緩傾斜面上に居住区の中心が位置しており、発掘調査では多数の竪穴建物跡などの居住遺構を確認している。調査成果のうち、松菊里型住居（SH61001-a）を1棟検出した点、擬朝鮮系無文土器が出土した点、顔状土製品が複数出土した点、竪穴建物内などを中心に多量の石器が出土した点、鉄器が出土した点、以上は重要である。

さて、弥生時代中期前半の遺構は、奥の坊遺跡の南西側に位置する奥の坊権現前遺跡にも少數ながら認められる。奥の坊権現前遺跡の発掘調査では、竪穴建物跡2棟と土坑などを検出した。帰属時期や遺構の分布から、奥の坊権現前遺跡の弥生時代中期前半の遺構は、奥の坊遺跡の同一時期の遺構と一連のものと考えられる。

弥生時代後期 エリアAでは奥の坊権現前遺跡の発掘調査で、弥生時代後期前半の竪穴建物跡4棟、掘立柱建物跡2棟、土坑などを検出した。とりわけ、4棟検出した竪穴建物跡は弧状に配置されており、その内側にあたる西側に棟持柱を有する掘立柱建物跡が位置する。なお、掘立柱建物跡の周囲には、L字状に掘削された溝が認められた。奥の坊権現前遺跡の当該期の集落は、遺構の平面分布から、事業地のさらに西側に展開するものと考えられ、その見方が正しければ、本調査地は集落の東端であると考えられる。

古墳時代～古代 エリアAの周辺では古墳時代の終末期を中心として、丘陵上で造墓活動が活発化する。奥の坊遺跡の集落のすぐ東側の丘陵上では、調査時にすでに削平されていたものの奥ノ坊1号墳を含めて4基の古墳を確認した。これらの古墳はおおむね7世紀頃の時期が想定される。奥の坊古墳群から東へ目を転じると、谷部を挟んでさらに東側に丘陵地が認められるが、そこには金川淵古墳が所在する。金川淵古墳は北側の丘陵から南へ舌状に延びる丘陵の先端部最高所に位置し、発掘調査によって幅130m、深さ0.20mの周溝を検出した。

一方、エリアAの集落を見ると、奥の坊権現前遺跡の発掘調査では、7世紀後半頃と考えられる竪穴建物跡、掘立柱建物跡や溝などを検出している。このうち、奥の坊権現前遺跡で検出された東西方向の溝（SD53001）は、既往の調査成果から提唱されている「北部条里地割」の施工方位に合致し、溝の帰属時期から調査地の北部条里地割の施工が平野に先行して7世紀後半に行われた可能性がある点、施工範囲が丘陵地付近まで及んだ点などが想定されている。このほか、奥の坊遺跡の南西側の調査でも、同時期と考えられる竪穴建物跡（SH52001）を1棟検出した。当該期の遺構は濃密には分布しないが、奥の坊権現前遺跡の西側にも展開するようだ。

中世以降 奥の坊権現前遺跡では、中世に帰属する遺物が出土したが、遺構については明確に検出していない。同遺跡では近世以降の耕作に伴う鶴溝や掘立柱建物跡が認められ、奥の坊遺跡でも近世以降の居住に関わる遺構などを検出している。また、奥ノ坊古墳群が築造された丘陵上には、古墳の廃絶後の近世に造墓が行なわれており、近世以降、再び墓域としての土地利用に転じる。

エリアAの土地利用はおおむね4時期に大別できる。最初の土地利用は、奥の坊遺跡の成立する弥生時代中期前半、次は奥の坊遺跡よりも西側に居住空間の中心を移す奥の坊権現前遺跡の集落が形成される弥生時代後期前半、次は古墳時代の終末期から古代にかけて丘陵上に奥の坊古墳群が成立し、その下に7世紀後半の集落（奥の坊遺跡・奥の坊権現前遺跡）が成立する時期、最後が中世以降に大半の土地が耕地化され、近世に居住区と丘陵上で墓域が成立する段階である。

（エリアB）

縄文時代後期 奥の坊奥池西遺跡で落とし穴の可能性がある遺構を複数検出した。この点から、当該期に当地の土地利用が開始された可能性が高いと考えられる。

弥生時代中期 大空北遺跡で竪穴建物跡や溝などを検出した。

弥生時代後期 奥の坊奥池西遺跡で土坑と当該期の可能性がある竪穴建物跡を1棟確認した。遺構数や遺物の出土量などから、奥の坊奥池西遺跡は奥の坊権現前遺跡とほぼ同時期の小規模な集落と考えられる。

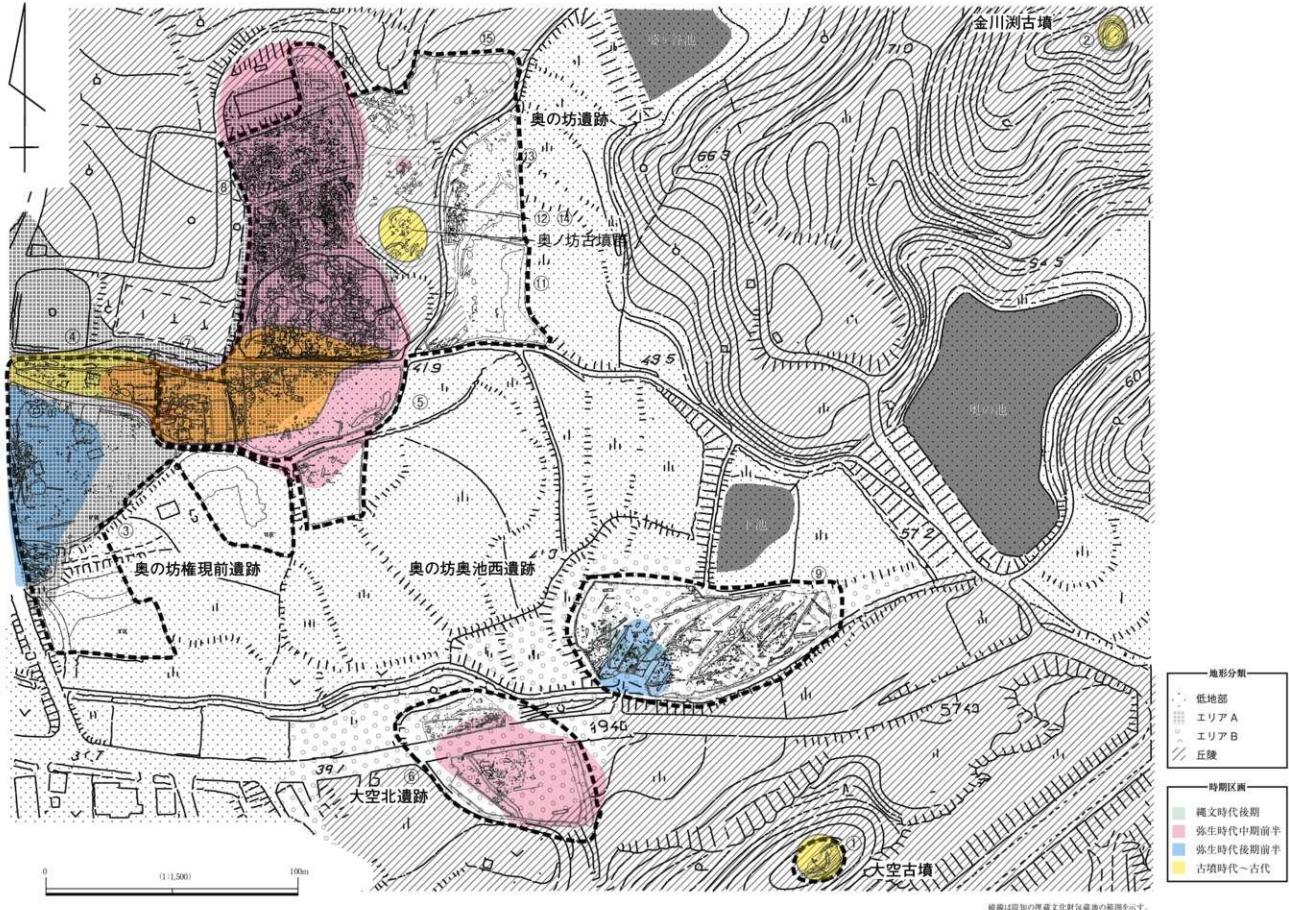


図105 事業地周辺の既往の調査成果 (1:1500)

古墳時代 大空古墳は大空遺跡から北へ延びる丘陵の延長部に位置する古墳時代後期の円墳で、全長約11mである。埋葬施設は東側に開口する横穴式石室と考えられる。

中世以降 中世と近世以降の遺構は、奥の坊奥池西遺跡で溝や掘立柱建物跡などを検出した。

エリアBで特筆すべき点は、縄文時代と考えられる遺構を確認した点である。このことから、エリアBの土地利用の開始がエリアAに先行する可能性が考えられる。また、エリアBでは弥生時代中期に一定規模の集落は形成されておらず、弥生時代後期にエリアAの奥の坊現前遺跡と同時期と考えられる集落が成立する。

双方の地形区分における遺跡分布を概観したが、地形の状況やそれに規制された土地利用の様子が明らかとなった。奥の坊遺跡は、弥生時代中期前半の一定規模の集落と評価できるが、長期間は営まれず、その後、遺跡の周辺で弥生時代後期や古代に規模のそれほど大きくない集落が営まれる。また、周辺の丘陵上では古墳時代後期から終末期にかけて造墓活動が活発化する様子を読み取れた。また、当地は近世以降も耕作地として利用される反面、一部で屋敷地や墓域として利用されていた状況が明らかとなつた。

第3節 奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落について

(1) はじめに

事業対象地内の土地利用の歴史は、弥生時代中期前半に奥の坊遺跡の集落が成立する段階と考えられる。広大な面積を発掘調査し、とくに奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落の状況が最も明らかとなつたことから、ここで奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落の構造について整理する。

(2) 集落の立地・範囲・規模

奥の坊遺跡の立地を見ると、奥の坊遺跡は舌状にのびる二つの丘陵に挟まれた緩傾斜面上におもな居住空間を設けた集落遺跡と言える。集落の南側には自然流路が位置するような低地部が存在し、低地部では過去の明確な土地利用の痕跡は認められない。さらに、現在は北側へ後退している海岸線が、江戸時代の絵図などを参考に復元すると、奥の坊遺跡から西へ約800mの地点に位置していたと考えられる。現在、奥の坊遺跡が立地する場所は内陸部的な景観をなすが、集落が営まれていた弥生時代には、海岸から1kmに満たない場所に立地し、なおかつ丘陵や流路などの自然地形や条件に影響を受けやすい環境にあったと考えられる。

次に集落の範囲については、集落の西端はⅢ区西端から約50m西側まで、南端も同様に約50m南側まで、北側は丘陵の裾付近までと考えられる。このため、集落の形状は南西側が西へ張り出すものの、南北に細長い範囲と想定できる。この見方が正しければ、集落の規模は、東西方向の最大長が約120m、南北長が約175mで、集落の面積はおよそ6,700m²と推定される。なお、参考までに集落内の比高差を見ると、集落の北端に位置するⅢ区北側の弥生時代中期の遺構面の標高が約49.3m、集落の南端付近に位置するⅡ区の北側が39.6mであり、集落の南北両端でおよそ10mの比高差が認められる。

(3) 集落の選地

どのような条件を考慮して集落の場所を選定したのかを検討する。集落の立地の特徴は、①舌状にのびる二つの丘陵の間に集落の中心部が位置する点、②集落の南側と東側の丘陵を挟んでその東側にも旧河道などが通過する谷（低地部）が存在する点、③集落の西側約800mの地点に海岸線が位置する点。以上が集落周辺の環境に関連する特徴である。集落の選地にあたっては、これら諸要素がお互いに関連していることは容易に想定できる。

①は、集落の東側にある丘陵のさらに東側には谷が存在し、この部分では発掘調査で流路が検出されている。当時流れている流路は、集落の東側に位置する丘陵の東側が攻撃斜面となる。このことから、この丘陵は流路の増水から集落を護る役割を果たしていたことが想定される。②については、集落の南側の低地部を流れる流路も集落と一緒に機能していたと仮定すれば、集落の範囲を狭める要因となる一

方、一定の水量が見込まれる流路であれば水の供給源になる可能性もある。③については、海に近い立地は、海産物の獲得や水運に有利な環境であるとも考えられる。

以上のように集落の立地に関する特徴を捉えると、地形に多くの制約を受けて集落を形成したと見られるが、他方で、地形と集落のあり方を詳細に見ていくと、奥の坊遺跡の集落は地形が持つ特徴に配慮した選地を行っている可能性を推定できる。奥の坊遺跡周辺の高所部は、弥生時代では流路や自然災害等を要因として上流部からの土砂が一定量流入していたと考えられるため、集落を営むことができる場所も限定的だったと推定できる。しかし、集落はより条件の良い環境を求めて、かつ地形的に優位な場所を選定して形成されたことが遺跡の立地から予想できる。

(4) 集落内の遺構分布

集落縁辺部

集落の北側に位置するのが奥の坊遺跡のⅧ区である。Ⅷ区は集落の最北端と考えられる地点に位置し、弥生時代中期前半の遺構・遺物が出土した。しかし、北へ向けて遺構の密度は低くなっている、かつ検出した遺構はピットなどが主体で明確な居住遺構は検出していない。Ⅶ区北端が背後の丘陵の傾斜変換点付近に位置するため、Ⅶ区北端が集落の北端を示すものと考えられる。

次に集落の南端と想定される箇所で調査した奥の坊遺跡のI・II区を概観する。集落の南端に位置するのがI区で、調査区の南半では遺構の空白域が認められる。この部分は、試掘調査の結果、埋没した旧河道が遺構面を形成しているものと考えられ、南側の低地部に向けて緩やかに傾斜する地形をなす。遺構の空白域から北へ5mの地点には、竪穴建物跡と考えられるSH12001が1棟存在し、そこから北へ約30mの地点にあたるII区北西側でも合計3棟の竪穴建物跡（SH21001～SH21003）が構築される。なお、この区間は北東から南西方向に帶状に遺構密度が低くなる箇所が認められる。遺構の密度から考えると、II区北西側に集中して構築される遺構が集落の中心部を構成する遺構群、そこから南側は集落の縁辺部の状況を示すものと考えられる。

次に集落の南西側の状況を見る。集落の南西端に位置するのが奥の坊現前遺跡のV区と、その東側隣接地の奥の坊遺跡のV区である。奥の坊現前遺跡のV区は、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲としては「奥の坊現前遺跡」となっているが、検出した遺構の帰属時期から、その一部は奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落に関わる遺構と判断した。奥の坊現前遺跡のV区における当該期の遺構としては、円形と考えられる竪穴建物跡が2棟（SH53001・SH53002）と土坑などである。時期を特定できなかった遺構のなかに当該期の遺構が存在する可能性はあるが、この点を差し引いたとしても遺構密度は低いと言える。その東側に隣接する奥の坊遺跡のV区では、当該期の明確な居住遺構は検出しておらず、方形周溝墓状の遺構（ST52001）を1基と土坑・ピットなどを複数検出している。これらの遺構の分布状況から、双方の調査区は集落の中心部からはやや離れた集落の縁辺部に位置するものと考えられる。留意すべき点として、集落の中心部からやや離れた箇所に竪穴建物跡がわずかながら認められる点、竪穴建物よりも中心に近い位置に方形周溝墓の可能性がある遺構が構築されている点、以上2点が挙げられる。

以上、集落の縁辺部と見られる調査区を概観したが、いずれの地点においても明瞭に集落を区画するような溝などの遺構は認められなかった。加えて、集落の縁辺部ではあるが、わずかながら竪穴建物跡などの居住遺構が分布する点は集落像の一旦を示すものと考えられる。集落の北端と南端の状況から、集落は自然地形をそのまま生かした状態で、かつ人工的な区画施設を設けることなく集落の縁辺部としていたと考えられる。また、集落の南西端付近が一部墓域化している可能性がある点は留意すべきだろう。

集落中心部

(遺構) 奥の坊遺跡の集落の中心部に位置するのが北から順に奥の坊遺跡のⅧ区・Ⅶ区・Ⅲ区・Ⅱ区北西側、以上の4地区である。これらの調査区で共通するのが、当該期の遺構を被覆して弥生時代中期前

半の遺物をおもに含む遺物包含層が堆積する点である。この遺物包含層に保護されていたため、大半の地区で遺構を良好な状態で検出することができたと言える。

さて、集落の中心部のうち、遺構の分布密度が最も高いと考えられるのがVI区およびIII区である。とりわけ、VI区は遺構が複数重複した状況で確認できることから、奥の坊遺跡における主たる居住空間を見て良いだろう。また、居住遺構である堅穴建物跡の検出数で見ると、VII区で2棟、VI区で15棟、III区で5棟、II区で3棟を確認した。調査面積が調査区によって若干異なるが、この検出数からもVI区が最も建物が集中する箇所、その次がIII区と言える。また、双方の調査区で遺構が最も多く検出できたのが、調査区のなかでも中央付近であった。これは、双方の調査区の東西両端が丘陵の傾斜変換点にあたり、この部分は傾斜があることに起因していると考えられる。より平坦な地形面を選んで建物を構築したのだろう。なお、当該期の堅穴建物跡以外の居住遺構を調査では明らかにできなかった。これは、VI区のように遺構が重複する地区が多くいたため、掘立柱建物を特定して復元することが困難であったことが要因のひとつと考えられる。

それでは、集落の中心部と考えられるVI区とIII区の建物を見ると、VI区の中央付近で床面積が推定値ながら約75.4m²を測る堅穴建物跡（SH61012）が1棟認められた。集落においてSH61012を上回る床面積の建物は存在せず、SH61012が最も規模の大きい建物と言うことができる。加えて、VI区で検出したSH61001-b・SH61002・SH61012の3棟からは、祭祀に使用した可能性がある顔状土製品が住居内から各1点出土している。顔状土製品を用いた祭祀が行なわれていたとすれば、この3棟は同一集落で調査した他の住居とは出土遺物の様相が異なる。この見方が正しければ、建物の規模と出土遺物を考慮して、SH61012が集落の中心的な建物になる可能性があり、そのように考えると、集落の中に規模の大きい堅穴建物が位置し、その周囲にそれよりも小規模な堅穴建物を配置するという集落像を想定できる。これら以外で居住遺構として注目されるのが、SH61012の北西側に構築されたSH61001-aである。一部、後世の堅穴建物に破壊されるが、床面の遺構配置から松菊里型住居と考えられる。松菊里型住居は渡来系の集團との関連が想定されることが多く、当住居の居住者が朝鮮半島と何らかの関連性を有することが予想される。

次に居住遺構以外の遺構に注目すると、集落内で検出したのはピット・土坑・溝でこのほかに性格を特定できない遺構が存在した。このうち、溝については、明瞭に区画や配水を意図して開削されたものは検出できなかった。これらの遺構以外で、当集落では井戸と特定できる遺構を明瞭に確認していない。香川県内で弥生時代に帰属する井戸の検出事例はそれほど多いとは言えない。奥の坊遺跡においても、広大な面積を調査したものの井戸と断定できる遺構は検出していない。しかし、これは前述したとおり、奥の坊遺跡の集落が流路などを水源として水を得やすい環境にあったことと関連している可能性がある。

さて、奥の坊遺跡の集落の中心部からは非常に多くの土器・石器が出土した。土器は、堅穴建物跡などの遺構や遺物包含層から出土しており、壺などの日常雑器が中心である。出土した土器のうち、特徴的なものが朝鮮半島の技術を用いて作られたいわゆる「擬朝鮮系無文土器」が出土した点である。擬朝鮮系無文土器と考えられる土器が出土したのは、奥の坊遺跡のVI区南側で検出したSK61226とVI・III区の遺物包含層、さらに可能性があるものとして奥の坊現前遺跡のIV区で検出したSK42068が挙げられる。このうち、奥の坊現前遺跡IV区のSK42068については、想定している奥の坊遺跡の弥生時代中期の集落範囲の外側となり、なおかつ当該期の遺構が他からはやや離れて単独で1基存在する状況である。このため、SK42068の集落のなかでの位置づけには苦慮するところである。一方、奥の坊遺跡のIII・VI区から出土した擬朝鮮系無文土器については、SK61226から出土したのは小破片で、それ以外は遺物包含層からの出土である。この点からも、遺構に伴う良好な状況で擬朝鮮系無文土器が出土したとは言いがたい。遺物の総量から見ても、擬朝鮮系無文土器はわずか1%にも満たない割合で、状況は不明と言わざるを得ない。

集落の性格を考える場合に、石器製作に関わる資料が多く出土した点は看過できない。とりわけ、集落の中心部と考えられるVI区の竪穴建物跡からは、製作残渣であるチップや未成品、あるいは集落内からは石器の素材となる大型剥片も出土している。このことから、いくつかの建物で石器製作が行われていたものと考えられる。この点は、集落の特徴のひとつと言つて良いだろう。

(5) 弥生時代中期前半以降の土地利用

奥の坊遺跡の集落から出土する遺物は大半が弥生時代中期前半に帰属する遺物であり、それ以後、南西側に隣接する奥の坊現前遺跡が弥生時代後期前半に成立するまで、検出遺構から見ると土地利用の空白期間が存在する。すなわち、奥の坊遺跡の弥生時代中期前半の集落は、一定期間営まれたのちそれ以後に継続しない点を指摘できる。その後、奥の坊遺跡の集落が位置した場所の土地利用が再開されるのが古墳時代後期から古代にかけてで、利用の形態としてはその時期の集落と丘陵上で造墓活動を行うというものである。当該期の集落に関する限り、検出遺構の密度からは弥生時代中期前半ほどの集中的な利用とまでは言えない。

一連の発掘調査によって当該集落の全城を検出したものと考えられるため、奥の坊遺跡の集落像を高松平野の当該期における集落のモデルケースのひとつと考え、今後も継続して検討していく必要がある。

第4節 事業の終了にあたって

高松市東部運動公園整備事業の発掘調査に伴い、非常に多くの遺構・遺物を検出し、有益な考古学的な情報が得られた。当該事業に係る整理作業は本書を持って完了するが、今後、周辺で工事等が行われる場合は、継続して適切な保護措置を図り、情報の蓄積を進める必要があるだろう。

引用文献

(第1節 引用文献)

- 高松市教育委員会（編）2011『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第9番 奥の坊遺跡群Ⅴ（奥の坊遺跡VI区）』
野島水1992「破砕した鉄製馬具」「たら研究」32・33 たら研究会
野島水2009「初期国家形成過程の鉄器文化」雄山閣
里手芳紀2006「中・東部瀬戸内地域における弥生時代の鉄製品」「石器から鉄器への移行期における社会の変革を考える」近畿弥生の会 第2回テーマ討論会 発表要旨集
真鍋昌宏2000「讃岐地域」「弥生土器の様式と編年－四国編－」木耳社
村上恭通1994「弥生時代中期以前の鉄製馬具」「先史学・考古学論究」熊本大学考古学研究室創立20周年記念論文集 龍田考古学会
村上恭通2007「古代国家成立過程と鉄器生産」青木書店

(第2・3節 引用文献)

- 高松市教育委員会（編）1999『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1番 奥の坊遺跡群Ⅰ（奥の坊地区（試掘）大空古墳金川湖古墳）』
高松市教育委員会（編）2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第2番 奥の坊遺跡群Ⅱ（奥の坊現前遺跡）』
高松市教育委員会（編）2004『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第3番 奥の坊遺跡群Ⅲ（大空北道路・奥の坊奥池西道路）』
高松市教育委員会（編）2006『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第4番 奥の坊遺跡群Ⅳ（奥の古墳群・久米池道路）』
高松市教育委員会（編）2006『高松市東部運動公園（仮称）整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第5番 奥の坊遺跡群Ⅴ（奥の坊遺跡1・II区）』
高松市教育委員会（編）2007『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第6番 奥の坊遺跡群Ⅵ（奥の坊遺跡VI区）』
高松市教育委員会（編）2009『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第7番 奥の坊遺跡群Ⅶ（奥の坊遺跡VIII・IX・X・XII区）』
高松市教育委員会（編）2010『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第8番 奥の坊遺跡群Ⅷ（奥の坊遺跡VI区）』
高松市教育委員会（編）2011『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第9番 奥の坊遺跡群Ⅸ（奥の坊遺跡VI区）』
高松市教育委員会（編）2012『高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第10番 奥の坊遺跡群Ⅹ（奥の坊遺跡VI区 遺物包含層出土遺物編）』

遺物觀察表

石器觀察表(3)

編 號	標 本 番 号	地 區	遺 物	層位	形 種	最大長 (cm)	最大寬 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石 材	圖 奇	
											圖 奇	圖 奇
95	59	—	SK32049	—	石器・砾石	21.6	9.1	9.8	2200.0	砂岩	半分火燒。石器表面凹：2面，側面：燒面。	
96	60	—	SK32232	—	石器	3.2	1.7	0.6	1.5	*3D付	圓基式。基部一端折損。兩面：深形細部調整。風化著しい。	
97	60	—	SK32232	—	石器(?)	2.8	2.0	1.0	13.6	*3D付	圓底片狀石材。一端刃状強。背面：斧狀面に調整。刀頭正面：燒痕然～淺形細部調整。	
98	60	—	SK32232	—	石器(?)	5.2	11.8	1.4	51.0	*3D付	大型刮削器素材。完形。背面・右側邊：磨耗等の焼れ。刃部：おもに表面に浅形細部調整。單底。	
99	60	—	SK32232	—	石器(?)	16.0	13.0	2.1	196.0	*3D付	大型刮削器素材。完形。背面・右側邊：磨耗等の焼れ。刃部：おもに表面に浅形細部調整。單底。	
100	60	—	SK32232	—	打制石器	5.3	4.2	1.6	32.3	*3D付	基部折損。両側邊：焼損。刃部：片人。浅形細部調整。單底。風化著しい。	
101	61	—	SK32039	—	石器	1.8	1.6	0.2	0.4	*3D付	圓基式。先端部欠損。兩面：浅形細部調整。	
102	61	—	SK32231	—	石器	2.7	2.3	0.5	2.0	*3D付	圓基式。先端欠損。兩面：浅形細部調整。	
103	61	—	SK32046	—	石器 未製品	1.8	1.2	0.3	0.8	*3D付	圓底片狀石材に深形細部調整。先端部分折損。	
104	61	—	SK32009	—	石器	2.7	1.0	0.3	0.8	*3D付	凸基1式。完形。両面：浅形～深形細部調整。	
105	61	—	SK32009	—	石器	3.2	1.3	0.4	1.8	*3D付	凸基1式。完形。両面：浅形細部調整。	
106	61	—	SK32233	—	石器	2.5	1.7	0.4	1.0	*3D付	圓基式。切先折損。兩面：浅形～深形細部調整。	
107	61	—	SK32233	—	打制石器	4.4	2.4	0.9	9.2	*3D付	先端部折損。両側邊：裏加工なし。両面：浅形細部調整。	
108	61	—	SK32233	—	石器(?)	3.8	5.0	1.0	12.8	*3D付	側面刃状強。背面：折損面に調整。刀頭背面：燒痕然～浅形細部調整。	
109	61	—	SK32233	—	石器(?)	4.9	3.4	1.2	31.5	*3D付	側面刃状強。背面：燒痕然。刀頭背面：浅形細部調整。單底。	
110	61	—	SK32233	—	小型平行状 石器	4.3	1.4	1.2	10.4	*3D付	刃部折損。一部に側面あり。背面：浅形細部調整。	
111	62	—	SK32096	—	石器	2.6	1.5	0.4	0.9	*3D付	圓基式。完形。表面：浅形細部調整。裏面：深形～浅形細部調整。	
112	62	—	SK32096	—	石器	2.2	1.5	0.3	0.8	*3D付	圓基式。基部半分欠損。両面：浅形～深形細部調整。	
113	62	—	SK32096	—	石器	2.2	1.4	0.3	0.8	*3D付	圓基式。刃部欠損。裏面：浅形細部調整。裏面：浅形～深形細部調整。	
114	62	—	SK32096	—	器種 不明	2.7	1.7	0.7	3.5	*3D付	彎曲不明。左側部：一部に擦痕あり。両面：一部浅形細部調整。	
115	62	—	SK32096	—	石器?	2.6	6.3	0.6	9.4	片面 刀器	右端部の刃残存。使用痕あり。	
116	62	—	SK32047	—	尖頭器?	2.6	3.1	0.6	7.3	*3D付	先端部：基部折損。両面：浅形細部調整。	
117	62	—	SK32047	—	石器	3.3	1.7	0.5	1.6	*3D付	圓基式。完形。両面：浅形細部調整。	
118	62	—	SK32023	—	石器 未製品	1.7	1.2	0.2	0.3	*3D付	基部：折損。裏面一部：浅形細部調整。	
119	62	—	SK32023	—	石器(?)	2.2	2.6	0.5	4.3	*3D付	一部火燒。楕円形片狀材。刃部：鋸刃状の鋸片の端部に一部二次加工。單底。	
120	62	—	SK32022	—	石器 未製品	2.8	1.8	0.4	1.7	*3D付	楕圓片狀材。裏面のみ浅形細部調整。	
121	62	—	SK32022	—	石器	2.1	5.4	0.5	8.1	片面 刀器	一部に調整抵抗あり。全般的に摩耗。	
122	62	—	SK32022	—	石器(?)	4.4	4.6	1.2	24.1	*3D付	完形。両面：複数：二次加工。両面刃部：一部に浅形細部調整。	
123	62	—	SK32028	—	刃	2.8	2.2	0.3	2.7	*3D付	端部：右側邊一部折損。鋸片の一部に二次加工あり。	
124	62	—	SK32028	—	鋸片	7.7	2.0	1.3	23.7	*3D付	鋸片鋸片。両側邊：折損。折損面を打面に研磨。	
125	62	—	SK32026	—	石器	1.8	3.1	0.5	3.0	*3D付	1面。作用部折損。両面：浅形細部調整。	
126	62	—	SK32026	—	石器?	2.4	2.7	0.5	3.5	*3D付	片面：鋸毛状浅形細部調整。	
127	62	—	SK32005	—	鋸片	1.1	1.6	0.7	0.7	*3D付	緑青色チャート。	
128	62	—	SK32005	—	打制 石器?	4.0	3.2	0.8	11.7	*3D付	側面のみ焼痕。背面：背面加工。刀部：摩滅。	
129	62	—	SK32041	—	刃	3.4	3.9	0.5	7.8	*3D付	楕圓片狀材。裏面：一部に焼痕～深形細部調整。	
130	62	—	SK32043	—	石器(?)	3.1	4.4	0.8	8.0	*3D付	一部火燒。1側面折損。背面刀部：浅形～深形細部調整。裏面刀部：折損～深形細部調整。	
131	62	—	SK32204	—	石器(?)	3.1	3.6	0.5	4.2	*3D付	側面刃状強。刀頭裏面：燒痕然～深形細部調整。	
132	62	—	SK32007	—	石器(?)	2.8	5.7	0.5	6.8	*3D付	楕圓片狀材。完形。背面：背面加工。裏面刀部：一部を浅形細部調整。摩滅。	
133	62	—	SK32099	—	石器(?)	2.6	4.5	0.5	9.0	*3D付	半分火燒。背面：折損面を打面に調節。刀部両面：焼痕～浅形細部調整。	
134	62	—	SK32099	—	打制 石器?	4.7	4.3	1.1	27.1	*3D付	一部折損。背面：背面加工。裏面刀部：一部浅形細部調整。裏面刀部：浅形細部調整。一面に焼痕あり。	
135	62	—	SK32099	—	打制 石器?	4.2	3.4	0.7	15.8	*3D付	半分火燒。刀部のみ焼痕。背面：浅形細部調整。裏面：浅形細部調整。裏面：一部浅形細部調整。刀部裏面：焼痕然。	
136	63	—	SK32105	—	石器	1.5	1.3	0.3	0.6	*3D付	圓基式。基部一端折損。両面：浅形細部調整。	
137	63	—	SK32105	—	石器	2.3	2.0	0.4	1.1	*3D付	圓基式。完形。両面：焼痕～浅形細部調整。	
138	63	—	SK32105	—	石器	2.8	1.7	0.4	1.3	*3D付	圓基式。完形。両面：浅形細部調整。	
139	63	—	SK32105	—	石器	2.7	1.9	0.4	1.3	*3D付	圓基式。完形。両面：浅形細部調整。	
140	63	—	SK32105	—	石器	2.1	1.8	0.3	0.7	*3D付	平底式。初先折損。背面：浅形細部調整。裏面：燒痕然～深形細部調整。裏面：未調節。風化著しい。	
141	63	—	SK32105	—	石器	4.7	3.5	0.6	3.9	*3D付	圓基式。一部折損。両面：一部浅形細部調整。	

石器觀察表(4)

編 號	標 本 番 号	地 區	遺 物	層 位	器 種	最大 長 (cm)	最大 寬 (cm)	最 厚 (cm)	重 量 (g)	石 材	
										直 觀 形 狀	細 部 特 徵
142	63	—	SK32166 土器片1	—	刮削器	5.3	11.3	0.9	50.3	石片	大型擴長片斷材。刃部一部折斷。背面粗い調整。画面刃部：後部細部調整。
143	63	—	SK32165	—	刮削器	4.2	5.1	0.6	6.8	石片	圓錐刃片断。刃部背面：後部折断調整。後部細部調整。
144	63	—	SK32166 土器片7	—	石器	8.2	8.3	2.9	310.5	砂岩	完形。上下兩端に敲打により凹を作る。
145	63	—	SK32024	—	刮削器 石斧	6.2	4.0	1.4	30.9	石片	基底折断。橫面側片素材。背面調整。側面：一部削れ。刀部背面：薄底あり。
146	63	—	SK32228	—	刮削器 石斧	4.2	6.5	17	46.0	石片	刀部のみ残存。刃部先端：摩耗。背面背部：美しい深彫りと無痕あり。
147	63	—	SK32001 381	—	刮石	16.0	11.8	2.7	2800.0	安山岩	縦状の船底模様。石器製作時の台形か。
148	63	—	SK32064	—	石器	9.2	7.6	5.2	436.2	砂岩	一部残存。複数面一面。被削。
149	63	—	SK32132	—	磨合石	12.5	11.6	5.2	974.9	砂岩	完形。表面中央部に磨合痕あり。
150	64	—	SK32062	—	石器	2.2	1.6	0.2	0.9	石片	直角底。尖先折損。背面：浅～深形細部調整。裏面：後部細部調整。
151	64	—	SK32052	—	石器	3.4	1.6	0.6	2.9	石片	1型。作用部折損。裏面：一部を浅形細部調整。
152	64	—	SK32002	—	石器	3.9	2.1	0.4	3.5	石片	直型。完形。画面：一部を浅形細部調整。作用部先端：摩滅。
153	64	—	SK32002	—	石器	4.3	2.5	0.8	9.7	石片	作用部折損。裏面：浅形細部調整。
154	64	—	SK32501	—	石器	3.7	5.2	0.8	7.5	石片	完形。黒化著しく、種類不明瞭。刃部：片刃。深形細部調整。
155	64	—	SK32001	—	刮削器	4.0	5.8	1.2	26.5	石片	完形。背面：齊歛加工。刃部：無底片断痕あり。基底終端に一部自然面残す。
156	64	—	SK32001	—	刮削器 石斧	11.8	4.8	1.0	60.3	石片	直型。大規模擴長片断材。背部：齊歛加工。刃部：無底片断。横面側片素材。側面：一部に使用痕あり。
157	64	—	SK32001	—	刮削器 石斧	6.3	6.8	1.7	60.4	石片	基底折断。刃部：主な表面を浅形細部調整。基底堅膜。
158	64	—	SK32001	—	大型刮刀 石斧	8.6	7.7	5.5	590.6	角閃石石英	直底～一部欠損。基底面・側面：使用痕あり。両面：敲打痕あり、鋸き石に転用。
159	64	—	SK32009	—	刮削器 —?	2.5	4.0	0.8	12.9	石片	横面片断材。3部柄折損。刃部一部残存。両面：浅形細部調整。
160	64	—	SK32018	—	石器	1.0	1.2	0.4	0.5	石片	圓弧式。端先：基底折断。両面：浅～深形細部調整。
161	64	—	SK32518	—	大型刮刀 石斧	8.6	8.0	3.8	306.4	玄武岩	基底折断。刃部：著しく崩壊。両側刃：番折時での使用痕あり。
162	64	—	SK32222	—	石器	2.0	1.2	0.2	0.4	石片	圓弧式。完形。両面：浅形細部調整。
163	64	—	SK32222	—	石器	1.0	1.4	0.3	0.4	石片	圓弧式。完形。画面：浅形～深形細部調整。
164	64	—	SK32222	—	石器	2.7	1.9	0.4	1.1	石片	圓弧式。尖先折損。直底欠損。両面：浅形～深形細部調整。
165	64	—	SK32222	—	石器	2.7	1.6	0.5	1.4	石片	圓弧式。直底。両面：深形細部調整。
166	64	—	SK32222	—	石器	1.9	1.1	0.3	0.7	石片	凸底1型。先端削損。両面：浅形～深形細部調整。
167	64	—	SK32222	—	石器	3.3	1.3	0.3	1.6	石片	横面片断材。画面：一部に浅形細部調整。画面：浅形～深形細部調整。
168	64	—	SK32222	—	石器	3.7	1.6	0.5	2.3	石片	直型。一部欠損。両面：一部を浅形細部調整。
169	64	—	SK32222	—	石器	2.0	1.0	0.4	0.7	石片	基底折断。両面：浅形細部調整。
170	64	—	SK32222	—	刮削器	2.9	4.0	0.7	8.3	石片	完形。1側刃が自然崩れで構成。画面刃部：一部を深形細部調整。裏面刃部：深形細部調整。
171	64	—	SK32566	—	石器	1.2	0.9	0.3	0.4	石片	凸底1式A。先端削損。両面：横形細部調整。
172	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.0	1.6	0.3	0.7	石片	圓弧式。先端削損。両面：横形細部調整。
173	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.4	2.0	0.4	1.8	石片	圓弧式。完形。両面：横形細部調整。
174	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.5	1.8	0.3	1.2	石片	圓弧式。基底一部欠損。両面：横形～深形細部調整。
175	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.5	1.8	0.4	1.0	石片	圓弧式。完形。両面：横形～深形細部調整。
176	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.4	2.0	0.4	1.4	石片	圓弧式。先端削損。両面：横形～深形細部調整。側壁：斷面状。
177	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.9	1.8	0.5	1.5	石片	圓弧式。完形。両面：横形～深形細部調整。
178	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.9	1.5	0.5	1.7	石片	基底折断。両面：浅形～深形細部調整。
179	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	2.0	1.2	0.4	1.1	石片	凸底1式。完形。両面：浅形細部調整。
180	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	3.0	1.4	0.6	2.3	石片	凸底1式。先端削損。両面側刃：深形細部調整。基底：未洗浄。
181	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器 骨制品	2.4	1.2	0.3	0.8	石片	横面片断材。側刃と切先の一部を浅形細部調整。
182	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器 骨制品	2.3	1.4	0.4	1.1	石片	一部欠損。両面：一部に浅形～深形細部調整。
183	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	3.7	1.3	0.6	2.6	石片	直底。先端、両面：深形細部調整。作用部先端：斜め折れ。
184	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	4.6	3.3	0.7	11.3	石片	直底。一部折れ。先端：摩耗。両面：横形細部調整。左側刃に自然面を残す。
185	65	B4	■■■	瑞士上 层土	石器	5.9	2.0	0.7	7.3	石片	直底片断材。一側欠損。刃部：片刃。表面刀部：一部に浅形細部調整。裏面刃部：浅形細部調整。
186	65	B4	■■■	瑞士上 层土	尖頭器	4.9	2.4	1.0	10.4	石片	直底のみ残存。基底部折断。側面：横形細部調整。側壁：断面状。
187	65	B4	■■■	瑞士上 层土	刮削器 石包	4.2	3.6	0.8	12.5	石片	一部残存。背部：齊歛加工。刃部背面：浅形細部調整。導誠。
188	65	B4	■■■	瑞士上 层土	刮削器 —?	3.1	2.0	1.3	9.5	石片	直底刃部折損。刃部片面：浅形細部調整。

石器觀察表 (5)

標本 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	器種	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考	
										直立 状態	倒伏 状態
189	65	B4	墓場	埋土上層	石刀	3.7	2.9	0.7	4.8	*131)	両側山折根。刃部両面：浅形削詰調整。掌底。
190	65	B4	墓場	埋土上層	石刀	3.9	6.3	1.0	23.8	*131)	両面削片素材。尖形、五形。表面：強く摩耗。
191	65	B4	墓場	埋土中層	MP	3.4	5.5	0.6	12.5	*131)	長長い片断材。尖形、斜片の鋭利な端部に微細削痕あり。
192	65	B4	墓場	埋土上層	打制石斧	7.3	5.2	1.8	80.2	*131)	基部折損。両側面：横凹。刃部：掌底。
193	65	B4	墓場	埋土上層	MP	5.6	5.4	0.8	15.7	*131)	正形。斜片の鋭利な側面に端部に微細削痕あり。
194	65	B4	墓場	埋土上層	刮削片	3.6	2.6	2.0	12.4	*1+1	尖形。背面に自然面を残す。両面往復によって斜片を削離か。
195	66	B4	墓場	埋土中層	磨製石器	2.9	1.1	0.3	1.4	*131)	正形。両面：中央に弱い核を持つ。切欠：扁平側内に調整。
196	66	B4	墓場	埋土中層	石器	1.6	1.5	0.3	0.6	*131)	基底式。正形。両面：横形削詰調整。側越足：今少擦痕。
197	66	B4	墓場	埋土中層	石器	1.3	1.5	0.4	0.7	*131)	基底式。半分折損。両面：浅形～深形削詰調整。
198	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.0	1.7	0.3	1.0	*131)	基底式。尖形。両面：浅形削詰調整。
199	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.1	1.5	0.3	0.8	*131)	基底式。尖形。表面：平行～深形削詰調整。裏面：側溝形～浅形削詰調整。
200	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.3	1.6	0.3	0.9	*131)	基底式。尖形。両面：浅形削詰調整。
201	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.4	1.6	0.3	0.8	*131)	基底式。尖形。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：浅形削詰調整。
202	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.5	1.5	0.3	1.1	*131)	基底式。正形。両面：浅形～深形削詰調整。
203	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.9	1.6	0.5	1.3	*131)	基底式。正形。両面：複数形～深形削詰調整。両側面：擦痕〇。
204	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.8	1.7	0.4	1.2	*131)	基底式。尖形。切先が鋭い。両面：浅形削詰調整。
205	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.6	1.9	0.6	2.2	*131)	基底式。切先折損。表面：浅形削詰調整。裏面：横形削詰調整。一底木剥離。
206	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.3	1.5	0.3	1.0	*131)	基底式。正形。両面：浅形～深形削詰調整。
207	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.5	1.5	0.4	1.7	*131)	基底式。底部一底丸く。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：浅形削詰調整。
208	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.5	2.0	0.5	2.3	*131)	基底式。切先折損。側面：縦面状。表面：複数形～深形削詰調整。裏面：複数形～深形削詰調整。
209	66	B4	墓場	埋土中層	石器	4.0	1.9	0.3	2.4	*131)	基底式。尖形。両面：浅形削詰調整。
210	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.9	2.1	0.6	3.2	*131)	基底式。基底の一部を欠く。表面：浅形削詰調整。裏面：浅形～深形削詰調整。
211	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.9	2.1	0.4	2.7	*131)	基底式。正形。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：複数形～浅形削詰調整。
212	66	B4	墓場	埋土中層	石器	1.9	1.5	0.3	0.7	*131)	基底式。正形。両面：複数形～深形削詰調整。
213	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.2	1.4	0.3	1.0	*131)	平底式。正形。両面：複数形～深形削詰調整。
214	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.7	1.7	0.3	1.3	*131)	平底式。一底欠損。両面：浅形～深形削詰調整。
215	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.1	1.8	0.5	2.5	*131)	平底式。正形。両面：浅形～深形削詰調整。
216	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.0	1.7	0.4	1.3	*131)	平底式。半分折損。表面：複数形～深形削詰調整。裏面：複数形～浅形削詰調整。
217	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.7	1.8	0.4	1.6	*131)	平底式。正形。両面：複数形～浅形削詰調整。
218	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.5	2.5	0.5	4.5	*131)	平底式。切先折損。両面：浅形～深形削詰調整。
219	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.6	1.2	0.3	0.9	*131)	内底I式。尖形。表面：複数形～深形削詰調整。基底木剥離。裏面：一部を複数形削詰調整。
220	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.3	1.1	0.3	0.9	*131)	内底I式。正形。両面：複数形～浅形削詰調整。
221	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.6	1.1	0.3	1.0	*131)	内底I式。正形。両面：浅形削詰調整。
222	66	B4	墓場	埋土中層	石器	1.9	1.2	0.4	0.9	*131)	内底I式。半分折損。両面：浅形削詰調整。
223	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.8	1.5	0.4	2.0	*131)	内底I式。正形。両面：浅形削詰調整。
224	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.4	1.7	0.4	2.1	*131)	内底I式。切先折損。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：複数形～深形削詰調整。
225	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.2	1.0	0.4	1.2	*131)	内底I式。正形。両面：浅形削詰調整。
226	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.7	1.4	0.4	1.7	*131)	内底II式。正形。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：浅形削詰調整。
227	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.4	1.5	0.2	1.2	*131)	基底・切先折損。表面：浅形削詰調整。裏面：一部を複数形～浅形削詰調整。
228	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.1	2.2	0.5	2.7	*131)	基底折損。両面：複数形削詰調整。石器木製品の可能性あり。
229	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.6	1.5	0.4	1.2	*131)	裏面：一部に浅形削詰調整。裏面：切先付近の一底側面に複数形削詰調整。
230	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.8	1.5	0.4	1.4	*131)	両面削片素材。裏面：一部を複数形～浅形削詰調整。
231	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.4	1.6	0.7	3.1	*131)	正形。右側面欠損。両面：複数形～深形削詰調整。裏面：一部を調査。
232	66	B4	墓場	埋土中層	石器	2.4	1.6	0.5	2.4	*131)	体部の既存。両面：複数形～深形削詰調整。
233	66	B4	墓場	埋土中層	石器	4.0	1.7	0.5	2.9	*131)	両面削片素材。両面：1側面を急角度の複数形削詰調整。
234	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.6	1.3	0.6	2.5	*131)	1側面折損。基底：自然面。表面：浅形～深形削詰調整。裏面：浅形削詰調整。
235	66	B4	墓場	埋土中層	石器	3.2	2.2	0.6	4.5	*131)	基底・両側面の一部を折損。1側面削詰調整。切先も剥離。

石器觀察表(6)

標本 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	層種	最高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
236	66	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.2	2.4	0.6	4.7	*131	一部欠損。切先・基部折損。両面：浅形側面調整。
237	66	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.2	2.2	0.4	3.0	*131	横長削片素材。側刃と基部の一部を浅形側面調整。切先不整。
238	66	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.4	1.9	1.0	7.5	*131	体部のみ残存：両面：浅形側面調整。左側刃：一部摩滅。
239	66	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	0.8	1.8	0.7	7.4	*131	正形、両面：浅形側面調整。一部二重ハサみあり。黄色石器か。
240	66	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.7	4.4	1.2	14.1	*131	一端欠損。フツク面：自然面両存。表面：浅形側面調整。裏面：両面～深形側面調整。体部に木材留め柱。
241	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	2.9	1.6	0.6	2.1	*131	直角。立形、両面：浅形側面調整。切丸左側面：擦痕あり。
242	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	5.0	1.4	0.7	4.0	*131	直角。立形、両面：浅形側面調整。裏面に大きく自然面を残す。
243	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	5.2	2.8	0.8	8.7	*131	直角。一端欠損。横長削片素材。切丸両面：浅形側面調整。基部左側刃：側面側面あり。
244	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	1.8	2.6	0.5	1.9	*131	1箇、表面側面。両面：浅形側面調整。
245	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.5	3.3	0.8	11.7	*131	一部残存。背面：一端折損。背面加工なし。直角両面：浅形～深形側面調整。裏面両面：浅形側面調整。
246	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.7	3.3	1.0	17.1	*131	直角折損。背面：背面加工なし。直角両面：浅形側面調整。側刃：折損面に側面側面。
247	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.9	4.4	0.9	20.9	*131	横長削片材。背面：背面加工。被覆となり。刃部両面：浅形側面調整。
248	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.7	4.0	0.9	17.1	*131	1側刃の直角。背面：背面加工。裏面両面：浅形側面調整。一部未調査。裏面両面：浅形～深形側面調整。裏面全体：直角。
249	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	8.2	3.2	1.1	41.9	*131	大型横長削片素材。一端欠損。裏面両面：浅形側面調整。直角側面：直角側面あり。裏面両面：直角。
250	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	11.2	3.8	1.3	61.0	*131	大型横長削片素材。一端欠損。背面：背面加工。裏面両面：被覆形状～浅形側面調整。裏面側面：直角。
251	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	13.9	3.7	1.4	91.9	*131	大型横長削片素材。一端欠損。背面：背面加工。裏面両面：被覆形状～浅形側面調整。裏面側面：直角。
252	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	2.8	5.0	0.5	9.7	*131	横長削片材。両側面削損。背面：背面加工。刃部両面：一部を浅形側面調整。
253	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	2.8	6.2	0.6	8.2	*131	横長削片材。完形。背面：一端背面加工。裏面両面：浅形～深形側面調整。一部未調査。裏面両面：一部に直角側面～浅形側面調整。
254	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.0	2.5	1.3	24.6	*131	横長削片材。完形。背面：背面加工。裏面両面：一部を直角側面調整。
255	67	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.9	3.8	1.4	29.0	*131	1側刃折損。背面：1側刃直角面。刀部両面：浅形～深形側面調整。
256	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.8	4.0	0.7	8.0	*131	横長削片材。背部：直角。両面刃辺：刃部の鋸歯状側刃に直角側面調整。
257	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.3	3.6	0.8	9.0	*131	直角折損。背面：背面加工なし。直角両面：一部に浅形側面調整。直角側面：直角側面あり。裏面両面：直角。
258	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.4	4.5	0.9	13.0	*131	1側刃折損。背面：折損面を直面に調整。刃部両面：浅形～深形側面調整。
259	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.3	5.2	0.7	12.3	*131	横長削片材。完形。背面：直角。両面両面：直角側面～直角側面調整。
260	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.0	3.0	0.8	11.7	*131	横長削片材。直角。背面：直角。両面両面：直角側面～直角側面調整。
261	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.0	3.2	1.2	21.4	*131	背面：1側刃折損。刀部両面：直角側面～直角側面調整。直角側面：直角側面あり。
262	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	5.6	8.0	1.4	44.1	*131	直形、両側刃に両部を形成。刀部両面：直角側面～直角側面調整。直角。
263	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	5.9	6.2	1.0	26.9	*131	直形。刀部：刃片の狭い部分に両面直形側面調整。
264	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	4.7	9.6	1.6	51.2	*131	横長削片材。完形。背面：直角。背面：直角側面～直角側面調整。直角側面：直角側面あり。
265	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	9.5	5.9	1.7	142.4	*131	横長削片材。完形。背面：直角。直角側面：直角側面～直角側面調整。直角側面：直角側面あり。
266	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.6	3.6	0.9	13.0	*131	刀部のみ残存。両側刃：直角。刀部先端：直角。両面両面：全体に直角。
267	68	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	5.5	4.3	1.0	32.1	*131	直形、直角、端面、両側刃に直角側面あり。全体的に直角。
268	69	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	10.0	6.0	3.0	301.1	宝山岩	直角～体部直角。一端に調整直角。
269	69	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	6.4	5.8	2.6	142.1	片端	結晶底ののみ残存。一端に調整直角あり。石材：藍銅石衣付。
270	69	B4	墓室	埋土中層	石器 木製	3.6	3.1	2.9	29.1	*131	刀部のみ残存。両側刃：直角。直角側面：直角側面あり。
271	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.0	3.4	0.2	0.6	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
272	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	1.9	1.5	0.3	0.8	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
273	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.3	1.2	0.4	1.1	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
274	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.4	1.8	0.2	0.9	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
275	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.6	1.8	0.5	1.4	*131	直角底。直角底～1端欠損。両面：直形～直形側面調整。
276	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.3	1.2	0.4	1.2	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
277	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.4	1.7	0.3	1.1	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
278	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.3	1.2	0.4	1.1	*131	平基式（今矢五重形状）。直角。側刃：直角底。両面：直形～直形側面調整。
279	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	2.9	1.6	0.5	1.8	*131	直角底。直形、両面：直形～直形側面調整。
280	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	3.8	1.5	0.5	2.8	*131	内蓋1式。直角。両面：直形～直形側面調整。
281	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	1.7	1.4	0.2	1.2	*131	内蓋1式。両面：浅形側面調整。直角底：直角。
282	70	B4	墓室	埋土下層	石器 木製	3.0	1.4	0.3	1.6	*131	内蓋1式。切先折損。両面：直形～直形側面調整。

石器觀察表(7)

地點 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	層幅	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
283	70	B4	■層	埋土下部	石器	2.8	1.3	0.4	1.5	■石斧	内基 I 式。基部一部欠損。両面：浅形～深形細部調整。
284	70	B4	■層	埋土下部	石器	2.7	2.5	0.3	2.2	■石斧	両面：浅形細部調整。一部未調整。両面：～浅形細部調整。説明：木製柄、茎部：骨頭。
285	70	B4	■層	埋土下部	石器	3.5	3.0	0.6	9.5	■石斧	内基 I 式。基部一部欠損。両面：深形細部調整。裏面部分：一端のみ調整。ツマミ挟り：両面大きさ一體の加工痕あり。
286	70	B4	■層	埋土下部	石器	4.7	3.2	0.7	22.4	■石斧	横浜片削材。完形。両面両刃：浅形～深形細部調整。微細削離痕あり。
287	70	B4	■層	埋土下部	石器	3.7	6.8	1.1	27.0	■石斧	両面調整。背部：背面加工。刀部：厚壁。
288	70	B4	■層	埋土下部	打制石器	5.6	3.7	1.2	21.0	■石斧	両面のみ残存。両面：無い調整。刀部：やや厚壁。表面仕上げ：一部使用痕あり。
289	71	B5	■層	埋土上部	打制石器	10.0	5.0	1.3	70.9	■石斧	大型横浜片削材。先刃。背部：青霞加工。刃部：微細削離痕あり。体部：使用痕あり。刃部：使用痕なし。刃部再生か。
290	71	B5	■層	埋土上部	打制石器	11.4	4.3	1.2	63.8	■石斧	大型横浜片削材。先刃。両面に挟りあり。背面：青霞加工。刃部：微細削離痕あり。体部：使用痕あり。
291	71	B5	■層	埋土上部	石器	3.6	6.8	1.0	33.4	■石斧	横浜片削材。両面：両面調整。微細削離痕あり。背部：横断面を刃面に調整。
292	71	B5	■層	埋土上部	石器	4.3	5.3	0.6	13.0	■石斧	半分欠損。刃部：両面調整。微細削離痕あり。I側面：折損。
293	71	B5	■層	埋土上部	大型打制石器	11.6	7.2	4.0	62.6	玄武岩	両面欠損。全体に紙打痕。一部に研磨痕を確認。
294	71	B5	■層	埋土上部	石器	11.6	14.4	10.8	2550.0	砂岩	芯形。表面複雑の自然石の頂面に、明確な棒状部と上面折れ線打痕を確認。根拠、説明。
295	72	B5	■層	埋土下部	石器	10.0	8.5	2.4	850.3	砂岩	一部破壊。底面：2面。直角。
296	72	B5	■層	埋土下部	石器	5.0	6.7	3.8	162.0	砂岩	一部欠損。一部に紙打痕あり。
297	73	B5	■層	埋土下部	石器	2.1	1.1	0.3	0.6	■石斧	内基 I 式。完形。両面：浅形～深形細部調整。
298	73	B5	■層	埋土下部	打制石器	4.7	3.6	0.9	16.5	■石斧	一部破壊。背部：背面加工。刃部：両面浅形～深形細部調整。微細削離痕あり。无关係あり。
299	73	B5	■層	埋土下部	打制石器	5.1	3.9	0.9	16.5	■石斧	一部折損。背部：背面加工。刃部：片刃、厚壁。微細削離痕あり。光沢痕あり。
300	73	B5	■層	埋土下部	打制石器	9.5	4.3	1.1	45.3	■石斧	大型横浜片削材。先刃。背部：青霞加工。刃部：薄壁。微細削離痕あり。光沢痕あり。
301	73	B5	■層	埋土下部	石器	4.8	6.7	1.1	35.5	■石斧	横浜片削材。半分欠損。刃部：両刃。無い浅形細部調整。
302	73	B5	■層	埋土下部	石器	2.6	4.0	0.8	7.1	■石斧	完形。両面両面：横断面剥離痕あり。
303	73	B5	■層	埋土下部	石器	5.5	5.0	0.8	24.7	■石斧	完形。両面：両面浅形細部調整。微細削離痕あり。
304	73	B5	■層	埋土下部	石器	3.9	4.5	0.6	10.2	■石斧	完形。両面：両面浅形細部調整。微細削離痕あり。
305	73	B5	■層	埋土下部	石器	6.1	5.9	0.9	27.1	■石斧	完形。両面：両面浅形細部調整。厚壁。微細削離痕あり。
306	73	B5	■層	埋土下部	石器	2.8	4.7	1.1	20.8	■石斧	完形。両面両面：浅形～深形細部調整。微細削離痕あり。
307	73	B5	■層	埋土下部	石器	3.5	7.2	0.9	20.4	■石斧	横浜片削材。完形。両面両面：一部に両面細部調整。
308	73	B5	■層	埋土下部	石器	3.6	3.9	0.8	11.5	■石斧	完形。両面両面：両面細部調整。一部未調整。微細削離痕あり。
309	73	B5	■層	埋土下部	石器	3.6	5.8	1.2	25.9	■石斧	完形。両面：無い両面調整。微細削離痕あり。
310	73	B5	■層	埋土下部	打制石器	6.3	3.7	1.2	35.9	■石斧	完形。無い両面調整で成形。両面：浅形細部調整。微細削離痕あり。一部に自然面を残す。
311	74	C3	■層	埋土上部	石器	3.1	2.4	0.3	1.7	■石斧	内基 I 式。基部一部折損。両面：浅形細部調整。
312	74	C3	■層	埋土上部	石器	3.0	2.3	0.5	2.4	■石斧	平底式。初先、基部一部折損。両面：浅形～深形細部調整。
313	74	C3	■層	埋土上部	石器	1.9	1.2	0.4	0.8	■石斧	内基 I 式。初期折損。両面：浅形～深形細部調整。
314	74	C3	■層	埋土上部	石器	2.8	3.0	0.7	4.7	■石斧	1 様。作用部分折損。両面：浅形細部調整。
315	74	C3	■層	埋土上部	石器	3.2	3.0	1.1	8.5	■石斧	2 様。作用部分折損。表面：微細削離痕。裏面：一端浅形細部調整。自然面あり。
316	74	C3	■層	埋土上部	石器	4.0	2.0	0.5	2.4	■石斧	1 様。作用部分先折損。両面：浅形～深形細部調整。
317	74	C3	■層	埋土上部	石器	2.6	3.4	1.0	11.6	■石斧	一部折損。刃部：横断面剥離痕あり。側面部：拳滅痕あり。打製石斧の可能性あり。
318	74	C3	■層	埋土上部	打制石器	7.0	4.0	1.5	42.1	■石斧	斧形に無い調整。刃部：厚壁。両側面：粗面を残す。
319	74	C3	■層	埋土上部	打制石器	5.3	5.2	1.1	35.1	■石斧	横浜片削材。半分西面。背面：背面加工。両面両面：微細削離痕あり。
320	75	C3	■層	埋土中層	石器	1.8	1.4	0.3	0.6	■石斧	平底式。完形。両面：浅形～深形細部調整。裏面：深形細部調整。
321	75	C3	■層	埋土中層	石器	3.3	1.6	0.5	2.5	■石斧	内基 I 式。初先折損。両面：深形細部調整。
322	75	C3	■層	埋土中層	石器	1.9	1.7	0.6	1.8	■石斧	初先、基礎折損。両面：一端浅形細部調整。裏面：浅形～深形細部調整。
323	75	C3	■層	埋土中層	石器	2.2	1.4	0.4	1.3	■石斧	横浜片削材。先端折損。両面：浅形細部調整。
324	75	C3	■層	埋土中層	尖形器	5.4	3.4	0.9	13.0	■石斧	一部欠損。表面：浅形～深形細部調整。裏面：一部に調整あり。黒化が見られる。
325	75	C3	■層	埋土中層	石器	3.1	4.2	1.1	10.5	■石斧	3 様辺折損。刃部両面：浅形細部調整。微細削離痕あり。
326	76	C3	■層	埋土下部	石器	1.6	1.7	0.3	0.6	■石斧	内基式。基部一部欠損。両面：浅形～深形細部調整。
327	76	C3	■層	埋土下部	石器	2.9	1.6	0.5	0.8	■石斧	内基式。基部一部欠損。両面：浅形～深形細部調整。
328	76	C3	■層	埋土下部	石器	3.1	2.2	0.5	3.0	■石斧	平底式。初先、基部一部折損。両面：浅形～深形細部調整。全体に磨滅。
329	76	C3	■層	埋土下部	石器	2.6	1.3	0.4	1.1	■石斧	平底式。完形。両面：浅形細部調整。側面：やや磨滅。

石器觀察表(8)

標本 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	標種	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
330	76	C2	墓場	埋土下部	石刀	3.7	2.2	0.6	10.1	*331	複合剖片材。刃片の鋸歯状1側面に複数形態調節を施す。刀部磨滅。
331	76	C2	墓場	埋土下部	石刀	3.4	2.9	0.6	7.7	*331	半分折鉈。大型複合剖片材。背面：背溝加工。刃部：複数形態調節、磨滅。使用痕あり。
332	76	C2	墓場	埋土下部	石刀	3.4	2.9	0.6	9.7	*331	半分折鉈。大形複合剖片材。背面：背溝加工。刃部：複数形態調節、磨滅。使用痕あり。
333	76	C2	墓場	埋土下部	石小刀	2.9	2.4	1.0	16.7	*331	類似。複合剖片材。刃部両面：浅形～深形細部調節。
334	76	C2	墓場	埋土下部	石刀	4.9	3.3	0.7	10.4	*331	複合剖片材。自然断面。刃片端部：折損。1側面に複数形態調節で刀部を整頓。
335	76	C2	墓場	埋土下部	打削石	5.5	4.6	1.4	48.5	*331	複合剖片材。茎部：斧柄。両側刃：明瞭な挫痕。両面：無い。刮擦。
336	77	C2	墓場	埋土下部	大型切端片石	14.4	8.0	5.1	1024.3	*331	刃部：折鉈。体部：被打のち一部研磨。
337	77	C2	墓場	埋土下部	砾石	12.4	4.8	1.6	190.3	砾石冠	一端欠損。係かに圓状孔あり。
338	77	C2	墓場	埋土下部	磨き石	6.5	2.4	5.3	416.3	圓形前	円錐状。角閃石を多量に含む。明瞭な風打感は認められない。
339	77	C2	墓場	埋土下部	砾石	9.5	6.3	6.6	425.4	砂鉄	一端後打。底面：4面。一試強く叩ひ。被熱。
340	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	3.0	1.4	0.4	1.9	*341	基底欠損。両面：複数形～複数形細部調節。
341	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	2.5	1.6	0.4	1.2	*341	平基式。刃形。両面：浅形～深形細部調節。
342	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	2.3	1.2	0.4	1.0	*341	内基I式。刃形。両面：浅形～深形細部調節。
343	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	2.3	1.2	0.4	1.1	*341	内基II式。刃形。両面：浅形～深形細部調節。
344	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	4.1	2.7	0.6	6.0	*341	I型。末端部折損。両面：頂部の一帯・茎部を浅形～深形細部調節。
345	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	3.7	2.1	0.6	3.2	*341	I型。完形。両面：浅形細部調節。
346	78	C4	墓場	埋土上部	石鏟	6.0	3.5	0.4	2.7	*341	末端底。基底折損。表面：複数形～複数形細部調節。裏面：一部複数形～複数形細部調節。
347	78	C4	墓場	埋土上部	石刀	3.8	6.2	1.2	22.3	*341	完形。両面：刃片の斜状な端部の一部に複数形細部調節。
348	78	C4	墓場	埋土上部	打削石	5.1	4.8	1.3	43.4	*341	基底・左側刃一端折鉈。右側刃：潰れ。刃部：潰れ。厚減。
349	78	C4	墓場	埋土上部	磨き石	16.0	2.9	3.5	987.8	砂鉄	完形。自然石の一部に強い風打あり。
350	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	1.9	1.4	0.4	0.7	*341	刃基式。切先折鉈。茎部一端折鉈。両面：深形細部調節。
351	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.0	1.6	0.2	0.7	*341	刃基式。完形。両面：浅形～深形細部調節。
352	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.1	1.6	0.4	0.9	*341	刃基式。完形。両面：浅形～深形細部調節。
353	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.5	1.7	0.4	0.9	*341	刃基式。切先折鉈。両面：浅形～深形細部調節。
354	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.2	1.7	0.4	1.1	*341	刃基式。切先折鉈。両面：浅形～深形細部調節。
355	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.4	1.0	0.3	0.6	*341	刃基式。完形。両面：深形細部調節。無縫部：今吹紫状。
356	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.9	1.5	0.3	1.0	*341	刃基式。完形。側縫部：側面。両面：浅形～深形細部調節。
357	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.5	1.7	0.5	1.2	*341	刃基式。完形。両面：深形細部調節。無縫部：暗赤色。
358	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.0	1.3	0.2	0.7	*341	刃基式。茎部一面折鉈。両面：浅形～深形細部調節。
359	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.6	1.8	0.4	1.7	*341	刃基式。先端尾折鉈。両面：浅形～深形細部調節。
360	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	3.0	1.4	0.3	1.0	*341	刃基式。完形。両面：深形細部調節。裏面：浅形～深形細部調節。
361	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.1	1.3	0.3	0.8	*341	平基式。完形。茎部：側縫部。両面：浅形～深形細部調節。
362	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	1.8	1.9	0.4	1.7	*341	平基式。切先折鉈。裏面：複数形～複数形細部調節。
363	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.4	1.6	0.2	1.2	*341	平基式。完形。側縫部：側面。両面：深形～複数形細部調節。
364	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.7	1.4	0.3	1.2	*341	平基式。切先折鉈。裏面：複数形～複数形細部調節。
365	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.6	1.3	0.4	1.3	*341	内基I式。完形。両面：一部に複数形細部調節。
366	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.4	1.4	0.3	1.0	*341	内基II式。切先折鉈。裏面：複数形～複数形細部調節。
367	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.7	1.3	0.5	1.6	*341	内基I式。切先折鉈。裏面：複数形～複数形細部調節。
368	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.2	1.5	0.2	1.0	*341	アメリカ式。完形。側縫部：側面。両面：複数形～複数形細部調節。
369	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.5	1.3	0.7	2.6	*341	基底折鉈。両面：複数形～複数形細部調節。風化が著しい。
370	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	1.8	1.2	0.3	0.5	*341	切先のみ残存。両面：複数形～複数形細部調節。
371	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.9	1.8	0.6	2.7	*341	完形。素材剝片側刃部の一部に複数形～複数形細部調節。
372	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	3.8	1.9	0.6	3.5	*341	完形。両面一帯：複数形細部調節。右側刃：魚鱗状調節。
373	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	3.9	4.7	0.9	13.3	*341	1型。作用部折鉈：側面作用部：複数形細部調節。背面：二重バテナ。
374	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	3.1	2.9	0.9	6.1	*341	1型。作用部折鉈。両面複数形細部調節。削落部：自然面で構成。
375	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	2.7	1.6	0.3	1.1	*341	側縫部：作用部折鉈。
376	79	C4	墓場	埋土中部	石鏟	3.4	1.1	0.7	2.7	*341	側縫部。両面：複数形細部調節。

石器観察表(9)

石器 番号	標本 番号	地区	遺物	層位	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石刃	備考	
											先端部形状	裏面
377	79	C4	■■■	埋土 中層	尖端 石器	4.2	3.0	0.7	7.4	■32(1)	先端部折損。裏面：洗形～深形細部調整。	
378	79	C4	■■■	埋土 中層	打削 石器	4.4	2.7	1.1	15.6	■32(2)	裏面のみ残存。裏面：圓形～深形細部調整。	
379	79	C4	■■■	埋土 中層	尖端 石器	4.3	3.1	1.2	20.0	■32(3)	裏面のみ残存。裏面：細い枝状～深形細部調整。右側邊：一部擦傷あり。左側肉厚：挫痕あり。	
380	79	C4	■■■	埋土 中層	ノツチ	6.3	2.9	0.8	13.9	■32(4)	右側辺：一部折損。裏面：洗形細部調整。執り部分：摩滅。	
381	79	C4	■■■	埋土 中層	■79(1)~	3.1	2.9	0.6	9.0	■32(5)	側面切削痕。背面：背面加工。刃部裏面：洗形細部調整。厚底。	
382	79	C4	■■■	埋土 中層	■79(2)~	3.4	6.7	0.6	21.6	■32(6)	機械剥片素材。基部：鋸齒。刃部裏面：極洗形～洗形細部調整。	
383	79	C4	■■■	埋土 中層	■79(3)~	5.4	7.0	1.2	40.8	■32(7)	機械剥片素材。完形。刃部：刃片。無頭剝離痕あり。表面底部：鋸歯化使用痕あり。	
384	79	C4	■■■	埋土 中層	粗狀片刃 石器	6.6	2.9	1.6	48.3	■32(8)	基部～全体の一端残存。一部に調整痕あり。	
385	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.1	1.8	0.3	0.9	■32(9)	凹弧式。基部～一部折損。裏面：深形細部調整。一部未調整。裏面：深形細部調整。	
386	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.5	1.6	0.3	1.1	■32(10)	凹弧式。基部～一部折損。裏面：僅洗形細部調整。裏面：洗形～深形細部調整。	
387	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.6	1.9	0.3	1.6	■32(11)	凹弧式。基部～一部折損。裏面：洗形細部調整。	
388	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.8	1.7	0.4	1.7	■32(12)	凹弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
389	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.8	1.7	0.5	2.0	■32(13)	凹弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
390	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	3.3	2.0	0.4	2.3	■32(14)	凹弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
391	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.6	1.6	0.4	1.3	■32(15)	平弧式。定位。側面部を急角度の調整することで圆形を形成。	
392	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.6	1.5	0.4	1.3	■32(16)	凹弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
393	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.3	1.2	0.3	0.9	■32(17)	平弧式。定位。裏面：洗形細部調整。	
394	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	1.9	1.3	0.4	0.9	■32(18)	平弧式。定位。裏面：深形細部調整。	
395	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.6	1.1	0.4	1.1	■32(19)	凸弧式。定位。裏面：一端洗形細部調整。裏面：洗形細部調整。	
396	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.4	1.3	0.3	0.6	■32(20)	凸弧式。定位。裏面：洗形細部調整。	
397	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	3.9	1.2	0.4	2.0	■32(21)	凸弧式。定位。裏面：洗形細部調整。	
398	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	3.4	1.7	0.5	2.1	■32(22)	凸弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
399	80	C4	■■■	埋土 下層 朱雀島	石器	2.6	1.8	0.4	1.6	■32(23)	機械剥片素材。裏面の一部のみ残存。	
400	80	C4	■■■	埋土 下層	石器	2.7	3.5	1.1	7.5	■32(24)	特形。裏面：深形細部調整。非常に丁寧なつくり。	
401	80	C4	■■■	埋土 下層	尖端不規則	2.9	2.2	0.7	5.2	■32(25)	一部のみ残存。裏面：難い調節。裏面：洗形細部調整。	
402	80	C4	■■■	埋土 下層	打削	5.1	3.4	1.1	25.0	■32(26)	斜傾面。背面：背面加工。刃部：斜傾面細部調整。裏面：鋸歯化痕あり。	
403	80	C4	■■■	埋土 下層	打削	5.0	3.9	0.9	18.1	■32(27)	斜傾面。背面：背面加工。刃部：斜傾面細部調整。	
404	80	C4	■■■	埋土 下層	■79(1)~	3.8	4.3	0.5	8.2	■32(28)	基面折損。斜削の範囲な右側邊に両面研磨洗形～洗形細部調整。	
405	80	C4	■■■	埋土 下層	■79(2)~	3.2	3.5	0.6	7.3	■32(29)	半分折損。刃部裏面：一部を極洗形細部調整。	
406	80	C4	■■■	埋土 下層	■79(3)~	6.2	2.3	0.9	9.9	■32(30)	斜傾面剥片素材。斜傾面切削體。刃部：斜傾面を両面研磨洗形細部調整。	
407	80	C4	■■■	埋土 下層	■79(4)~	3.8	4.7	0.9	13.2	■32(31)	右側刃切削痕。刃部裏面：洗形～深形細部調整。裏面：研磨削痕あり。	
408	80	C4	■■■	埋土 下層	■79(5)~	3.1	5.1	1.1	18.9	■32(32)	右側刃切削痕。右側刃切削痕。背面：背面加工。刃部裏面：洗形～洗形細部調整。	
409	80	C4	■■■	埋土 下層	打削	9.1	4.6	1.7	89.5	■32(33)	丸形。丸形～両面調整。底面：刃部裏面：裏面を研磨化。裏面：一部を斜め状に削痕あり。	
410	80	C4	■■■	埋土 下層	打削	2.0	2.3	0.5	3.2	■32(34)	基面折損。背面：一部に三枚加工。使用痕あり。	
411	80	C4	■■■	埋土 下層 石斧	磨擦	2.3	6.5	4.3	100.8	■32(35)	裏面のみ残存。裏面：最端部：最端部：最も削痕あり。裏面：裏面を研磨化。裏面：刃部裏面：研磨痕あり。	
412	81	C5	■■■	埋土 上層	石器	2.4	1.6	0.4	1.6	■32(36)	凹弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。裏面：洗形研磨在調査。	
413	81	C5	■■■	埋土 上層	石器	2.3	1.8	0.3	1.2	■32(37)	平弧式。定位。裏面：洗形～深形細部調整。	
414	81	C5	■■■	埋土 上層	石器	2.0	1.5	0.3	1.2	■32(38)	先端・基部：折損。裏面：洗形～深形細部調整。	
415	81	C5	■■■	埋土 上層	石器?	4.7	2.1	0.6	5.1	■32(39)	機械剥片素材。先端：背面。裏面：一部を洗形～洗形細部調整。	
416	81	C5	■■■	埋土 上層	石器	3.4	2.6	0.8	5.1	■32(40)	1個。初切・基部・右側近一端：折損。裏面：洗形細部調整。	
417	81	C5	■■■	埋土 上層	石器	7.9	2.7	1.2	15.8	■32(41)	機械剥片素材。左側邊：右側邊に洗形細部調整。右側邊：一部を極洗形～洗形細部調整。	
418	81	C5	■■■	埋土 上層	打削	6.3	3.9	1.2	41.4	■32(42)	左側邊折損。基部：一部大欠損。大型横剥片素材。右側邊：一部を自然崩れと述べ。左側邊：削痕あり。	
419	81	C5	■■■	埋土 上層	■	4.1	5.2	0.8	17.4	■32(43)	背部：折損。刃部：右側邊の範囲な右側邊に研磨削痕あり。	
420	81	C5	■■■	埋土 上層	■79(1)~	3.1	3.9	0.7	8.1	■32(44)	1個刃折損。刃端裏面：洗形～洗形細部調整。厚底。	
421	81	C5	■■■	埋土 上層	■79(2)~	3.4	5.7	0.8	14.7	■32(45)	機械剥片素材。一個刃折損。刃部裏面：洗形細部調整。厚底。	
422	81	C5	■■■	埋土 上層	粗狀片刃 石器	6.9	1.4	2.6	35.2	■32(46)	一部のみ残存。刃端先端：やや擦減。両側辺：裏面底：裏面底あり。	
423	82	C5	■■■	埋土 中層	石器	1.9	1.6	0.4	0.7	■32(47)	凹弧式。基部～一部折損。裏面：洗形～深形細部調整。	

石器觀察表 (10)

器種 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	器種	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
424	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	1.8	3.4	0.2	0.6	*131#	凹基式。完形。表面：浅形～深形微弧調整。裏面：極淺形～淺形微弧調整。
425	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.1	3.9	0.2	0.8	*131#	凹基式。完形。無斷面：圓底狀。表面：極淺形～深形微弧調整。
426	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.4	2.0	0.5	1.7	*131#	凹基式。基部一面折損。表面：淺形～深形微弧調整。
427	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.6	3.0	0.4	1.4	*131#	凹基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。
428	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.1	3.1	0.2	0.3	*131#	凸基式。完形。表面：一部を極浅形～深形微弧調整。
429	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.4	3.1	0.4	1.0	*131#	凸基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。裏面：極淺形～深形微弧調整。
430	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.4	3.7	0.4	2.6	*131#	凸基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。
431	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	3.6	3.9	0.5	2.4	*131#	凸基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。
432	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	1.8	3.1	0.3	0.3	*131#	切先のみ残存。表面：複数形～深形微弧調整。
433	82	C5	墓葬	埋土中层	ノツチ	6.0	2.4	0.7	10.5	*131#	側面削片素材。端部折損。裏面右側に一部折損。
434	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	3.9	4.1	0.4	2.5	*131#	側面削片素材。一部折損。方面：極微形～深形微弧調整。無孔あり。
435	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	2.7	3.3	0.6	5.5	*131#	2側刃。刃幅1.4mm。刃幅2.1mm。自然面。表面：右側刃。複数形～深形微弧調整。厚底。
436	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	4.6	4.9	1.0	12.1	*131#	側面削片素材。刃部の鋭利な端部の一部に極微形微弧調整。
437	82	C5	墓葬	埋土中层	石器	5.8	3.5	1.0	30.0	磨耗	半分欠損。背面：織打痕あり。刃部：一部欠損。体部両面：調整済みあり。裏面：裏側部に鋸刃見出。
438	82	C5	墓葬	埋土下层	石器	2.5	3.2	0.3	0.8	*131#	凸基式。完形。側縫部：鋸齒狀。表面：極浅形～深形微弧調整。
439	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	2.8	3.8	0.2	1.0	*131#	凹基式。基部一面折損。側縫部：鋸齒狀。表面：淺形～深形微弧調整。
440	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.6	3.9	0.3	1.8	*131#	凹基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。裏面：極浅形～深形微弧調整。
441	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	1.6	3.0	0.2	0.5	*131#	平基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。
442	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	2.2	3.5	0.4	1.1	*131#	基部欠損。裏面：深形微弧調整。裏面：一部を極形微弧調整。
443	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	4.1	3.7	0.8	3.1	*131#	凸基式。完形。側縫部：鋸齒狀。表面：極浅形～深形微弧調整。
444	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.1	3.6	0.4	1.4	*131#	凸基式。完形。裏面：切先のみ極形微弧調整。
445	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.9	1.7	0.7	4.3	*131#	凸基式。完形。表面：淺形～深形微弧調整。裏面：極浅形～深形微弧調整。
446	83	C5	墓葬	埋土下层	打制石斧	7.3	3.7	1.0	26.5	*131#	刃部：折損。側斜刃：彎れ、抉りあり。表面：粗、両面滑面。
447	83	C5	墓葬	埋土下层	打制石斧	3.6	2.9	0.7	7.1	*131#	刃部：折損。背面：背溝加工。刃部両面：浅形～深形微弧調整。厚底。両面全体：無孔・光面あり。
448	83	C5	墓葬	埋土下层	打制石斧	3.7	2.8	0.8	8.2	*131#	刃部：折損。背面：背溝加工。刃部両面：浅形～深形微弧調整。厚底。
449	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.7	4.2	1.3	33.7	*131#	後承前刃。刃部：折損。刃部の鋭利な端部、刃面・側面の二次加工を施し、刃部才々。刃部：無頭部の複数刃。
450	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.7	9.4	0.9	37.1	*131#	大型横刃削片素材。右側刃：万刀一部折損。刃部両面：浅形～深形微弧調整。
451	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	1.7	2.9	0.9	9.2	*131#	側面削片素材。刃部：折損。表面に調整あり。刃部：万刃。表面のみ複形微弧調整。
452	83	C5	墓葬	埋土下层	石器	3.7	4.1	0.8	8.7	*131#	側面削片。刃部：折損。刃部：刃部両面：浅形～深形微弧調整。微剝離層あり。
453	83	C5	墓葬	埋土下层	IF	4.6	8.6	1.7	46.7	*131#	端部折損。刃面・右側刃：欠損。刃部：二重加工あり。石材産地：福岡県。薄光。
454	84	C6	墓葬	埋土上层	石器	4.3	3.6	0.6	3.5	*131#	凹基式。完形。表面：浅形～深形微弧調整。裏面：浅形～深形微弧調整。
455	84	C6	墓葬	埋土上层	直立擦	8.0	3.1	0.9	18.7	*131#	大型横刃削片素材。刃部：折損。表面：先端に浅形～深形微弧調整。柄毛木系。裏面：深形微弧調整。一端に「垂」字あり。
456	84	C6	墓葬	埋土上层	打制石斧	5.0	4.6	0.7	14.9	*131#	半分削損。背面：背溝加工。刃部両面：極微形微弧調整。
457	84	C6	墓葬	埋土上层	打制石斧	7.9	5.4	1.1	49.7	*131#	側面削片素材。刃部：折損。裏面：先端に「垂」字あり。裏面：自然。
458	84	C6	墓葬	埋土上层	打制石斧	6.6	7.9	1.8	102.1	*131#	刃部：折損。背面：自然。両側面往復により。刮片を剥離。石材产地：金山区。1.2倍孔。
459	84	C6	墓葬	埋土上层	石器	12.2	13.1	5.6	1300.0	鉛錠	一部残存。裏面：使用感あり。裏面：自然面。
460	85	C6	墓葬	埋土中层	石器	2.3	3.2	0.3	1.2	*131#	平基式。完形。表面：深形微弧調整。
461	85	C6	墓葬	埋土中层	石器	2.3	3.4	0.4	1.3	*131#	凹基式。完形。表面：深形微弧調整。
462	85	C6	墓葬	埋土中层	石器	3.4	4.1	1.2	16.1	*131#	橫抜削片素材。1側刃折損。背面：彎れ。刃部：深形微弧調整。厚底。
463	86	D2	墓葬	埋土下层	石器	9.6	2.7	1.9	112.5	*131#	大型の横抜削片素材。一部欠損。自然面を打面に。長絶削片を剥離。
464	86	D2	墓葬	埋土下层	石器	9.1	9.5	2.3	178.9	*131#	鉛抜削片素材。完形。自然面を打面に。斜片を剥離。
465	87	D3	墓葬	埋土上层	石器	2.6	3.5	0.4	1.9	*131#	凹基式。基部折損。表面：浅形～深形微弧調整。裏面：浅形～深形微弧調整。
466	87	D3	墓葬	埋土上层	石器	3.7	4.0	0.5	13.6	*131#	横長削片素材。半分折損。左側刃：自然面。右刃：一深形微弧形微弧調整。今字厚。
467	87	D3	墓葬	埋土上层	石器	3.0	6.9	1.3	17.4	*131#	横長削片素材。平行。二重バナ。刀部両面：彎れ～深形微弧調整。
468	88	D3	墓葬	埋土中层	石器	3.9	3.7	0.5	2.9	*131#	凸基式。完形。表面：浅形～深形微弧調整。基部半削離。裏面：浅形～深形微弧調整。
469	88	D3	墓葬	埋土中层	石器	3.4	2.7	0.7	5.5	*131#	横抜削片素材。端部折損。表面：浅形～深形微弧調整。
470	88	D3	墓葬	埋土中层	石器	3.4	2.2	0.8	5.9	*131#	1基。基礎部：左側刃：作用削損。表面：深形微弧調整。

石器觀察表 (1)

標本 番号	標本 番号	地区	遺構	層位	器種	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考
471	88	B2	墓場	埋土中層	石器	3.6	2.1	0.9	3,9	*33(1)	1脚。完形。折損部の多い剥片の一端に、複形断面調査。
472	88	B2	墓場	埋土中層	打製石器	4.4	2.2	0.9	11,1	*33(1)	基部折損。両面：粗い断面のうち、複形断面調査。
473	88	B3	墓場	埋土中層	打製石器	4.8	2.6	0.7	8,6	*33(1)	先史のみ残存。両面：複形～複形断面調査。
474	88	B3	墓場	埋土中層	打製石器	2.7	2.6	0.8	6,1	*33(1)	後鼻前部剥材。表面の一部のみ残存。両側面：今や剥れ。両面：複形～複形断面調査。
475	88	B3	墓場	埋土中層	磨擦不明	3.3	2.6	0.8	6,3	*33(1)	複種不明。一部剥離。両面：複形～複形断面調査。一部断面剥離部あり。
476	88	B2	墓場	埋土中層	打製石器 右刃上	6.0	4.7	0.9	33,5	*33(1)	大型横剥片剥材。半分折損。熱りあり。背面：骨質加工。刃面：複形両面；複形断面調査。壁面：使用痕あり。
477	88	B2	墓場	埋土中層	打製石器 左刃上	2.9	4.1	1.0	8,6	*33(1)	側面部の一部のみ残存。背面：骨質加工。刃面：未調査。熱離お跡残り。
478	88	B3	墓場	埋土中層	37% (~)	3.6	3.2	1.1	24,1	*33(1)	後鼻前部剥材。部分削離。背面：剥れ。背面両面：複形断面調査。
479	88	B3	墓場	埋土中層	IF	4,0	8,2	1,0	89,2	*33(1)	複形断面調査。一端欠損。背面：刃部の一部折損。両面：複形～複形断面調査。
480	88	B3	墓場	埋土中層	IF	6,3	8,6	1,0	45,1	*33(1)	複形断面調査。剥片剥材の脱片状の端部に熱離剥離部あり。一部二重バテナあり。
481	89	B3	墓場	埋土下層	石器	1.9	1.6	0,2	0,6	*33(1)	圓底式。切先折損。基部：一度欠損。両面：複形～複形断面調査。
482	89	B3	墓場	埋土下層	石器	2,7	1.4	0,5	1,8	*32(1)	圓底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
483	89	B3	墓場	埋土下層	石器	2,1	1,7	0,4	1,9	*32(1)	内底式。初先欠損。両面：複形断面調査。
484	89	B3	墓場	埋土下層	石器	4,5	3,0	0,8	1,6	*32(1)	圓底式。一端欠損。表面：複形～複形断面調査。裏面：不調整。底面体部：薄削れ。
485	89	B3	墓場	埋土下層	石器	4,7	6,0	1,1	19,7	*32(1)	圓底式。側面：複形～複形断面調査。表面両面：一端複形断面調査。熱離剥離部あり。裏面両面：複形～複形断面調査。
486	89	B3	墓場	埋土下層	打製石器 右刃上	2,2	3,7	0,6	6,0	*32(1)	底部のみ残存。背面：骨質加工。刃部両面：複形断面調査。底部：摩滅。両面体部：バテナ使用痕。
487	89	B3	墓場	埋土下層	打製石器 右刃上	7,1	3,4	0,7	20,7	*32(1)	少分残存。一部欠損。大型横剥片剥材。背面：骨質加工。刃部：複形～複形断面調査。壁面：摩滅。
488	89	B2	墓場	埋土下層	打製石器	3,9	3,4	0,8	13,5	*32(1)	体部のみ残存。両面：複形～複形断面調査。体部に顕著な使用痕あり。打製右刃上部を軋む。
489	89	B3	墓場	埋土下層	複形石器 右刃上	7,2	8,9	1,8	129,0	*32(1)	複形断面調査。側面無折損。下端部：剥離が僅れ。
490	90	B4	墓場	埋土中層	石器	2,2	3,7	0,3	1,0	*33(1)	圓底式。完形。両面：複形断面調査。
491	90	B4	墓場	埋土中層	石器	1,9	1,4	0,2	0,6	*33(1)	圓底式。切先折損。両面：複形断面調査。
492	90	B4	墓場	埋土中層	石器	2,6	2,4	0,4	2,0	*33(1)	圓底式。切先・基部剥離。両面：複形断面調査。
493	90	B4	墓場	埋土中層	石器	3,3	2,1	0,5	2,9	*33(1)	圓底式。基部底一端折損。表面：複形～複形断面調査。
494	90	B4	墓場	埋土中層	石器	2,4	1,1	0,2	0,8	*33(1)	内底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
495	90	B4	墓場	埋土中層	石器	3,1	1,1	0,5	1,8	*33(1)	内底式。完形。両面：複形断面調査。
496	90	B4	墓場	埋土中層	石器 未製品	3,8	1,7	0,7	2,7	*33(1)	切先欠損。両面：粗い複形断面調査。
497	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,6	1,9	0,4	1,4	*32(1)	圓底式。基部一端折損。両面：複形断面調査。
498	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,5	2,0	0,3	1,1	*32(1)	圓底式。切先折損。側面削離。両面：複形～複形断面調査。
499	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,2	1,6	0,3	0,8	*32(1)	圓底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
500	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,6	1,6	0,4	0,9	*32(1)	圓底式。完形。表面：複形断面調査。裏面：一端複形断面調査。
501	91	B4	墓場	埋土下層	石器	1,7	1,5	0,3	0,7	*32(1)	平底式。切先折損。両面：複形～複形断面調査。縦縫合：今や剥離状。
502	91	B4	墓場	埋土下層	石器	3,1	2,4	0,4	3,7	*32(1)	平底式。切先折損。両面：複形～複形断面調査。
503	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,4	1,4	0,4	1,4	*32(1)	平底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
504	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,1	1,4	0,4	0,9	*32(1)	平底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
505	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,5	1,4	0,4	1,0	*32(1)	平底式。完形。表面：複形断面調査。裏面：複形断面調査。
506	91	B4	墓場	埋土下層	石器	1,8	2,3	0,6	2,4	*32(1)	平底式。基部のみ残存。両面：複形～複形断面調査。
507	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,2	1,2	0,4	0,9	*32(1)	基部折損。両面：複形～複形断面調査。
508	91	B4	墓場	埋土下層	石器	4,6	1,7	0,5	2,0	*32(1)	内底式。完形。両面：複形断面調査。
509	91	B4	墓場	埋土下層	石器	3,1	1,2	0,4	1,2	*32(1)	内底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
510	91	B4	墓場	埋土下層	石器	2,6	1,0	0,5	1,0	*32(1)	内底式。完形。両面：複形～複形断面調査。
511	91	B4	墓場	埋土下層	石器	3,2	2,3	0,7	3,4	*32(1)	1脚。完形。両面：複形～複形断面調査。
512	91	B4	墓場	埋土下層	IF	3,4	1,5	0,5	2,8	*32(1)	右側切削部。表面：複形断面調査。裏面：未調査。
513	91	B4	墓場	埋土下層	小形石器 右刃上	4,6	1,5	1,3	16,0	縦縫合 斜縫合	縦縫合。全面を研磨。基部部一端未調査。万角：52度。
514	91	B4	墓場	埋土下層	石器	4,7	3,9	1,2	27,7	記録なし	円錐の下端底部研磨棒。凹みつく。
515	92	B4	墓場	埋土下層	打製石器	5,2	3,7	0,9	16,2	*33(1)	圓底折損。両面：複形～複形断面調査。底面体部：今や剥離。
516	92	B4	墓場	埋土下層	打製石器	5,4	3,3	0,8	17,1	*33(1)	良品のみ残存。打製右刃を削除か。底部に使用痕あり。頭と同一縁目が。
517	92	B4	墓場	埋土下層	打製石器	4,4	2,2	0,8	9,6	*33(1)	圓底のみ残存。両面：複形～複形断面調査。

石器觀察表 (12)

編號 番号	標本 番号	地區	遺構	層位等	器種	最大高 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	石材	備考	
											長	寬
518	92	D4	墓葬	埋土下層	石器	10.7	3.7	0.9	35.2	石器	圓形の石器。圓形刮削器。一面欠損。刃部：淺形側面調整。	
519	92	D4	墓葬	埋土下層	打制 石器	4.4	2.0	0.7	7.9	石器	一部残存。背面：一部拵加工。表面凹凸：浅形～深形側面調整。裏面：背面：複数凹溝、擦痕、削痕あり。	
520	92	D4	墓葬	埋土下層	打制 石器	5.1	2.8	1.1	23.1	石器	一部残存。背面：背面加工。裏面：一部著しく摩滅。その後摩滅。	
521	92	D4	墓葬	埋土下層	石器	6.1	3.1	1.1	20.0	石器	大型横長刮削器。刃部：背面：彎形～浅形側面調整。裏面：厚側面。	
522	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	2.1	1.7	0.4	0.8	石器	圓底式。充形。背面：浅形～深形側面調整。	
523	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	2.7	2.0	0.4	1.6	石器	圓底式。切先欠損。背面：浅形～深形側面調整。	
524	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	4.1	1.6	0.6	3.0	石器	内窓II式。切先欠損。裏面：一部欠損。背面：浅形～深形側面調整。	
525	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	2.6	2.1	0.3	1.5	石器	底部折損。兩面：複数側面調整。	
526	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	2.9	1.8	0.5	2.2	石器	圓底式。左側刃折損。刃部未調整。右側刃：浅形～深形側面調整。	
527	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	1.8	1.8	0.4	1.0	石器	1側刃折損。兩面：一側：複数形～浅形側面調整。	
528	93	B5	墓葬	埋土上層	石器	3.6	2.8	0.9	8.6	石器	2側刃折損。刃面：表面のひねれ形～浅形側面調整。一箇に二重バテナあり。	
529	94	B5	墓葬	埋土中層	石器	1.8	1.9	0.2	0.4	石器	内窓I式。充形。背面：複数面～浅形側面調整。	
530	94	B5	墓葬	埋土中層	石器	2.5	0.9	0.4	0.8	石器	内窓I式。充形。背面：深形側面調整。	
531	94	B5	墓葬	埋土中層	石器	3.7	2.6	0.6	22.9	石器	圓底刮削器。一部欠損。刃部：主に裏面側を複数形～浅形側面調整。	
532	96	B5	墓葬	埋土下層	石器	3.7	1.8	0.4	1.9	石器	圓底式。基部～一部折損。背面：複数形～浅形側面調整。	
533	96	B5	墓葬	埋土下層	石器	2.4	3.2	0.4	1.1	石器	内窓I式。切先折損。背面：浅形～深形側面調整。	
534	96	B5	墓葬	埋土下層 (石臼付)	打制 石器	9.3	3.9	1.1	28.7	石器	大型横長刮削器。刃部：背面：充形。背面：背面加工。刃部：著しく摩滅。	
535	95	B5	墓葬	埋土下層	打制 石器	4.5	4.4	0.8	14.1	石器	背面：兩側刃折損。刃部背面：浅形～深形側面調整。掌誠。	
536	95	B5	墓葬	埋土下層	石器	5.2	2.8	0.9	22.7	石器	圓底刮削器。刃部：表面の鋸歯状な端部に魚鱗剥離跡あり。	
537	96	B5	墓葬	埋土下層	石器	2.3	3.9	0.5	1.7	石器	平底式。充形。背面：浅形～深形側面調整。	
538	96	B5	墓葬	埋土上層	石器	3.7	4.5	2.0	0.9	22.9	石器	圓底刮削器。1側刃折損。背面：背面加工。刃部背面：複数側面調整。側面刃脚あり。
539	96	B5	墓葬	埋土上層	打制 石器	4.5	4.6	1.3	30.6	石器	圓底折損。一部欠損。刃側面：彎形～浅形側面調整。	
540	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	2.0	1.8	0.2	1.0	石器	圓底式。切先・茎部折損。背面：複数側面調整。側縁弧度歪。	
541	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	2.0	1.5	0.3	0.7	石器	圓底式。充形。背面：深形側面調整。	
542	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	3.2	2.9	0.2	1.9	石器	平底式。充形。背面：複数形～深形側面調整。	
543	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	2.3	1.1	0.3	0.7	石器	内窓I式。充形。背面：複数形～深形側面調整。	
544	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	3.1	3.4	0.4	1.3	石器	内窓I式。充形。背面側刃切先：浅形側面調整。基部：一側浅形側面調整。	
545	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	3.8	2.2	0.8	6.4	石器	底底折損。両面：長い浅形～複数側面調整。裏面：背面：複数凹溝あり。	
546	97	E3	墓葬	埋土下層	石器	3.9	2.4	1.0	42.8	石器	圓底刮削器。底盤：自然断面で打削面に剥片を剥離。剥片の端部に急角度の浅形側面調整。刃脚部：側縁剥離跡あり。	
547	98	E3	墓葬	埋土下層	石器	2.0	1.3	0.8	1.5	石器	内窓I式。切先折損。表面：複数形～深形側面調整。	
548	99	E6	墓葬	埋土下層	石器	4.3	2.4	0.6	4.5	石器	内窓I式。切先・茎部折損。背面：複数形～深形側面調整。	
549	99	E6	墓葬	埋土下層	打制 石器	7.1	3.4	1.3	62.0	石器	圓底刮削器。底盤：自然断面で剥離面と刃脚面に側縁剥離。刃脚：刃脚面に側縁剥離。	
550	100	A5	墓葬	埋土下層	石器	1.9	1.2	0.3	0.6	石器	圓底式。充形。背面：複数形～深形側面調整。	
551	100	A5	墓葬	埋土下層	石器	2.9	1.4	0.4	1.0	石器	平底式。充形。背面：浅形～深形側面調整。	
552	100	A5	墓葬	埋土下層	打制 石器	4.5	2.7	1.0	12.8	石器	先端部：茎部折損。表面：長い複数側面調整。体部：中央凹面。打削石子の軸部付近。	
553	100	A5	墓葬	埋土下層	打制 石器	11.4	2.8	0.9	41.9	石器	大型横長刮削器。背面：背面加工。刃部：複数側面剥離。体部：摩滅痕あり。	
554	103	B6	墓葬	埋土下層	石器	2.1	1.7	0.4	1.0	石器	圓底式。基部部折損。背面：複数形～深形側面調整。	
555	103	B6	墓葬	埋土下層	石器	3.3	3.7	0.5	2.7	石器	内窓I式。切先折損。背面：複数形～深形側面調整。	
556	101	E3	墓葬	埋土上層	石器	2.7	1.7	0.4	1.2	石器	平底式。充形。背面：浅形～深形側面調整。	
557	101	E3	墓葬	埋土上層	石器	2.0	1.6	0.3	1.2	石器	1側刃・基部・折損。背面：一部を浅形側面調整。	
558	101	E3	墓葬	埋土上層	石器	2.4	3.4	0.5	3.0	石器	圓底式。表面：裏面：一部を複数側面調整。裏面：一部を複数側面調整。1側刃：折損面。	
559	102	E3	墓葬	埋土下層	石器	1.9	1.2	0.4	0.6	石器	圓底式。充形。背面：浅形～深形側面調整。	
560	102	E3	墓葬	埋土下層	石器	1.9	1.2	0.3	0.5	石器	平底式。切先折損。背面：複数形～深形側面調整。	
561	102	E3	墓葬	埋土下層	尖頭器	3.7	2.3	0.9	7.3	石器	尖頭器のみ残存。背面：長い浅形～深形側面調整。	

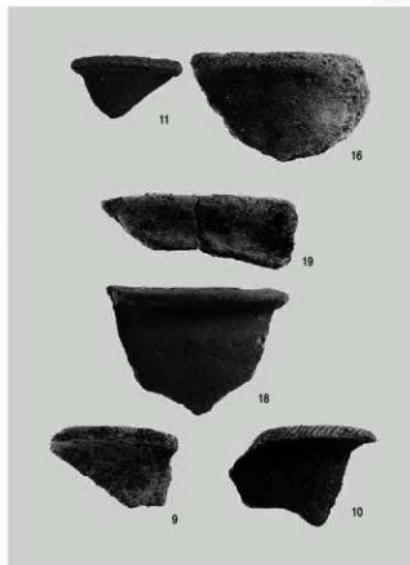
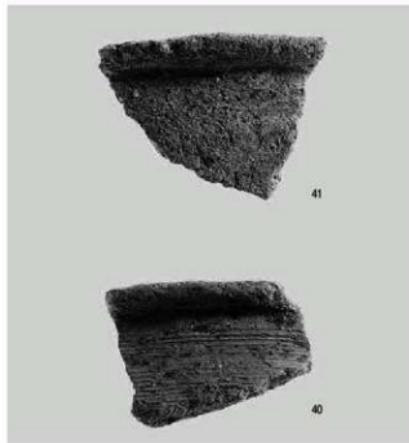
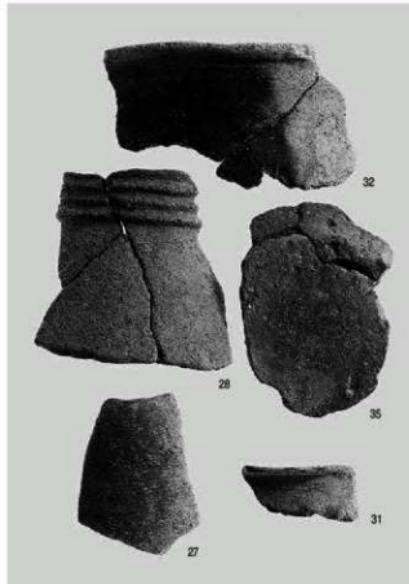
表5 鉄器観察表(1)

掲載番号	排図番号	器種	出土地区	造構	時期	法量				特記
						長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	
1	104	袋状鉄斧	III区	SX32214	讃岐II-2～III-1	6.5	3.3	2.0	38.60	鋤造
2	104	鉄鍔か	III区	SD32002	古代か	2.4	2.7	0.5	6.00	未成品か
3	104	不明鉄器	VII区	SK71149	弥生中期前半	3.1	1.3	0.3	7.48	
4	104	鉄鍔	IX区C2	包含層	弥生時代	4.7	—	0.2	11.80	着装痕跡あり

M1・2は奥の坊遺跡III区、M3は奥の坊遺跡VII区、M4は奥の坊遺跡IX区の出土遺物である。

表4・5の掲載番号のうち、「S」・「M」は省略した。

写 真 図 版

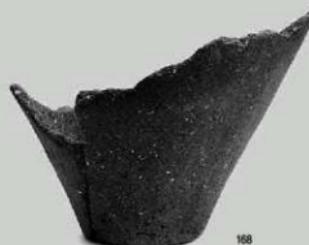




137



147



168

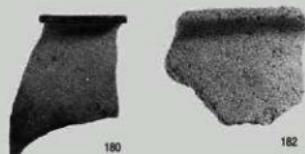


185



175

178

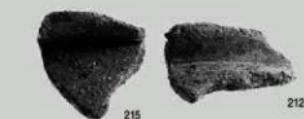


180

182

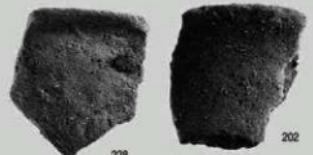


181



215

212



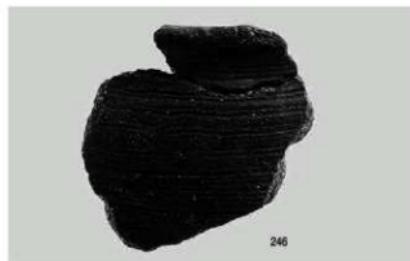
228

202



207

217



246



251



280

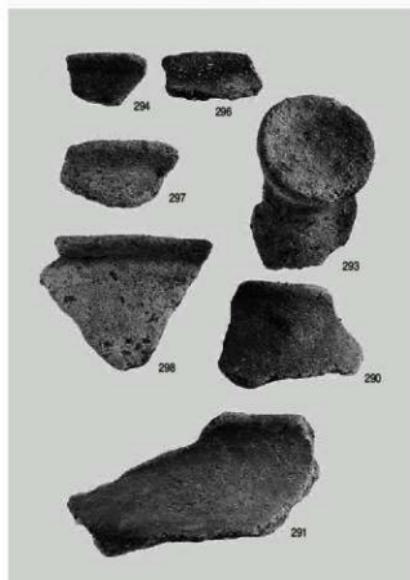


295

292

289

299



294

296

297

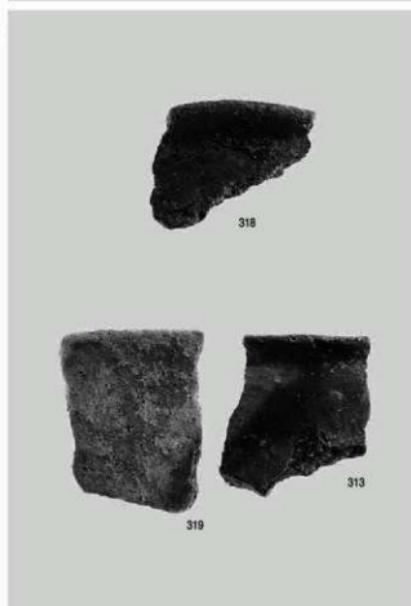
293

298

290

291

出土土器③



318

319

313



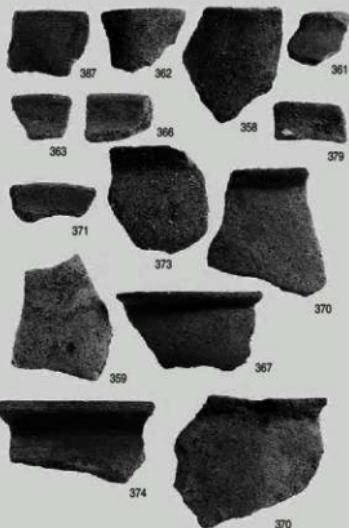
341

339



342

343



399

405

403



420



430



439



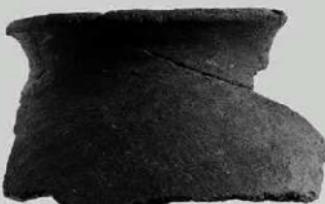
441



471



443



476



479



481



480



484



575



523



612



623



626



698



710



715



726



755



720



766



774



828



904



919



949



948





1180



1187



1191



1195



1202



1207



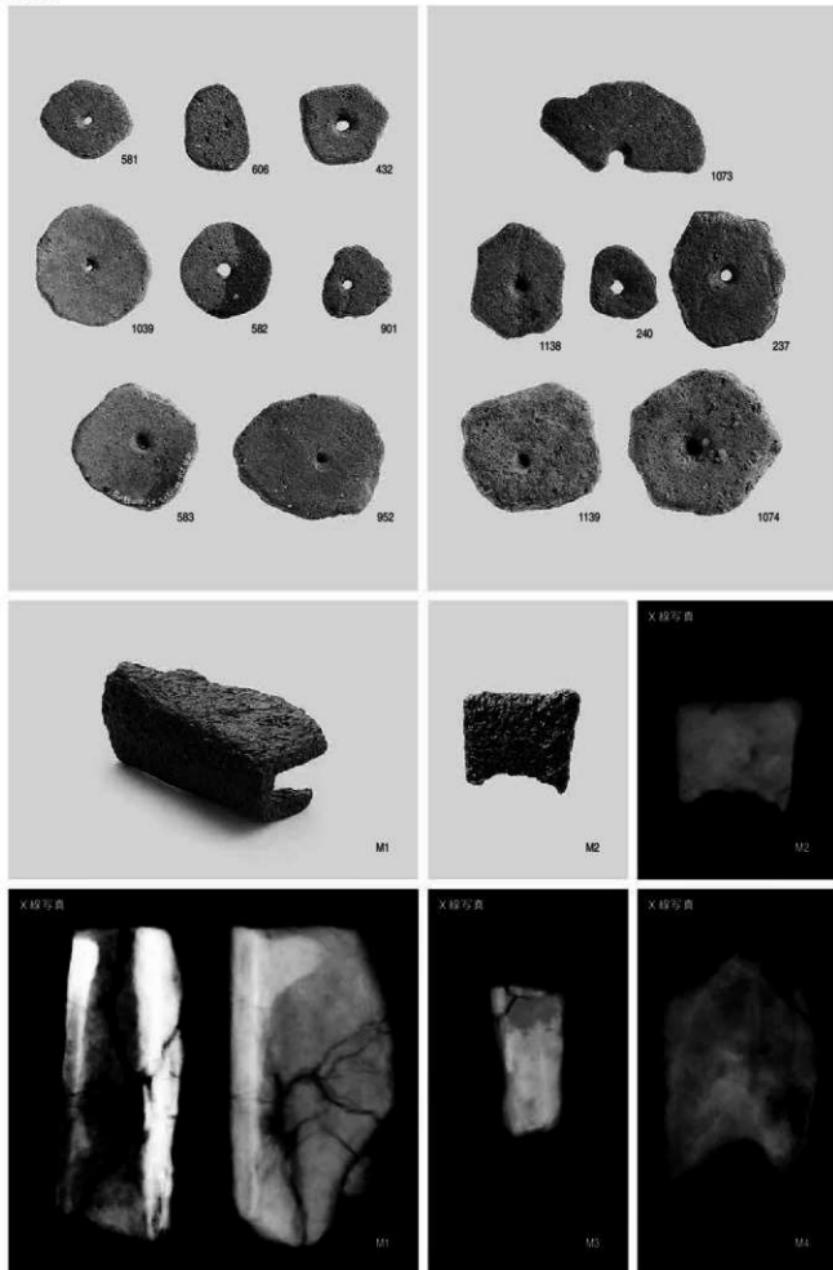
1232

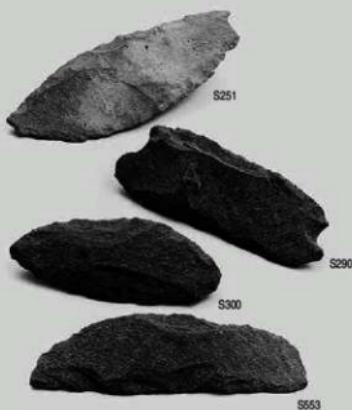
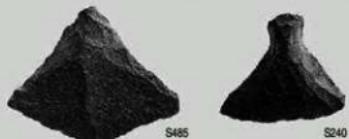
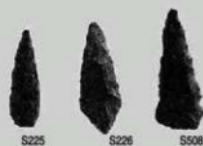


1215



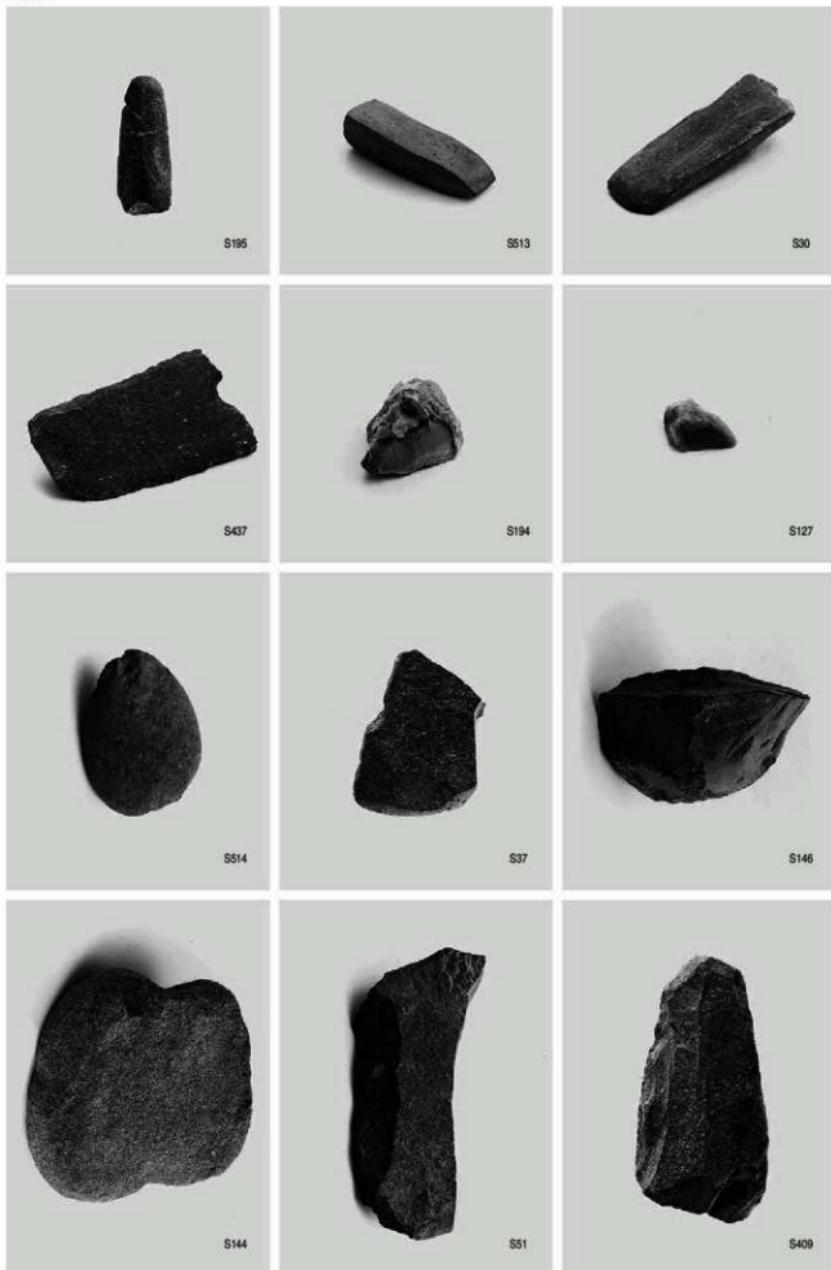
図版12





出土石器①

図版14



出土石器②



S38



S161



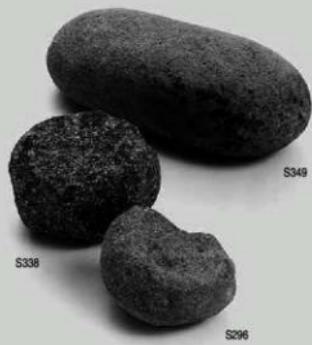
S268



S349

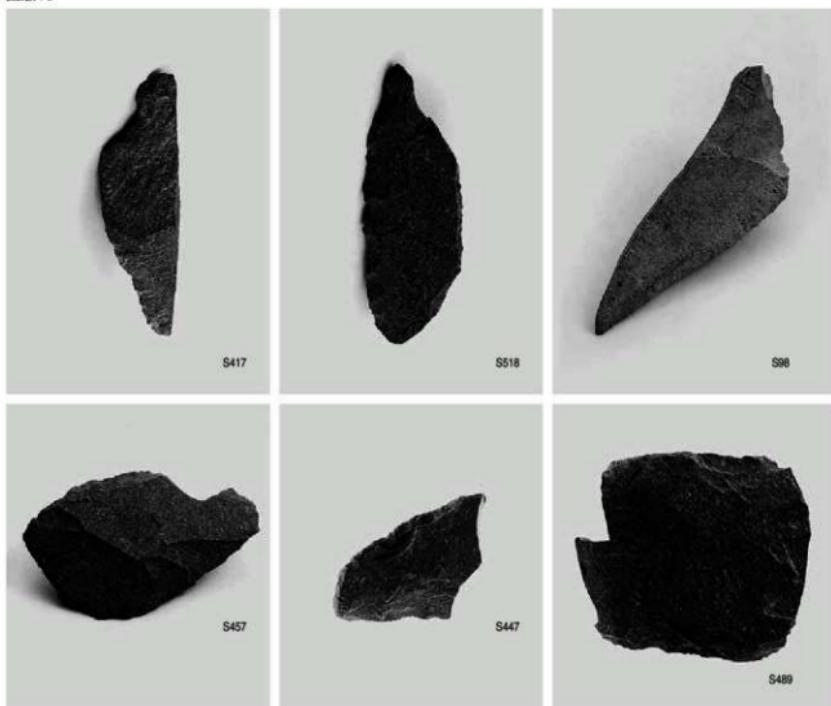


S294



S338

S296



出土石器④

報告書抄録

高松市東部運動公園整備に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
第12冊

奥の坊遺跡群 XII
(奥の坊遺跡 III区 遺物編)

平成26年3月31日

編 集 高松市教育委員会
高松市番町一丁目8番15号
発 行 高松市教育委員会
印 刷 株式会社 太陽社